

平成七年度

学生便覧

平成六年度以前入学者適用

神田外語大学

KANDA UNIVERSITY
OF INTERNATIONAL STUDIES

平成7年度開講科目概要説明（講義概要）

〔1〕一般教育科目等

1) 人 文

歴 史	A	はり 針	がや 谷	ひろし 寛	4 単 位
					1～4年
					通 年

「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、ヨーロッパ近代社会とその思想の諸問題を検討する。
前期は、前提としてポリス市民社会像、中世都市市民社会像を見た後、近代的国家形成の問題からカントの社会理論までを扱う予定。

後期は、カントからヘーゲルへの社会理論の変化をとおして、フランス革命、産業革命期以後の社会の問題を検討する。

試 験：定期試験もしくはレポートによって成績を評価する。

歴 史	B	やま 山	りょう 領	けん 健	じ 二	4 単 位
						1～4年
						通 年

<前期>

日本近・現代史概説

今日の諸問題の起点として20世紀初頭を中心に日本の歴史を概説する、日本の近・現代史の講義である。
政治・社会・経済・文化など、さまざまな角度から今日の問題を考える手がかりを発見して行きたい。

テキストは聴講の手引きおよびレポートの課題図書として利用する。

<後期>

戦時期日本の思想

半世紀を隔てて、そろそろ忘却されようとしている戦時期（1931～1945年）を中心に日本の歴史を主として思想の面から考察する。近代日本の歴史全体を考えるための手がかりとしたい。講義はテキストに沿って進める予定である。

試 験：前期・後期共にレポートと定期試験とを併せて成績の評価を行う。

テキスト名：前期 坂野潤治『近代日本の出発』（小学館・ライブラリー版 大系日本の歴史 第13巻）

後期 鶴見俊輔『戦時期日本の精神史』（岩波書店・同時代ライブラリー）

[以上2冊いずれも“文庫”判の小型本]

歴 史 C	かつら 桂	よし 芳	き 樹	4 単 位
				1 ~ 4 年
				通 年

パリの歴史と文化

パリ発祥の地サン・ルイ島、シテ島から始まって、ポーブル、チュイルリー、サンジェルマン・デ・プレ、カルティエ・ラタン、植物園地区。リュクサンブール公園、モンパルナス、廃兵院、ジャイヨー宮、シャン・ゼリゼーなど、セヌ川を中心として左岸・右岸を螺旋状に辿って、パリ24区の歴史と文化を探索する。

試 験：定期試験もしくはレポートによって成績を評価する。

テキスト名：Eyewitness Travel Guides : Dorling Kindersley. London.

(英文。固有名詞はフランス語が多少入る。)

歴 史 D	かつら 桂	よし 芳	き 樹	4 単 位
				1 ~ 4 年
				通 年

ローマの歴史と文化

カピトリウム、フォルム・ロマーヌム、パラティヌムなどの古代都市、中世の教会や巡礼路、ルネサンスからバロック、ロココに至る宮殿、離宮、別荘、庭園などの建築群、18・19世紀の交、新古典主義時代に永遠の都を訪れた知的旅行者のメッカ・スペイン広場、映画「甘い生活」に見られる現代風俗の最先端ヴィア・ヴェネトなど、ローマは古くて新しく、その奥深さは測り知れない。地域順に話を進める。

試 験：授業中に取り上げた歴史と文化についてのテーマからいくつかを選んで、各自の言葉で要約し、記述してもらおう。

テキスト名：Eyewitness Travel Guides : Rome. Dorling Kindersley. London.

(英文。固有名詞はイタリア語が多少入る。)

歴 史 E ・ F	まい とう とおる 齋 藤 融	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

講義テーマ：古代国家の形成と対外関係

日本古代における国家の形成は、中国にて発達した律令法典を受容することによって急速に進展する。その様相を東アジア世界の中に位置付けつつ、概観してみたい。時期は7世紀半ば～8世紀を主として扱う。

<後期>

講義テーマ：古代国家の形成と対外関係

時期は主として9世紀以降を扱う。

試 験：前期・後期とも論述試験を予定している。夏季のレポートも考えている。出席の悪い場合は厳しい評価も有り得る。

テキスト名：池田温編『古代を考える 唐と日本』吉川弘文館

サブテキスト『新訂 旧唐書倭国日本伝・宋史日本伝・元史日本伝』岩波書店

哲 学 A	ふる た ぎょう 古 田 暁	4 単 位
		1～4 年
		通 年

哲学するとは、表面的なものごとについての知識、情報で満足せず、根源まで問うことである。……イズム、というのが哲学なのではない。材料は、身の回りにある。身体とは何なのか。精神は存在するのか。言葉の意味はどこにあるのか。人間の意志は本当に自由なのか、等、みな立派な哲学的問題である。それらを問い詰めてみよう。T. ネーゲルの What does it all mean?などを教科書として使う。

後期では、プラトンの「ソクラテスの弁明」と「パイドン」を読む。

哲 学 B	ひ 桶 かき 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

《古代ギリシャ哲学》

ソクラテス以前の哲学からヘレニズム期の哲学までを概説する。そこに、「哲学する」という知的愛求（エロース）の活動の現場を見ると共に、古典古代哲学の現代的意義を再評価したいと思う。また、受講者には「哲学」の起源を知ることによって古代ギリシャ哲学が如何に豊かな哲学であったかを理解してもらいたいと思う。

参 考 書：シュヴェーグラー著『西洋哲学史（上）』岩波文庫

哲 学 C	ひ 桶 かき 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

《哲学概論》

哲学における様々の議論を通じて「哲学する」ことの意味について理解を深めたいと思う。関連する主題は、共感、他者、言語、意識、認識、時間等である。

「哲学」は堅苦しい机上の空論ではない。どれほど我々の日常生活に密接であるかをよく知ってもらいたいと思う。

哲 学 D	ひ 桶 かさ 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1～4 年
		通 年

《生命について》

昨年ベルクソンを通じて「意識」を考えたが、今年は新たに「生命」を考えてみることにしたい。特に、意識のあり方や認識の仕組みとの関連で考えてゆきたい。このことを通じて、更に「哲学する」という営みや「哲学的方法」といったものについて少しでも理解の手をのばしたいと思う。

テキスト名：教室で指示する。

倫 理 学 A ・ B	み やけ まさ すみ 三 宅 正 純	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

倫理学とは、過去や異邦のひとびとの生き方の研究を通じて、われわれ自身の生を問うという営みである。前期の講義では、特に西洋的な倫理との比較によって、われわれ日本人の生き方の特徴、ならびに課題を考えてみたい。取り上げられるテーマは、「自然」「日本語」「死」「個人と身内」等である。

<後期>

後期の講義は前期にひきつづき、われわれ日本人の生き方、倫理の特徴を考える。その際前期以上にテキストを参照しながら過去の日本人の倫理を振り返り、それによってわれわれ自身の倫理的諸問題を照らしだしてみたい。

試 験：前期・後期にそれぞれ、レポートあるいは試験を行う。

テキスト名：『自死の日本史』モーリス・パンゲ、ちくま学芸文庫

宗 教 学 A ・ B	や ち よし あき 矢 内 義 顯	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

宗教学の学問的位置、成立、諸分野について述べたのち、宗教一般の本質、諸特性および文化、社会、人間の生活内部におけるその機能について考える。

<後期>

オリエント、ヘブライ、ギリシャ、インドなどの諸宗教を取りあげ、人類の歴史における個別的宗教のあり方を考える。

試 験：前・後期ともに試験ないしレポート。

テキスト名：未定

文 学 A ・ B	い け だ こう いち 池 田 弘 一	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

同一の素材を扱った古典と現代作品とを比較しつつ読み味わい、日本文学の特質を考える。

前期は「古事記」の神話群から“大国主神”の説話を、須佐能男命・須世理毘売のくだりを中心にとりあげ、芥川竜之介の「素戔嗚尊すさのおのみこと」と読みくらべ、芥川作品の特質を吟味する。作品の朗読、説明を求め、出欠席を重くみるなど受講姿勢についても厳しく対処する。5回の欠時を数える者には単位を認めない。

後期は“俊寛”をテーマとして古典と現代作品を読みくらべる。すなわち、「平家物語」・「謡曲俊寛」、近松門左衛門の浄瑠璃「平家女護島」などと倉田百三・菊池寛・芥川竜之介・吉川英治など近代作家の“俊寛”との比較が学習の中心となる。前期と同様に朗読・説明を求め、出欠席を厳しくみる。5回の欠時を数える者には単位を認めない。

試 験：前期・後期それぞれ1回の提出作品に出席点・平常点を加味して評価する。

テキスト名：『日本文学 古典と近代』桜楓社

文 学 C	うち だ しゅん いち 内 田 俊 一	4 単 位
		1～4年
		通 年

ナチスによるホロコースト（ユダヤ人皆殺し）の惨劇を経た現代から振り返ると、奇異に聞こえるかもしれないが、ドイツほどユダヤ系知識人の活躍した国はほかになかった。むしろドイツの近代文化そのものが、当初からユダヤの知性との関わりの中で、またそれを摂取することによって形作られていったという一面を持っている。前期はドイツ精神史へのユダヤ系知識人の登場から、19世紀ドイツ最大の詩人ハインリヒ・ハイネまでを扱う。

ドイツ文化に占めるユダヤ系知識人の比重がいかに大きかったかは、マルクス、フロイト、アインシュタインという3つの名前を挙げるだけでも知れよう。後期はカール・マルクスから、ユダヤ的知性のドイツ文化への寄与が頂点に達したとも言える世紀転換期のウィーン、ワイマール時代のドイツを経て、ルーマニアに生まれ、親兄弟を殺した敵の言語であるはずのドイツ語で詩を書き続け、パリで自殺したパウル・ツェランまでを扱う。

試 験：前期末の試験、及び後期末に提出してもらったレポートの結果で評価する。

テキスト名：なし。

参考文献については随時指示する。

文 学 D	なが せ おさむ 長 瀬 治	4 単 位
		1～4年
		通 年

外国語専攻の方々なればこそ、我が国最古の古典である『古事記』を読んで頂きたいと思う。外国語を理解、習得するうえで、必ずや多大の参考となるはず。文学を読みながら、その読解の課程で、国語学、言語学的方面をも重点的に学びたい。

前期では上中下3巻のうちの上巻（神代巻）を読み、文学としての神話について考える。

古人が語り興じ聴いて面白かった神話・説話の持つ文学を再体験したい。

前期に引き続き、中・下巻の中の特に伝承者が力を注いだ部分を選んで講義する。日本語であるからどんな古語でも現代語とつながっているし、語源的にも容易に理解することが出来る。

また、日本の文学はもとより、歴史・伝説・歌謡・物語等の源流となっていることを知って、驚くと同時に父祖の心とわれわれとのつながりを知って、文学、語学の本質を悟ることになると思う。

試 験：前期末にはレポート試験と平常点（出席重視）とを併せて評価する。後期末も筆記試験と平常点を併せる。

テキスト名：『新訂 古事記』武田祐吉訳注 角川書店刊角川文庫

文 学 E	なが せ ながさむ 長 瀬 治	4 単 位
		1～4 年
		通 年

『万葉集』を歌人別、年代順に4期に分けたテキストによって読解、鑑賞し、万葉人の心に触れたい。古語を理解しながらの講義となるが、外国語専攻の方々が対象であることを念頭に置いて、国語学・言語学の方面、つまり語学的な面をも重点的に触れる。

前期では、歌人別に4期に分けて編集されたテキストの第1期第2期までを講義範囲として、万葉びとたちの心情に触れていきたい。

後期は、前期に続いてテキストにより第3期第4期に活躍した歌人たちとその詠歌とを読解・鑑賞する。語学的な興味深い面に重点を指向することは前期と同様であるが、特に万葉語の変遷についても辿ってみたい。

なお『万葉集』は日本の律文学、歌謡文学の源泉でもあるので、文学の発生や韻文学の本質などにも触れたい。

試 験：前期末にはレポート試験と平常点（出席重視）の合計、後期末も筆記試験と平常点（出席重視）の合計により評価。

テキスト名：『作者別 万葉集』土橋寛編（桜楓社）

文 学 F ・ AG	いの うえ まさ あつ 井 上 正 篤	4 単 位
		1～4 年
		通 年

小説における“死”の形態

“死”は“生”の延長であり、“死”の形態はまさに、人間の生の究極的顕現である。ドイツ、フランス、ロシア、日本から、下記4篇の“死”の問題作をとりあげ、世界文学の視点から、鑑賞・考察する。

〈ドイツ〉 『変身』(1916、カフカ)

〈フランス〉 『異邦人』(1942、カミュ)

〈ロシア〉 『イワン・イリッチの死』(1886、トルストイ)

〈日本〉 『こころ』(1914、夏目漱石)

試 験：レポートを課す。タイトル・テーマ等はその折りに指示する。

テキスト名：上記の作品を所持していない学生は、岩波文庫で用意されたい。しかし、『異邦人』は新潮文庫しかありません。

文 学 H	なかむら 中村	かなめ 要	4 単 位
			1 ~ 4 年
			通 年

<前期>

フランス文学を中心に、文学の基本問題を考える。昨年度はブルーストの『失なわれた時を求めて』を取り上げたが、今年度扱う作品は受講者と相談の上決定する。学生諸君の口答発表を課し、討論を通じて文学的感性の養成をはかりたい。

<後期>

前期の継続と発展。

試 験：口答発表。

テキスト名：未定

美 術 A	よしむらとし 吉村 稔子	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

日本絵画史——仏教絵画の諸問題——

古代・中世の仏教絵画の代表的作品をとりあげ、関連する諸問題について講義する。スライド等使用。

<後期>

日本絵画史——世俗絵画の諸問題——

古代・中世の世俗（非宗教）絵画の代表的作品をとりあげ、関連する諸問題について講義する。スライド等使用。

試 験：前期、後期とも定期試験。
適宜レポート提出を課する。

参 考 書：百橋明穂『日本の美術204飛鳥・奈良絵画』至文堂
有賀祥隆『日本の美術205平安絵画』至文堂

美術 B ・ C ・ D	よしむらとしこ 吉村稔子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

日本美術史概説（上）

古代・中世の通史を仏教美術を中心に概説する。各時代の美術工芸等の文化財を鑑賞しつつ講義をすすめる。スライド等使用。

<後期>

日本美術史概説（下）

中世・近世の通史を世俗（非宗教）美術を中心に概説する。各時代の美術工芸等の文化財を鑑賞しつつ講義をすすめる。スライド等使用。

試 験：前期、後期とも定期試験。
適宜レポート提出を課する。

参 考 書：『〔カラー版〕日本美術史』美術出版社

言 語 学 入 門 A	ふじ た とも こ 藤 田 知 子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

日本語を素材として言語一般の問題を考える。私たちの母語である日本語は他の言語と比較してどのような特徴を備えているのだろうか。日本語をそうした角度から概観してみることは、外国語を学ぶ者にとって、良い反省と刺激になるはずである。「入門」の授業なので、聴講は1～2年次位の早い時期にし、その後の興味に応じてより専門的な授業に臨んでほしい。言語を言語学的に観察し分析するための基本的な方法や発想を学びたい。

試 験：前期末、後期末に各1回ずつ試験を行う。

テキスト名：未定

言語学入門 B	いずみ 泉	くに 邦	ひさ 寿	4 単 位
				1～4 年
				通 年

人間の認知、コミュニケーション活動の重要な能力としての言語をどのようにとらえていこうかを考え、その理解の方法としての言語学を説明する。参考文献は適宜指示していく。

前期は概説、音韻、形態、統語が中心となろう。

後期は意味、運用（語用）を中心とし、隣接領域を含めて文化、社会との関わりをも考えることにしたい。

試 験：前期1回、後期1回、途中で何らかの報告を提出してもらい可能性もある。

言語学入門 C・D	さかい 堺	かず 和	お 男	4 単 位
				1～4 年
				通 年

<前期>

言語学は19世紀に成立した比較的若い学問であるが、その研究領域は多岐にわたる。その幅広い領域をできるだけ偏りなく概観し、それぞれの領域の研究史と現時点における問題点を探ってみる。前期の内容は次の通り。

1. 言語と言語学 2. 言語研究史 3. 音声学と音韻論 4. 語形成と形態論 5. 文と文法 6. 意味論

<後期>

前期に引き続き、次の内容について論ずる。

1. 文字と言語 2. 言語の歴史 3. 言語の比較 4. 言語類型論 5. 言語と心 6. 言語と社会 7. 言語と文化

対象となる言語自体についての知見を深めることが重要なので、常に各自の母語と専攻語学についての問題意識をもつことが望まれる。

試 験：前・後期ともレポートによる。内容については授業中に指示する。

テキスト名：レポート作成に必要な文献を授業中に指示する。

言語学入門 E	かな 金	おか 岡	ひで 秀	ろう 郎	4 単 位
					1 ~ 4 年
					通 年

ことばとは何か。大学では外国語の学習に追われ、ことば一般の問題を考える機会は少ない。しかし、言語学の知識のない外国語学習は一面的理解に過ぎない。本講座では、ことばのもつさまざまな役割や構造を解説し、受講者のことばに対する視点を豊かなものにした。ことばと精神・文化・社会とのかかわりを考察するのも、ねらいのひとつである。学生の積極的な出席が望まれる。

試 験：学年末にレポートを提出。

テキスト名：田中春美他著『言語学のすすめ』大修館書店

言語学入門 F	かな 金	おか 岡	ひで 秀	ろう 郎	4 単 位
					1 ~ 4 年
					通 年

日本語と似た構造をもつモンゴル語の基本文法を学びながら、ことばと民族との関係を考察する。モンゴル民族は遊牧的牧畜民といわれ、モンゴル語にはその文化が大きく反映している。モンゴル語とともに、モンゴル民族の文学・神話・宗教などの文化現象を考察し、あわせて言語学と現代の諸学問—文化人類学・神話学・宗教学—とのかかわりも概説したい。学生の積極的な出席が望まれる。

試 験：学年末にレポートを提出。

テキスト名：金岡秀郎著『モンゴルは面白い』トラベルジャーナル

身体運動文化論 A・B	とみ まつ きょう いち 富 松 京 一	2 単 位
		1～4 年
		前期・後期

本講義で対象となる身体運動はスポーツ、レジャー、レクリエーション、遊戯、舞踊等である。これらは人間の行為に意味を与え、人間が生き方や生活の仕方を文化として表現するときの社会的機能ともいえる。そこで、前期では遊戯論の検討を行いつつ運動文化を考え、後期ではスポーツ・レジャー、レクリエーションを対象をあて、運動文化論の基礎的視点を明らかにする。

試 験：出席状況、試験、レポート等による総合評価。

言 語 哲 学	ひ かき かつ し 樋 笠 勝 士	4 単 位
		1～4 年
		通 年

なぜ言語は哲学的問題となるのであろうか。プラトン、アリストテレスからヴィトゲンシュタインに至るまで、言語が、その起源、様態、効用、機能、価値、存在、など様々の角度から論じられてきた事実は、言語が如何に「問題化」しうるものであるかを示している。

本講座では、学的前提を置くことなく、「哲学的に」、言語について論じてみたいと思う。

西 洋 古 典 語 概 論	や 矢 う ち 内 よ し 義 あ き 顯	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

ラテン文化、ラテン語の基礎的文法を扱う。

<後期>

初歩的なラテン語の文章を読む。

試 験：小テストおよび期末テスト

テキスト名：有田 潤『初級ラテン語入門』白水社 1,900円

歴 史 学 演 習	は り 針 が や 谷 ひ ろ し 寛	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

共通のテキストに関し、分担して報告してもらい、討論を中心にして進める。テキストは未定であるが、できれば古典的なものを、と考えている。履修者の状況によっては、特殊なテーマの諸文献になることもありうる。

試 験：平常の学習とレポートによって成績を評価する。

哲 学 演 習	ひ 樋 かき 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

プラトンの『メノン』を読む。そこにおいて、知を愛求すること（＝哲学）の営みについて理解することをめざす。

この講座の受講条件は以下の通りである。

1. 「哲学」の講義を聴講した者。
2. 毎回必ず出席し、積極的にディスカッションに参加する者。
3. 与えられた文を尊重し、その意味を細かく探ろうとする意志のある者。

テキスト名：プラトン『メノン』岩波文庫
（英訳も使用する予定）

宗 教 学 演 習	や 矢 うち 内 よし 義 あき 顯	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

宗教と自然科学について考える。

試 験：レポート

テキスト名：ポール・ディヴィス『神と新しい物理学』岩波書店 1,200円

文 学 演 習	しがなみ ゆう こ 志賀 浪 優 子	4 単 位
		1～4年
		通 年

森鷗外は明治21年9月、4年に及ぶドイツ留学を終えて帰国するなり、ドイツ留学記念三部作と呼ばれる「舞姫」、「うたかたの記」、「文づかひ」を次々に発表した。この三部作と「独逸日記」をテキストに、ドイツ体験がどのように文学作品に昇華されたかを調べる。

試 験：定期的にレポートを発表し、一年の終わりにはそれを論文にまとめて提出する。

テキスト名：「舞姫」「うたかたの記」「文づかひ」「独逸日記」、その他参考資料は授業中に指示する。

比 較 ス ポ ー ツ 文 化 論 演 習	とみ まつ きょう いち 富 裕 京 一	4 単 位
		1～4年
		通 年

今日、スポーツは文化、社会指標として重要なキーワードと考えられる。比較スポーツは、二つ以上の社会・文化・国家・地域のスポーツの類似点や相違点を調べ比較分析するものであると考えられる。

前期では比較分析の方法論を学び、さらに対象をスポーツとしテーマを設定し、方法論に基づいてテーマとした問題解決にあたり、レポートを完成させる。

後期では、前期完成させたレポートにもとづいて、その成果を発表し、質疑応答の時間を設定し相互に内容理解を深める。

試 験：出席状況、課題のできばえ、レポートで総合的に評価する。

2) 社会

社 会 学 A	かとうじょう 加藤譲治	4 単 位
		1～4年
		前 期

今年度は前期に週2回の授業を行うが、その内容は以下のとおりである。

〈社会学前期相当分〉

社会学入門、社会学概論の講義を行う。社会学理論の基礎的概念を理解することで、現代社会に対する洞察力・分析力を深めてほしい。

〈社会学後期相当分〉

集団や組織、都市的生活構造、社会階層などの「社会構造」についての社会的理解を促すことを意図して授業を行う。

試 験：授業時に何度かの小論文を課し、その総合点で評価する。

テキスト名：『社会学の展開』佐藤慶幸、船津衛編著（北樹出版）

社 会 学 B	かとうじょう 加藤譲治	4 単 位
		1～4年
		前 期

今年度は前期に週2回の授業を行うが、その内容は以下のとおりである。

〈社会学前期相当分〉

「近代化」の概念、理論を社会学の立場から理解することを意図する。その際に「西洋的なもの」と「日本的なもの」との比較をすることで、近代社会の特徴をより深く理解することを期待したい。

〈社会学後期相当分〉

現代の日本社会は「前近代」「近代」「後近代」の三重構造から成り立っているとの理解にたつて、現代社会のかかえる諸問題の問題状況を学習したい。

試 験：授業時に何度かの小論文を課し、その総合点で評価する。

テキスト名：『日本の近代化と社会変動』富永健一著（講談社学術文庫）

社 会 学 C	やま 山	ぎし 岸	み 美	ほ 穂	4 単 位
					1～4 年
					通 年

<前期>

社会学の課題は、人間、社会、日常生活を深く理解することにある。この講義では、社会学の方法とパースペクティヴを検討しつつ、〈日常生活〉の舞台と光景を具体的に理解する。住まうこと、食事をする、服を着ること、働くこと、祈ること、遊ぶこと、誕生から死まで、人生のさまざまな場面がクローズ・アップされてくる。理論と現実の関係を検討しながら、人生を旅することの意味を考察したい。

<後期>

現代の社会生活を私たちはいかに理解することができるのか。時代の様相はどのように変貌し、人間は、今、どのように生きているのか。現代の時代様相、人間の存在様相を理解するために、多角的に〈日常的世界〉へのアプローチを試みたい。なお、文学、写真、絵画、音楽などにも注目しながら、現代の日常生活と人間を理解したいと思う。社会を理解する鍵は、私たちの生活のさまざまな場面に見出されるのである。

試 験：前期、後期とも試験を行う。

テキスト名：山岸健・船津衛編著『社会学史の展開』（北樹出版、1993年）

参 考 文 献：山岸健『日常生活の社会学』（NHKブックス309、日本放送出版協会、1978年）など。

社 会 学 A D	やま 山	ぎし 岸	み 美	ほ 穂	4 単 位
					1～4 年
					通 年

<前期>

都市とは何か。私たちは、視点のとり方によってさまざまな相貌を見せる都市をいかに理解することができるのか。文化、コミュニケーション、人と人との触れ合いと交わりを独自のパースペクティヴとして、都市を理解したい。社会学の視点から日常生活、人間、都市へのアプローチを試みるが、文学、写真、絵画、音楽などにも注目したいと思う。街を歩きながら問題を発見し、人間と社会の理解を深めていただきたい。

<後期>

変貌する都市、東京を中心に、日本や諸外国の都市を考察する。人々は今、都市において、どのような出会いを体験しているのか。私たちにとって風景体験はどのような意味を持っているのか。社会的世界、風景的世界、風俗的世界、時間的・空間的世界、などとして理解される都市には、私たちの日常生活を理解するさまざまな手がかりが次々に見出される。日々の平凡な出来事から人間や社会を理解する心を育みたいと思う。

試 験：前期、後期とも試験を行う。

テキスト名：山岸健編著『日常的世界と人間—社会学の視点とアプローチ』（小林出版、1993年）

参 考 文 献：山岸健『日常生活の社会学』（NHKブックス309、日本放送出版協会、1978年）など。

社 会 学 E ・ F	あん どう きくお 安 藤 喜久雄	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

社会の基礎的単位としての人間の行為の分析からはじめる。次いで行為を規制する規範、価値をはじめ対人関係（相互作用）、コミュニケーション、社会化など社会学の基本的概念の検討を通じて現代社会の社会的理解を深める。できるだけ具体的事実に基づいて説明するよう努める。

<後期>

社会学の主たる対象である家族、地域、組織、社会構造などについて、これまでの研究成果をふまえて説明する。それとともに、上記各分野において現在、どのようなことが問題になっているかを明らかにし、現代社会に対する理解を深める。

試 験：期末に定期試験を行い、成績評価とする。

テキスト名：安藤喜久雄・児玉幹夫編著『社会学概論』学文社

法 学 A	あお やま はる き 青 山 治 城	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

法学の歴史は医学や神学とともに古く、西欧において法学部をもたないユニバーシティはない。しかし、『法学』とは何であるか、ということについて必ずしも国際的な一致があるわけではない。日本の場合も、明治以来西欧近代の法思想、法制度を受容しつつ、なお日本的な法意識も残存している。こうした点をふまえながら、前期においては、近代の憲法原理を中心にその現代的意義と限界について考えていきたい。

<後期>

後期においては、近代刑法及び民法の諸原理を中心に、その基礎にある人間観、社会観を考え直していきたい。国際化、歴史の終焉といったことが語られているが、同時に地域紛争も跡を断たない。こうした現状に鑑み、本来「正義」という普遍的原理を理念とする法及び法的思考を具体的問題に即しながら、学生とともに考えることを主眼とする。

試 験：前・後期一度ずつ試験とレポートを課す予定。

参 考 書：西村他『判例法学』有斐閣
六法

法 学 B	もり 森 した 下 し 史 ろう 郎	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

この講義は、法の基本原理を理解することを主眼とするものであり、前期では、法と裁判、法の解釈、近代国家における人権保障の諸原理、犯罪と刑罰、契約の自由の原理といった法の基本とされるこの諸前提を、具体的事件の関わりで考察するつもり。

<後期>

後期では、前期に学んだ法の諸原理に基づいて展開する様々な分野での法的課題、財産、損害賠償、環境保護、生活保護、国際社会と日本といった現代的テーマをもとり入れて考察する予定。

試 験：前期・後期とも、問題を一題にしぼって試験を行う。

テキスト名：『法学入門』末川博編（有斐閣双書）

政 治 学 A	いけ 池 や 谷 とも あき 明	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

現代政治はデモクラシーを前提とし、また、今日では、ほとんどすべての国、市民がデモクラシーを肯定的に受け入れていると言ってよい。しかし、これは、歴史的には、20世紀以降の新しい現象である。それでは、デモクラシーはどのように展開し、また、現在どのように変化しつつあるのか、また、そもそもデモクラシーとは何か、これらのことをいっしょに考えてみたい。

<後期>

現代デモクラシーの展開を現実政治の中で考察していく。議会、政党、選挙、圧力団体などについて、主に日本の事例を取り上げながら検討するが、適宜欧米の事例との比較も行う。この作業を通じ、わが国のデモクラシーの特質や問題点を明らかにし、変化しつつある現代日本政治を考える基礎をつくっていくことを目標とする。

試 験：前期末、後期末に各1回ずつ試験を行う。

テキスト名：教科書はとくに指定しないが、『現代政治学小辞典』（有斐閣）を用意することが望ましい。
参考文献は、適宜指示する。

政 治 学 B	いけ や とも あき 池 谷 知 明	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

現代政治を比較の視点で考察するが、前期の講義では、アメリカ、イギリスの政治についてみていきたい。適宜わが国の事例との比較を行いつつ、大統領制、議院内閣制、議会、政党、圧力団体などを考察の対象として、英米的なデモクラシーの特徴を探ることを目的とする。

<後期>

大陸ヨーロッパの国では、アメリカ、イギリスと異なる形でデモクラシーが展開してきた。大陸ヨーロッパのいくつかの国（イタリア、オーストリア、オランダ等）を例にしながら、これらの国で展開されてきた政治について考察し、それが英米的なモデルとどのように異なるか、また現代デモクラシーの進展の上でどのような意味を持っているか、といったことについて、いっしょに考えてみたい。

試 験：前期末、後期末に各1回ずつ試験を行う。

テキスト名：教科書はとくに指定しないが、『現代政治学小辞典』（有斐閣）を用意することが望ましい。
参考文献は、適宜指示する。

経 済 学 A ・ B	なが お てる や 長 尾 昭 哉	4 単 位
		1～4年
		通 年

経済学という学問を学ぶことによって違って見えてくるまわりの世界、経済や社会の新しい風景。

試 験：5～6回に分けて学期中に行う。

テキスト名：長尾著『やさしい経済学の本』同文館

経 済 学 C ・ B ・ D	よし 吉 ずみ 住 あき 昭 ひこ 彦	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

経済問題をいくつか述べて、経済学がどのような学問であるかを理解する。

<後期>

ミクロ経済学とマクロ経済学の基本的な部分について述べる。

試 験：前期末と後期末に試験を行う。

テキスト名：講義中に指示する。

心 理 学 A ・ B ・ C	や べ 矢 部 ふ み え 富美枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

人間を一種の情報処理システムと見なす認知心理学の観点から、より高次の情報処理過程である情報の保存・利用、即ち記憶・思考過程について概観する。

試 験：定期試験（年2回）

テキスト名：大山正（編）『実験心理学』東京大学出版会

心 理 学 D ・ E	矢 部 富美枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

社会心理学の入門であるが、集団の形成や機能などの集団過程に関する領域を中心に概観する。

試 験：定期試験（年2回）

テキスト名：大橋正夫・佐々木薫（編）

『社会心理学を学ぶ』有斐閣

心 理 学 F	た ばら しゅん じ 田 原 俊 司	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後期・集中講義

発達心理学入門：

本講義は子どもの精神発達及び発達障害に対する対応の二側面から子どもの発達について検討することを目的とするものである。精神発達においては、言語発達、Theory of Mindなどのトピックを、発達障害においてはカウンセリングによる対応を实践を含めて講義する予定である。

試 験：レポート試験を実施の予定である。

テキスト名：『いじめ相談室ーベテラン教師からのメッセージ』 田原俊司（編著）1991. 八千代出版

『現代教育への視座』1993. 八千代出版

『研究領域 言葉』1994. 横山正幸（編著）北大路書房

※「心理学F」は前期相当分として、後期（金）9-10限に授業を行ない、後期相当分として、集中講義を行なう。両方に出席して4単位となるので注意すること。

教 育 学 A ・ B	あずま 東 とし 敏 のり 徳	2 単 位
		1～4 年
		前 期・後 期

教育ほど人の一生の中で重要なことは数少ない。その意味で私たちは教育について、学校教育を含めて、より広い範囲で考えなくてはならない。本講義ではまず、人が成長していく中で教育の果たす役割について考える。それはとりもなおさず、「教育とは何か」という問いにつながる。この問いは歴史上多くの人々により答えられてきた。その足跡を辿ることで教育に関わる本質的な知識を獲得することができる。また、授業では教育に関する身近なトピックを取り上げ討議することで、上の問いを考えていく。なお教職課程履修者はこの科目を履修しておくことが望ましい。

試 験：評価は授業中のレポート、テスト、および平常の授業の出欠席の状況などを勘案して行う。

テキスト名：教室で指定する。

文 化 人 類 学 A ・ B	なか 高 くお 桑 史 こ 子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

<前期>

異なる価値体系の存在意味について考察すること、つまり人間の文化を知ることや理解することの意味を考えるのが文化人類学である。文化の概念、学説史についてふれ、これから学んでいくための基本概念の説明をする。次にジェンダーとセクシュアリティを比較文化的に検討し、人間社会の基礎的な単位である家族・婚姻について学んでいく。家族の構造、婚姻のあり方を様々な文化や社会において考察していく。

<後期>

人間の観念の体系である信仰・世界観について学ぶ。信仰が社会の価値を反映していることを確認し、特に現代社会における信仰の意味を考える。最後に理論をどのように応用していくかを考え、変貌する社会で文化人類学的思考がどのように活用されるべきかを討議していく。具体的テーマとして、医療の問題と開発援助、観光について考えていくことにする。人類の多様な「知」の世界にはいってこよう。

試 験：前期・後期1回ずつ（年2回）

テキスト名：最初の授業の時間に参考文献を紹介する。

また、授業の中で、各テーマごとに文献を紹介する。

文化人類学 C・D	みたむら しげ たか 三田村 成 孝	4 単位
		1～4年
		通 年

文化人類学における大きな流れとして、19世紀半ば以降、進化主義、伝播主義、機能主義、構造主義が順次独自の前提・方法に基づく理論をもって抬頭し、またその批判として展開されてきた。前期の講義では、こうした理論的な流れを追いながら、それらを理解するための基本的概念の解説を行ってゆく。

前期では理論的な面を主とするので、後期では具体的な人々の暮らしを中心に見てゆく。機能主義人類学者として著名なB・マリノフスキーの理論展開の基礎資料となったニューギニア・トロブリアンド諸島民の暮らしについて見てゆくと共に、我々日本人の暮らしについても見てゆく予定である。これら両者を直接比較することは問題があるが、いくつか視点を限定して類似や相違についてとり上げてみたいと考えている。

試 験：前期・後期の授業最終日に筆記試験を行う。

テキスト名：参考文献は、適宜指示する。

憲 法 A・B	あお やま はる き 青 山 治 城	4 単位
		1～4年
		通 年

<前期>

昨年是有力新聞社が具体的な改憲草案を紙面に発表するなど、憲法をめぐる論議が活発化しつつある。国民一人一人が「憲法問題」を考えるための材料としては歓迎されるべきことであろう。しかし、日本国憲法の理念はまだ十分に定着したとはいえない側面もあり、その歴史的位置を世界史的観点に立って理解しておく必要がある。前期は主に人権の理念を中心に、そうした点を検討していきたい。

<後期>

後期においては、主に「統治機構」に関する部分について、日本国憲法の特徴と問題点を考えていく。憲法といえば9条だけがクローズアップされるが、国会、内閣、裁判所のあり方についても多くの問題点がある。

試 験：前・後期1回ずつ試験を行う。

テキスト名：樋口陽一『憲法』 創文社
六法

憲 法 C ・ A D	い だ み 飯 田 の 穂	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

憲法は、一国の基本構造を定める法であり、国家機関の組織や権限、その相互関係、および国家と国民との関係について規律している。前期は、主として、日本国憲法の基本原理の一つである基本的人権を取り上げる。わが憲法がいかなる権利を保障しているのか、またそれはどのように運用されているのかを、判例の展開をも視野に入れつつ明らかにしたい。

後期は、主として、わが国の統治機構について論ずる。日本国憲法の採用する主権原理や権力分立制、平和主義などが取り上げられる。単なる条文の解説にとどまることなく、政治部門や裁判所による運用とその問題点にも注目することにしたい。

試 験：前期・後期とも、それぞれ一度の試験を行なう。レポート等については未定。

テキスト名：古野豊秋・畑尻剛編『スタンダード憲法』（尚学社）
六法（小さなものでよい）

憲 法 E	も り し た し ろ う 森 下 史 郎	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

この講義は、主として、憲法の人権論をテーマに取り挙げて考察する。そこで、前期としては、近代憲法原理の展開、その諸原理、幸福追及権とプライバシーの権利、法の下での平等、表現の自由と知る権利などの問題を、判例を通して批判的に検討する。

<後期>

後期としては、資本主義社会の矛盾の解決として登場する社会権から象徴天皇制、日本の平和主義の問題点、人身の自由、参政権、住民の権利などを中心に考察する予定。

試 験：前後期とも各一回のテストを実施、問題も一題だけを記述式で答える。

テキスト名：『法学・憲法』森下他編（敬文堂）

経 営 学 A	お 小 川 正 博 がわ まさ ひろ	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

変革期の企業経営の実態と課題について学ぶ。国際化や情報化それに日本社会の成熟化のなかで、わが国企業は経営の変革にせまられている。前期は企業がどのような課題に直面しているのかをマクロ的に、また主要産業ごとに解明する。その上で、わが国の企業経営に求められている諸条件を理解する。

身近な実際例を活用して講義を進める。

<後期>

21世紀に向けて、再び躍動力を發揮するための企業経営のあり方を後期では学ぶ。新しい生産・販売システム、新しい組織運営、グローバル化時代の経営、情報化時代の経営などを概観する。

企業を身近な存在として理解できるようにする。

試 験：前期末と後期末に試験を行う予定。

テキスト名：プリントを配付する。

経 営 学 B	お 小 川 正 博 がわ まさ ひろ	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

現代企業のしくみや行動をやさしく学ぶ経営学入門。

社会や経済のなかで、重要な役割を果たしている企業を、経営学の理論を活用して理解する。前期は企業の形態、産業構造、経営概念、戦略などの側面から企業を解明する。

身近な題材を活用して、予備知識がなくとも、基本的な企業行動が理解できるように進める。

<後期>

前期に引き続き、身近な題材と経営理論を活用して、企業の構造や問題点を総合的に学ぶ。後期は組織、情報などの側面から、特に日本的経営の特質について理解する。現代日本の企業がどんな問題に直面し、どんな方法で克服しようとしているのかを探っていく。

試 験：前期末と後期末に試験を行う予定。

テキスト名：プリントを配付する。

3) 自然

生 物 学 A	てら だ み な こ 寺 田 美奈子	4 単 位
		1～4年
		通 年

現在人類は地球上で空前の繁栄をほこっている生物といえるであろうが、これは生命誕生以来35億年の生物進化の過程でヒトが言語というコミュニケーション手段を獲得したことに多くを負っていることと無関係では無いであろう。本講は動物の進化の過程をコミュニケーションという観点からながめ、講義を中心に動物の行動に関するビデオテープを見ることによって話をすすめる。本年度は比較的高等な脊椎動物から話をはじめ近年研究の進んだ霊長類（サルの仲間）からヒトへの進化過程について紹介し、考察する。

<前 期>

- ・生物のコミュニケーション概説
- ・生物の進化と社会構造
- ・神経系、感覚器の生理学
- ・本能と学習

<後 期>

- ・具体的な生物を例に、生物のコミュニケーションの成り立ち、しくみを見てゆく。
- ・無脊椎動物－特に昆虫－
- ・魚類
- ・両せい類、はちゅう類
- ・哺乳類
- ・霊長類
- ・サルからヒトへ

試 験：前期、後期に試験を行う。

テキスト名：特に指示しない。

生 物 学 B ・ C	てら だ み な こ 寺 田 美奈子	4 単 位
		1～4年
		通 年

我々は地球という宇宙の中でも稀にみる程の生命にとって好条件にめぐまれた環境に生まれてきた。しかし近年この地球環境のバランスが人間活動によってくずれてきていることが明らかになってきた。この講義では、生物と環境とのかかわりあいについて、講義にビデオ教材と小さな観察や実習をまじえて授業をすすめる。

- ・環境と生物の生活との関係
- ・地球の自然環境と様々な生物の生活
- ・生態系の概念・その構造と機能
- ・地球環境問題の概説（大気・水質・土壌・森林など）

試 験：前・後期各1回試験を行う。

テキスト名：未定

化	学	やまもと 山本	おきむ 修	4 単 位
				1～4 年
				通 年

衣食住は勿論のこと、我々を取り囲む全ての環境において多くの新素材が使用されており、化学の発達に伴って我々の環境も刻々と変化している。本講では特に生活に密着した素材と化学現象を取り上げ、今後我々が現代社会に生活していく上で必要な化学知識を、原理的な観点から身につけてゆくようにしたい。

前期においては衣食住のうち、食の化学、特に生物が関与する物質の化学について取上げることにする。

後期においては、我々の衣食住のうち、衣と住とに関連する材料、特に合成材料の化学、およびそれらとエネルギー問題、環境問題との関り合いについて述べる。

試 験：前期、後期共それぞれ定期試験を行う。

テキスト名：『くらしの化学』 化学同人

自 然 科 学 概 論 A ・ B	なかね 中根	みちよ 美知代	4 単 位
			1～4 年
			通 年

<前期>

今日、科学技術の成果は私たちの生活にかかせないものとして取り入れられている。科学は苦手と感じる一方で、それに対して何らかの理解を得たいとの希望も多いことだろう。

この講義では、古代から近代にかけての科学の歴史をふりかえることにより、「科学とは何か」を考え、現代科学を考えるなんらかの指標を探っていく。自然科学のみならず、当時の哲学や思想、社会状況も話題にする予定である。

<後期>

前期と同様な講義内容であるが、近代以降を中心に論じる。

この時期を論じるには、自然科学そのものの知識が必要になってくるので、中学・高校で習った理科の知識の確認にも時間をとりたい。

なお、英文で科学関係の文献を読む機会も設ける予定。

試 験：定期試験（年2回）およびレポートの結果で評価する。

テキスト名：東京教学社『科学その歩み』

藤村淳他3名著

自然科学概論 C・D	とくもとことよ 徳元琴代	4 単位
		1～4年
		通年

<前期>

自然科学は、とかく難しい法則の暗記や計算ばかりの学問として敬遠されがちであるが、我々の多くは、宇宙や生命、物質の神秘さに夢中になった経験をもっているはずである。自然科学とは一体どういうものなのか。前期は、地球や人類の誕生から、今日の自然科学が成立するまでの歩みを通して、人間の生活の中から、その生きる知恵として生まれてきた自然科学の本質にせまりたい。自然科学への新たな視点となるだろう。

<後期>

近代以降の自然科学の飛躍的發展は、我々の生活に豊かさをもたらしてきた一方で、科学兵器や環境問題など、負の遺産をも生み出している。21世紀をまもなくむかえる現在、自然科学は地球の存亡さえ左右しかねない存在となっており、もはや我々一人一人が、自分と無関係のものと言っておれない状況と言えよう。後期は、近代から現代までの自然科学の歩みを人間社会の中で分析しながら、今日の課題への解決の糸口としたい。

試験：前期、後期とも数回のレポート提出によって評価する。

テキスト名：『科学技術史概論』山崎正勝編著、ムイスリ出版

情報処理 A・B	やまもと おさむ 山本 修	4 単位
		1～4年
		通年

現在コンピュータは我々の日常生活の中に入り込んでいるが、多くの人々にとってコンピュータはいわゆるブラックボックスでしかない場合が多い。本講では BASIC 文法を修得しつつ情報処理一般についての基礎を概説し、それを理解した後に、アプリケーション・ソフトを利用して、身近な問題にコンピュータを活用する方法を修得する。

前期においては BASIC の基礎的な文法を修得する。

後期においては代表的な表計算ソフトである Lotus 1-2-3 について概説し、実習を行う。

試験：前期、後期共定期試験を行う。

テキスト名：前期；『パソコンと BASIC』培風館

後期；『簡易言語入門ロータス 1・2・3』一橋出版

情 報 処 理 C	やまもと おさむ 山 本 修	4 単 位
		1～4年
		通 年

現在コンピュータは我々の日常生活の中に入り込んでいるが、多くの人々にとってコンピュータはいわゆるブラックボックスでしかない場合が多い。本講では BASIC 文法を修得しつつ情報処理一般についての基礎を概説し、コンピュータの世界のアーキテクチャについて包括的に理解できるようにしたい。

前期においては BASIC の基礎的な文法を修得する。

後期においては主としてグラフィックス、ファイル処理等について実習を行う。

試 験：前期、後期共定期試験を行う。

テキスト名：『教養のコンピュータサイエンス、MS-DOS of BASIC 編』丸善

情 報 処 理 D ・ E	よこかわ ひさえ 横 川 ひさえ	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

現代社会では、コンピュータを用いた情報処理は、不可欠の技能である。コンピュータを道具として利用するための基礎知識は常識の一部でもある。前期は、情報をどのように処理するかを修得することを目標とし、コンピュータの基本操作を理解するために、アプリケーションソフトの使用及び BASIC プログラムの作成を行う。

<後期>

後期は、目的にあった処理の仕方を工夫することを目標とし、BASICプログラミングの実習を通して、コンピュータの構成を解説しつつ、様々な処理方法を経験する。

試 験：前後期末テストを実施。課題提出状況とその内容及び出席率を加味して評価する。

テキスト名：授業中にプリントを配付する。

情報処理 F ・ G	ひ 日 おき 置 さき 咲 お 夫	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

今日では、パソコンを備えていない企業はないと言っても過言ではないでしょう。このような企業の現状から理系、文系を問わず企業で歓迎される大卒者の一般的能力は語学力とコンピュータリテラシー（パソコン、ワープロ等を使いこなす能力）であると言われております。

本講では、パソコンの起動方法からスタートし、BASIC 言語を用いプログラム作成に必要な基本的事項を実習を通し学習します。

<後期>

本講では、前期で修得した基本的事項を踏まえ、試験の得点を大きい順に並び替えるソート、電話帳をランダムアクセスファイルで作成する等実務に役立つプログラムを BASIC 言語で作成します。

試 験：定期試験の結果で評価する。

テキスト名：『PC-9801 & FM 16 β対応、BASIC 活用テキスト』米山、三木著（オーム社）

健康科学論 A ・ B	よこ 横 せき 関 とし 利 こ 子	2 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期 ・ 後 期

日常の健康づくりの1つの目標は、生理的機能を高めることにある。この一手段として運動が取り上げられ、最近では成人病予防・回復にもその効果が報告されている。健康科学論ではまず、運動に伴うエネルギー代謝、筋系、および呼吸循環器系機能の変化と各機能に対する運動の効果について講義する。それを基礎として、健康づくりのための、①トレーニングの原則、②各種運動の特性、③個人あるいは各種疾患に応じた運動プログラムの作成についての講義を行う。

試 験：定期試験とレポートにより評価する。

テキスト名：新エスカ21、『運動生理学』同文書院 橋本勲等著 定価2,000円

環 境 科 学 演 習	てら だ み な こ 寺 田 美 奈 子	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

現在おこっている様々な地球環境問題についての、出来得る限りの正確でかつ最新の情報を理解するための基礎的な文献（英文）を講読する。

<後期>

個人又は小グループで地球環境問題に関する研究テーマを選び、テーマ毎に文献調査、テーマによっては実地調査又は実験を行い、最終的にはレポートにまとめ、さらに発表を行う。

研究テーマ例：水質汚染、大気汚染、土壌汚染、森林破壊、ゴミ問題など。

試 験：前期、後期ともレポートとする。

テキスト名： *The Biosphere* (A Scientific American Book), *Environmental Science* (Turk et al, Saunders Golden Series in Environmental Studies) 国連資料等の中から抜粋してコピーする。

情 報 処 理 演 習	やま もと おきむ 山 本 修	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

一応プログラミング技法を修得した学生でも、それぞれ実際にどう生かすかに当惑している人が多いように思われる。本講においてはこのような人々を対象に実際のデータ処理等に関する易しい問題を取り上げ、コンピュータと実社会とのつながりについての理解を深めるようにしたい。プログラム言語としては現在主流をなしつつあるC言語を用いる。

本講を受講できる学生は本学において「情報処理」を履修した学生か、またはそれと同等の学力を有するものとする。

試 験：前期は定期試験、後期は定期試験ならびにレポートの提出を求める。

テキスト名：『Cプログラミング入門』日本理工出版会

4) 外国語

英 語 I ・ II	4 単位・4 単位
	1・2 年
	通 年

First and Second Year English for non-English majors

Non-English majors, i. e. those students majoring in Chinese, Korean, or Spanish, must take English during their first and second years at Kanda University of International Studies. The students have two 90-minute classes of English per week. One of these classes focuses on reading/writing while the other emphasizes speaking/listening.

At KUIS the emphasis in our language classes is on communication. Therefore, in the reading/writing classes we discourage the “read and translate approach” to language teaching. The students will be given as many opportunities as possible to use English in the classroom, for example by summarizing and discussing the topics in the textbook. Similarly, in the speaking/listening section the emphasis is on using the spoken language for communication in the classroom.

中 国 語 I	かわ 村 よし お 川 村 嘉 夫 ル ショ オ 盧 曉 敏	4 単 位
		2 年
		通 年

生きた教材を通して、中国語を「耳」で聞いてわかり、「口」から正しい音を発せられるように、できるだけ発音の習得につとめ、このうえに基礎的な語彙、文法、表現などを学習してゆく。

試 験：前期末と後期末のほか中間に適時小テストを行う。

テキスト名：相原茂『中国語へのパスポート』朝日出版社（川村）
開講時に指示する。（盧）

中 国 語 II	ドゥアン ウェイ 段 威 シ ン ショウ 邢 秀 敏	4 単 位
		3 年
		通 年

初年度の学習を基礎に、講読、会話、テレビ・スキットを通して、中国の文化、風俗、習慣の理解を深めるとともに、中国語の「聴」、「説」、「読」、「写」の能力をいっそう高めてゆきたい。

試 験：前期と後期の末のほか中間に適時小テストを行う。

テキスト名：榎本英雄『中国に遊びましょう——遊中国』朝日出版社（段）
前期；王曙光『用法を中心にした中国語テキスト 中文新編（中級編）』白帝社（邢）
後期；沈国威・中川正元『中国語中級教科書、（応用編）』（白帝社）（邢）

ス ペ イ ン 語 I	4 単 位
	2 年
	通 年

<前期>

初級用の文法と訳読を兼ねた教科書を使用して、スペイン語の基礎的能力を身につけることを目的とする授業で、出席を重視するので注意すること。外国人の先生の授業では、文法的理解を深めると同時に、発音と表現に慣れ親しむことが求められる。前期では概ね直接法現在までを扱う。

<後期>

後期も前期と原則的に変わるところはないが、過去時制と再帰用法の学習に入り、文法的複雑さを増すので、なお一層の努力が必要となる。とりわけ動詞の活用における不規則性（とりわけ語根母音変化動詞）には注意を払わねばならない。

試 験：前期・後期の2回、各々の先生が別個の筆記試験を行う。

テキスト名：授業開始時に指示される。

ス ペ イ ン 語 II	4 単 位
	3 年
	通 年

<前期>

スペイン語Iを履修した学生を対象とした中級クラスで、スペイン語文法のなお一層の理解と、スペイン語表現能力の拡大を図る。日常的な会話が交わせることを一応の目標とする。

<後期>

前期授業の充実と発展を図る。そのためにできるだけ多くの教材を用い、視聴覚設備を活用して、なお一層の語学運用能力の獲得を目指す。

試 験：前期・後期の2回、各教員が、独自の筆記試験を行う。

テキスト名：授業開始時に指示される。

韓 国 語 I	と 土 羅	さ 佐 奈	まさ 昌 聖	き 樹 スク 淑	4 単 位
					2 年
					通 年

<前期>

韓国語と日本語は良く似ていると言われます。確かに、皆さんが英語で苦しんだ語順には、もう苦しまないでしょう。そして韓国で使われる漢字語が日本と同様なので、うれしくなる時もあるでしょう。このような類似点も多いのですが、相違する点も少なくありません。おそらく、当初、韓国語の発音や文法などに、とまどうでしょう。しかし、韓国語を学ぼううちに、発音の美しさや文法体系の見事さに感動するにちがいません。韓国語の面白さを知ることで、隣国である韓国に対する理解が深まることを期待します。

なお、韓国の風土・自然のみならず歴史や文化などにも関心を向けて下されば、もっと韓国語を面白く学べるでしょう。

<後期>

前期を継続し、韓国語の基礎を修得することを目指す。

テキスト名：未定

韓 国 語 II	はまなかにのぼる 濱中昇 とさき昌樹 土佐昌	4 単 位
		3 年
		通 年

一年目の授業の続きとして発音と文法の仕上げを行う。

後期は、前期の授業をふまえて、主として読解力の向上をめざす。

試 験：期末試験を行う。

テキスト名：プリントを使用する。

フ ラ ン ス 語 I	ふじたともこいずみとしあき 藤田知子・泉利明 せんばじゅんこたなべやすこ 仙波純子・田辺保子	4 単 位
		2 年
		通 年

<前期>

二人の教師が同一の教科書を用いて授業を行う。日常会話を素材として、実際のコミュニケーションに役立つ発音と文法事項の基礎を学ぶ。初めての外国語は与えられた課題を一つずつこなしながら、何よりも規則的に継続して学ぶことが大切である。学ぶことが多いこの時期を乗り越えれば、フランス語を手掛かりとしてさまざまな楽しみをもつことができる。フランス語Ⅰ終了時にはフランス語検定（仏検）4級に挑戦してみよう。

<後期>

前期と同じ方針で引き続き授業を行う。

試 験：数課終わるごとに試験を行う。

テキスト名：未定

フ ラ ン ス 語 II	ふじたいずみせんば 藤田・泉・仙波 たなべなかむら 田辺・中村	4 単 位
		3 年
		通 年

<前期>

一年目の授業の続きとして発音と文法の仕上げ、読解力、表現力の向上を目指す。フランス語検定（仏検）3級取得を目標にしてほしい。

<後期>

前期と同じ方針で引き続き授業を行う。

試 験：未定

テキスト名：未定

ド イ ツ 語 I	しがなみゆうこ 志賀浪優子 うちだしゅんいち 内田俊一	4 単 位
		2 年
		通 年

辞書の使い方指導を中心に文法、作文、発音、ヒアリングと万遍なく基礎を築きたい。

前期に続き初級の基礎を学びながら、後期には中級程度の物も読める学力を養うことを目標にする。

試 験：前期、後期の定期試験の他に必要に応じて実施。夏休みの宿題として毎年レポート用紙2枚以上の独作文もある。

テキスト名：①『練習中心 初級ドイツ文法』（改訂版） 中島他2名 白水社

②『ドイツ文法基本問題集』（改訂版） 植木他1名 三修社

ド イ ツ 語 Ⅱ	あか ざわ もと む 赤 沢 元 務	4 単 位
	ペーター ヴァッサー トイラー PETER WASSERTHEURER	3 年
		通 年

<前期>

週2回の授業のうち一方は講読を中心に、もう一方の授業は会話練習を中心に行います。講読のテキストは比較的やさしい読み物を用い、文法の復習も兼ねながら、読解力の基礎をより確実なものにしていきます。会話の方も、やさしい日常的表現を主に、耳と口を生きたドイツ語に慣れさせるところから始め、徐々に表現能力を高めていきます。もちろん読みと会話は別物ではありません。どちらの授業にも積極的に参加してください。

<後期>

講読の授業では、エッセイ、書簡、論文、小説等様々なジャンルの文章を読むことで、いわば柔軟な読解力の養成を目指します。なお速読の練習も行うつもりです。会話の授業も、単純な日常会話以上の表現力の養成に目標を置き、ヒアリング、作文にも多くの時間を割く予定です。

11月にはドイツ語技能検定試験が実施されます。その3級合格を一つの目標にするのもよいでしょう。

試 験：定期試験（年2回）及び平常点で評価する。

テキスト名：未定

ロ シ ア 語 Ⅰ	くろ だ りゅうのすけ 黒 田 龍之助	4 単 位
	ばん ない とも 坂 内 知子	2 年
		通 年

黒田龍之助

前期は、まったく初めての人を対象に、文字からはじめて、簡単な文が作れるようになることを目指します。ゆっくりとしたペースで丁寧に進めていきますが、語学の学習ははじめが大切ですからがんばってください。

後期は、動詞の活用などを復習しながら、さらに幅広く表現を学習していきます。また、テープ教材を使ったヒアリング練習を通して、生きたロシア語にも触れていきたいと思います。

試 験：前・後期に筆記試験。その他、授業中に小テストなど。

テキスト名：『パスポート初級露和辞典』 米重文樹編、白水社、その他プリント配付

坂内知子

初級用の教科書にそって基本文法を一通り習得します。特に最初に覚えるべきキリル文字の学習には別教材も使用します。音読を重視します。

後期は、前期に引き続き文法中心の学習ですが、進度にあわせてテキストを配付し、読解力もつけます。

試 験：年2回、前期・後期の末に行う。

テキスト名：『生きたロシア語入門』 米重文樹、白水社

ロ シ ア 語 II	くろ 黒 ばん 坂	だ 田 ない 内	りゅうのすけ 龍之助 とも 知 こ 子	4 単 位
				3 年
				通 年

黒田龍之助

前期は、ロシア語文法の基礎を固めます。今までに学習してきたことを系統的にまとめ、練習問題を通してその知識をより確かなものにしていきます。

後期は、やさしい読み物で表現や文型を学びながら、作文の練習をします。

試 験：前・後期末に試験。そのうち1回は面接による発音テスト。

テキスト名：プリントを配付

坂内知子

初級文法の補充の後、テキストにあたって読解力をつけてゆきます。読解と同時に、音読を重視し、発音、表現力の向上をはかります。

後期は、前期の続きで、テキスト講読、音読、会話練習を行います。

試 験：年2回前・後期末に行う。

テキスト名：コピー教材

イ タ リ ア 語 I	あき 秋 たか 高	やま 山 だ 田	よ 余 かず 和	し 思 ふみ 文	4 単 位
					2 年
					通 年

秋山余思

<前期>

イタリア語を読み、書き、話し、聞くために最小限度必要な基礎文法をいろいろな例文を読みながら説明する。ビデオも使用する。前期では、基礎文法の約半分を終える。

<後期>

前期に続いて同じテキストを用い、基礎文法の後半を学習する。時にはイタリアの文化や生活についてのビデオを見ながら、イタリアについての理解を深める。

試 験：前期と後期に1度ずつ筆記試験を行う。

テキスト名：秋山余思、その他共著『パッソ・ア・パッソ』（白水社）

高田和文

<前期>

簡単な日常会話を通してイタリア語の初歩を学ぶ。ビデオを用いてイタリアの文化に触れる機会を作る。前期では、発音、名詞、形容詞の変化、規則動詞の活用を中心に、基本的な表現の習得を目指す。

<後期>

前期に引き続きイタリア語の初歩を学ぶ。また、ビデオによりイタリア文化への理解を深める。文法事項としては、不規則動詞、代名詞、過去形などを扱い、辞書の使い方に慣れるようにする。

試 験：前期・後期各1回ずつの試験の結果により評価する。

テキスト名：Piacere！（ピアチェーレ）（日伊協会編）

イ タ リ ア 語 II	あき 秋 たか 高	やま 山 だ 田	よ 余 かず 和	し 思 ふみ 文	4 単 位
					3 年
					通 年

秋山余思

<前期>

前年度よりも更に詳しく文法を説明しながら、毎時間練習問題をやらせよう。練習問題は必ず予習して来ること。

<後期>

前期のテキストの続きを学習しながら、イタリア語の読解力を養うために、中級程度の文章の講読を行う。講読用のテキストはコピーを配付する。

試 験：年に2度筆記試験を行う。

テキスト名：小林惺著『イタリア語21課』（白水社）

高田和文

<前期>

前年度に続き、日常会話を通してイタリア語の基礎を学ぶ。ビデオを用いてイタリアの文化に対する理解を深める機会を作る。前期で過去の表現を含め、日常の事柄をイタリア語で表現できるようにする。

<後期>

これまで学習した内容を確実に身につけるとともに、やや複雑な事柄を表現できるようにする。引き続き、ビデオによりイタリア文化への理解を深める。

試 験：前期・後期各1回ずつの試験の結果により評価する。

テキスト名：『Ciao！（チャオ）』（日伊協会編）。後期はプリント

ア ラ ビ ア 語 I	なか 中	むら 村	きみ 公	のり 則	4 単 位
					2 年
					通 年

<前期>

アラビア語はギリシャ論理学の影響を受け、文法規範が非常に厳密に定まっている言語である。日本語や欧米語とのあまりの違いにびっくりする人もいるだろうが、知的好奇心のかたまりのような諸君の受講を歓迎する。

<後期>

前期の継続。アラビア文字に慣れたら、カセットも聴いて貰って、アラビア語とはどんな音声を持っているか知って貰うこともやりたい。

試 験：年2回期末試験を行う。そのほか小試験も頻繁に行う。

テキスト名：本田孝一著『たのしいアラビア語』（たまいらぼ）1～5巻

5) 保健体育

保 健 理 論	横 関 利 子	1 単 位
		2 年
		前 期・後 期

現代社会における労働の省力化、豊かになった食生活の結果、健康レベルは向上しているように思えるが、一方では、運動不足やエネルギーの過剰摂取が、循環器系疾患などの成人病との関わりを強くしている。成人病を予防し健康を増進するためには、適切な生活習慣を持つことが大切である。そこで、保健理論では①健康を成立させる要因は何か、②生活習慣が健康に及ぼす影響、③健康づくりのための運動の実際について講義をします。

試 験：出席状況、定期試験により評価する。

テキスト名：資料を作成して学生に配付

体 育 理 論	とみ まつ きょう いち 富 松 京 一	1 単 位
		2 年
		前 期・後 期

大学までの教育の中での体育はスポーツをすることに重点がおかれてきた。本当に体育やスポーツを理解しようとするならば、体育やスポーツとよばれる運動がどのような過程を経て今日に至っているのか知らなければならない。本講義は体育やスポーツの歴史の中から体育やスポーツの意味、意義を考えたい。

また、現代の体育やスポーツはどのような状況にあるのか。現代社会における体育やスポーツの現状分析を試みるとともに、私たちがどのような関係状態にあるのか、また、どのように対応したらよいのか、将来的な見通しをも含めて現代の体育・スポーツを考察したい。

試 験：レポートや小テストによって評価する。

テキスト名：担当者がプリントアウトしたものを使用する。

体 育 実 技	とみ 富 まつ 松 きょう 京 いち 一	2 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

体育実技は野外活動やスポーツ種目の実践を通して自らの身体認識の向上とその結果における動きの追求をする。本年度は一般的なスポーツ種目として卓球、テニス、バドミントン、バレーボール、バスケットボール、フットボール、ソフトボール等のボールゲームと、野外活動種目としてオリエンテーリング、サイクリング、スキーの中から1種目ずつの2種目、卒業までに4種目の選択履修である。

試 験：出席状況、課題のできばえ、レポート等で評価する。

〔2〕 専門教育科目

1) 基礎教育科目（各科共通）

日本近代思想史 A・B	やま 山 りょう 領 けん 健 じ 二	4 単 位
		2～4 年
		通 年

<前期>

近代日本思想史概説

幕末・明治維新から第二次世界大戦に至る約百年間の日本の思想史を、いくつかの知識人集団を中心に概説する。とりあげる予定の集団は、尚歯会、明六社、政教社、理想団、青鞞社、黎明会、我等社、種蒔き社、『土曜日』など。

<後期>

近代日本の思想家たち

近代日本の思想史上重要な思想家の中から数人の思想家をとりあげて、その生き方と考え方との関係を論じる。時代、生育環境、専門分野、職業、思想傾向などそれぞれ異なる人物を選んで紹介したい。

試 験：前期、後期ともにレポートによって成績の評価を行う。レポートについては追って参考書を指定する。

テキスト名：前期・後期それぞれ参考書を指定する予定である。教材は随時教室で配付する。

日本倫理思想史 A・B・C・D	くぼ 窪 た こう 田 高 めい 明	4 単 位
		1～4 年
		通 年

本年度は昨年度までの講義とは構成を大幅に変更する。前期は二つの方針を立て、それに即して講義を組み立てる。一つは、死生観、恋愛、家族といった倫理の基本的な主題を中心にその変遷をたどること。二つは、そのような展開をとおして倫理思想史全般にわたって基礎的な事項を学ぶようにすることである。なお、詳細な内容については最初の講義で資料を配布する予定。

後期は二人ないし、三人の思想家を取りあげ、その思想の内容を彼らの文章を通して学ぶようにする。現段階では親鸞、本居宣長を予定している。親鸞は浄土真宗の開祖という仏教史の位置付けを超えて、現代の思想にも大きな影響を与えている思想家である。本居宣長は近世の国学の大成者であり、日本の文化の特質を考える上で無視することのできない思想家である。

試 験：期末に試験を行う。

テキスト名：未定

日本倫理思想史 E・F	うお ずみ たか し 魚 住 孝 至	4 単位
		1～4年
		通 年

<前期>

日本の武道・芸道・禅では、修行を通じて心身を変容させて初めて至芸の境と万事に通ずる「道」が体得されるとされている。ここには、西洋思想とは異なった、実践的で独特な人間観がある。前期は、武蔵の剣術論、ヘリゲルの弓道論、世阿弥の能芸論、禅の修行論を取り上げ、その都度の段階で心身の変容を通じ、いかなる世界が開かれるのかを窺い、日本的な修行論の特質とその背後にある人間観を問題にしたい。

<後期>

日本の中世から近世、隠者の文化と禅の交錯の中で、様々な芸の分野で独特な美意識が形成された。前期の内容も踏まえつつ、芸道に見られる美意識・自然観・修行論等を問題にしたい。まず徒然草を見た後、雪舟から等伯に至る水墨画、枯山水の庭園、珠光から利休に至る茶の湯、西行から芭蕉に至る流れ等を問題にする。前期・後期とも、随時道具やビデオ、図録等を見て、芸の実際を窺いつつ論じたい。

試 験：各学期末の試験及びレポートで評価する。時折書いてもらう授業後の感想も加点する。

テキスト名：前期；宮本武蔵『五輪書』、E・ヘリゲル『日本の弓術』、世阿弥『風姿花伝』（以上岩波文庫）
後期；松尾芭蕉『おくのほそ道』（角川文庫）、唐木順三『日本人の心の歴史』（上）（ちくま学芸文庫）

日本の宗教 A・B	うす い あつ こ 薄 井 篤 子	4 単位
		1～4年
		通 年

<前期>

日本には多くの宗教が存在するにもかかわらず、日常的に明確な信仰を自覚する機会は少ない。だからと言って日本人は宗教心が薄いとは断言できない。生死観、人間関係、組織構造など、日本の文化や社会の中核で宗教的感性や心情が果たす機能は大きい。

前期では宗派にこだわらず、「生活態としての宗教」という視点から多角的に検討する。諸宗教・宗派間の相互関係の理解に努め、日本の宗教の文化的構造とその特徴を考える。

<後期>

後期では近代に出現し、今日もお多様な活動を展開している新宗教運動に焦点をあてる。特に近現代の社会変動との関わりを中心に教義や活動の理解を試みる。また既存の宗教伝統との相違や連続を考察することを通して、前期で学習した宗教の社会的文化的機能の認識を深める。

参考文献は適宜教室で指示する。

試 験：学期末にレポート提出

日本芸能史 A・B	いけ だ こう いち 池 田 弘 一	4 単位
		1～4年
		通年

<前期>

日本芸能の流れを、中世・近世を中心にとどる。特に近世の演劇・音曲・民衆芸能に重点をおいて、その諸相をビデオ・テープなどによって観察し、民衆に愛され、民衆と共に生きてきた歌舞伎・浄瑠璃・寄席芸能について具体的に理解を深める。多くの基礎的知識を身につけてほしいという願いから出欠席については厳しく対処し、5回の欠時を数える者には単位を認めない。また、随時鑑賞文の提出を求める。

<後期>

「仮名手本忠臣蔵」を素材として、浄瑠璃・歌舞伎を中心に、日本の伝統芸能の特質を考察する。テキストによる文字面からの学習にとどまることなく、実際の舞台を見、演奏を聞くような体験的学習を求める。テキスト本文の書写の提出を求めるほか、指定した舞台の観劇も義務づける。したがって時間と労力を必要とする講座であることを理解のうえで選択してほしい。5回の欠時を数える者には単位を認めない。

試 験：前期・後期それぞれ1回の提出作品に出席点・平常点を加味して評価する。

テキスト名：校註『仮名手本忠臣蔵』笠間書院

日本語学基礎 A	おお しま いち ろう 大 島 一 郎	4 単位
		1～4年
		通年

現代日本語の実態を通して、日本語の歴史の変遷を探り、日本語の「言語」としての特質・機能を考える。

実態調査の体験を通して、言語研究の方法を考察する。夏休みには各自、任意の研究テーマによる調査研究を課する。

後期は、夏休み中に調査研究した成果を発表し、学生相互による検討を深めつつ具体的に日本語研究のあり方を探究する。

試 験：学年末に筆記試験を行い、その成果によって評価する。

テキスト名：『日本の方言』（講談社現代新書）

日 本 語 学 基 礎 B ・ C	いの井 うえ上 まさる優	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

『基礎日本語文法一改訂版』（益岡隆志・田窪行則、くろしお出版）にもとづき、日本語文法のしくみを概観する。受講希望者は第1回の講義に出席して、受講票を提出のこと。

試 験：前期・後期各1回実施

テキスト名：『基礎日本語文法一改訂版』（益岡隆志・田窪行則、くろしお出版）

日 本 語 学 基 礎 D	いわもと えのく 岩本遠億	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

<前期>

我々は、「主語・目的語」という文法用語をよく使うが、これらが何を意味するかということを考えることはあまりない。この講義では、日本語と日本語とは異なった特徴をもつオーストラリア、コーカサス、パプア・ニューギニア、東南アジア、アメリカインディアン^①の言語などと比較対照しながら「主語・目的語」とは何かを概説する。授業形式は、一方的な講義とはせず、学生に問題や課題を解きながら理解を深めてもらうことにする。

<後期>

前期に導入した概念を用いて日本語の幾つかの文法現象を分析する。扱う現象は、受動文、使役文、難易文等。

試 験：前期と後期の学期末にテストを行なう。

テキスト名：プリント

日 本 文 化 論	とら お とし や 厩 尾 俊 哉	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

日本文化の特質を理解するためには、先ずその形成発展のあとを、特に東アジアの文化の流れの中に位置づけて、歴史的に考察することが必要である。所謂日本文化論として世に行われているものの中には、この歴史的考察に欠けるものが少なくない。

そこで本講では、日本文化史の流れを把握することに重点を置き、かつ重要なトピックを幾つか選んで講義し、その中から自ずと日本文化の特質についての理解を身につけることを目指す。

試 験：ノート（手書き）提出（学期中に各1回）及び定期試験（学期末に各1回）の結果によって評価する。

テキスト名：尾藤正英『日本文化論』（放送大学教材）（日本放送出版協会）

T. TORAO & D. BROWN, "Chronology of Japan"（ビー・アイ・アイ／丸善）

日 本 倫 理 思 想 史 演 習	くぼ た こう めい 窪 田 高 明	・ 4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

本年度は日本の歴史と文化の原点を知る上で最重要の文献である日本書記を読むことにする。日本書記の神話記述の価値は、本居宣長以降、不当に低く評価されてきた。しかし、その記述は古事記にはない独自の内容を含んでおり、その後の神道思想に与えた影響は絶大である。

授業では、文章の展開に密着して読解を進め、日本の神話の内容を学習する。

前後期とも、レポーターを順次指名し、内容に関するレジュメの発表という形で授業を行うので、積極的な姿勢を期待したい。

昨年度既修の学生は単位の認定は行えないが、余裕があればオブザーバー参加してよい。

試 験：前後期、それぞれレポートを課す。

テキスト名：『日本書紀Ⅰ』（岩波文庫）

日 本 文 化 論 演 習	とら おし や 扉 尾 俊 哉	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

宇比山踏（うひやまぶみ）は、日本の近世を代表する学者の一人である本居宣長が初心者のために国学研究の手引書として執筆した小篇で、文庫本にもなっているが、ことさら江戸時代末期の木版本の影印本をテキストとして一緒に読んでゆく。ただし、国学思想を学ぶためではなく、今日なお有効な人文系の学問のための心得を学びとることと、前近代の日本文化が1つの高みに達した時代の書物とその文章とに直接ふれることを目的とする。

最初の数週は背景となる基礎知識を講義し、かつ読解の具体的な方法を指導する。その後、履修者に適当な分量を割りあて、順次読解させ、問題点を皆で討議し、正しい理解を得るようにつとめる。

試 験：演習における発表と出席の状況（回数だけではなく参加の態度）、及び学年末におけるレポートで評価する。

テキスト名：『宇比山踏』（影印本）（和泉書院刊、石原清志・大取一馬編、927円）

コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論 A	ふる た ぎょう 古 田 暁	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

人間にとってコミュニケーションとは何なのかを考えたい。その生物学的な、社会的な発生の根拠。人間がその生の環境に対して懐く根源的な感情と文化。文化に共通した価値志向などを検討する。

<後期>

前期で考察したような人間コミュニケーションの内容分析を後期で行う。記号。言語。意味。コンテキスト。

コミュニケーション論 B	ひら 井 一 弘 平 井 一 弘	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

コミュニケーション理論のわく組

- A. 日本語の「コミュニケーション」という語は何を意味しているか。
- B. コミュニケーション理論における「コミュニケーション」の概念
- C. ヒューマン・コミュニケーションの理論
 - 1. インターパーソナル
 - 2. グループ
 - 3. パブリック
 - 4. その他

<後期>

社会とコミュニケーション

- A. 文化とコミュニケーション
 - 1. 文化
 - 2. 文化とコミュニケーションの関係
- B. コミュニケーションの社会的機能
 - 1. コミュニケーションと社会（理論）
 - 2. 日本社会とコミュニケーション
- C. 社会の変化とコミュニケーション
 - 1. 個人の変化
 - 2. 社会の変化

試 験：前期、後期ともそれぞれ1回論文を提出する。

テキスト名：授業第1回目にテキストの指示をする。その他、参考書は授業時に紹介する。

コミュニケーション論 C・D	いー 李 光 鎬 李 光 鎬	4 単 位
		1～4年
		通 年

前期は、コミュニケーションの概念やモデル、コミュニケーション学の体系などに関する基礎的な内容と、自己概念・対人知覚・対人魅力など対人コミュニケーションの諸側面に関する内容を中心に講義を行う。

後期は、小集団コミュニケーション、組織コミュニケーション、マス・コミュニケーション、国際コミュニケーション研究分野における主要な論点を中心に講義を行い、多様な水準におけるコミュニケーションの重要性と問題点について学習する。

試 験：前後期各1回の期末試験と出席状況を考慮し評価する。

テキスト名：橋本満弘・石井敏編著『コミュニケーション論入門』桐原書店

異文化コミュニケーション論A	く め てる ゆき 久 米 昭 元	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

最初に文化とコミュニケーションの基本概念と相互関係について考察し、その後コミュニケーションに影響を及ぼしている様々な文化的要因について考察する。後半は事例研究や学生による特定テーマのプレゼンテーションやビデオなどを通して異文化を理解するということについて、具体的に考えてゆきたい。出席と討論への積極的参加を重視する。

試 験：定期試験（年2回）、その他レポート及びプレゼンテーション

テキスト名：古田暁監修『異文化コミュニケーション』有斐閣
古田暁監修『異文化コミュニケーション・キーワード』有斐閣

異文化コミュニケーション論B	ひら い かつ ひろ 平 井 一 弘	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

<前期>

文化とコミュニケーション

A. 文化とは何か

1. 日本における一般的「文化」概念
2. 異文化（間）コミュニケーション学における「文化」概念

B. コミュニケーションとは何か

1. 日本社会のコミュニケーション観
2. 西欧におけるコミュニケーション観

C. 異文化（間）コミュニケーションにおける主要なる諸問題

<後期>

文明とコミュニケーション

A. 文明とは何か

1. 近代文明と思想
2. 近代文明とコミュニケーション技術

B. 日本の近代（文明）化

1. 日本の近代文明化思想—福沢諭吉
2. 日本の近代化とコミュニケーション技術

C. グローバリゼーションとコミュニケーション

試 験：前期、後期ともそれぞれ1回論文を提出する。

テキスト名：授業第1回目にテキストの指示をする。その他、参考書は授業時に紹介する。

異文化コミュニケーション論C・D	よこ 横 かわ 川 まりこ 真理子	4 単 位
		2～4 年
		通 年

<前期>

Successful Intercultural Communication begins with self-awareness—questioning our own values, assumptions, and customs. This course will work on developing such skills by studying how cultural patterns affect both our own behavior and our perception of others, both within and across national boundaries. During the first semester, we will take up verbal and non-verbal communication, cultural values, cognitive style, and cultural adjustment and maladjustment in the forms of culture shock and re-entry shock. Exercises will be given in class to illustrate these concepts.

Although the lectures will primarily be in English, there will be some explanation in Japanese. Comments, questions, and exams will also be accepted in Japanese.

<後期>

The second semester will concentrate on applying the principles of intercultural communication covered during the first semester. Suggested topics for application will include study abroad, interpretation and translation, the issue of Japanese returnee children, and development aid, as well as intercultural problems arising in both business and inter-governmental workplaces.

Doing an observational field study and writing a report on the results will be an important activity of the second semester. These reports will also be accepted in Japanese.

Evaluation: One in-class exam at the end of each semester, an observational project, in-class exercises and attendance will all be part of the evaluation.

テキスト名: ジョン・コンドン『異文化間コミュニケーション カルチャー・ギャップの理解』近藤千恵訳
サイマル出版 1980

異文化コミュニケーション論E・F	こ 小 ばやし 林 としお 登志生	4 単 位
		2～4 年
		通 年

<前期>

今日の国際先進社会は、高度技術化、国際化および情報化という3つのキーワードで特徴づけられる。社会がよりハイテク化すれば国際化が促進され、ハイテク化および国際化の進展は情報化を必然とする。それぞれを成り立たせるのに必要なプロセスがコミュニケーションである。本講義では、日本が国際社会において果たす役割に焦点を当て、国際間および異文化間におけるコミュニケーションの諸問題について学習・研究を進めて行く。

<後期>

前期に修得したコミュニケーション学についての基本的な学習・理解を踏まえ、クラスにおいて各種のアクティビティを通して異文化コミュニケーションの諸問題について実用的な研究・討論を行う。受講学生は、常にクラス活動に役立つ国際、国内時事問題等についてTV・新聞等から情報を収集しておくよう。

- 試 験: 1. クラス活動・討論への積極的な参加
2. レポート類の提出
3. 定期試験

テキスト名: 生田正輝著『コミュニケーション論』慶応通信
その他ビデオ教材を用いる。

異文化コミュニケーション論G	ホーリー シーバート HOLLY SIEBERT	4 単位
	カワカミ KAWAKAMI	2～4年
		通年

In the first semester we will carefully study basic ideas and principles of intercultural communication while trying to apply them to real life situations. Examples will be chosen according to their relevancy to the students' lives. Any students with overseas experience will be encouraged to discuss and recount what they learned and observed. We will also try to include examples from many countries,—not just the U.S. And we will look at Japan's diversity, both regional and ethnic. Methods will include case study discussion, video works, role plays and group presentation. Students may use either Japanese or English for discussion although written assignments are required in English.

In the second semester we will continue to apply our principles to more complicated situations and expand our understanding of cultural differences. We may include issues such as environment and development, advanced and developing countries, and what it means to be a global citizen. Again, various methods will be used with the emphasis being on discussion and interaction. There will be regular reading assignments and homework throughout the year.

評価： Evaluation will be based on participation, attendance and assignments plus one or two major tests.

テキスト名： Teacher's materials will be the text.

組織コミュニケーション論A・B	なが お てる や 長 尾 昭 哉	4 単位
		2～4年
		通年

組織コミュニケーション論は、新しくつくられつつある学問分野だと考えている。組織理論とコミュニケーション理論の基礎から勉強してゆく。

試験： 5～6回に分けて学期中に行う。

テキスト名： コピーして配付する。

組織コミュニケーション論C	く 久 め 米 て る 昭 元	4 単 位
		2～4年
		通 年

「組織があって人がいる」のではなく、「人が集まって組織ができる」という立場で、人と集団、人と組織、人と社会とのかかわりを比較文化の視点から考える。主なテーマは「情報はいかに得られ、浸透するのか」、「ものごとはどのようにして決まるのか」、「ものごとはどのように実行されるのか」の3つである。これらについて、クラスでの討論及びグループ・プロセスの省察と実際の組織へのフィールド・ワークを通して考察を深めたい。時間のかかる調査をねばり強く行う意欲のある学生を歓迎する。

試 験：定期試験（年1回）、その他フィールド・レポート及びプレゼンテーション。

テキスト名：①林吉郎『異文化インターフェイス経営』日本経済新聞社
②W. ハウエル・久米昭元『感性のコミュニケーション』大修館書店

メディア・コミュニケーション論A・B	たけ 武 いち 市 ひで 英 お 雄	4 単 位
		1～4年
		通 年

人は目に見える外在的な世界と文字や記号などをもとに頭の中で組み立てられた内在的な世界の2つの世界の中に生きている。特に後者はメディアを通して伝えられる疑似的な経験である。人は情報の入手に、メディアを通じたコミュニケーションに依存しているが、人はメディアに対して受け身でなく主体的な姿勢で接することが大切。そこで本講ではメディアの機能、特質を学んでいくが、とくに前期はメディアや報道行為の特徴を学ぶ。

後期においてはまず新聞の機能について学習。新聞の特性をはじめ今日の新聞の状況や新聞の歴史にふれる。次にニュースの特性について考える。ニュースはジャーナリストの目を通して伝えられるもので、いわゆる加工品であることを確認。ジャーナリズムの特徴について学ぶとともに、国際的な場でのメディアを通してコミュニケーションの諸問題について考察。このようにメディアを通じたコミュニケーションについて学んでいく。

試 験：学期中に提出してもらった「書評」「宿題」のほかに学年度末のテストなどを総合評価して成績を出す。

テキスト名：清水英夫ほか『新版・マスコミュニケーション概論』（学陽書房）
新井直之ほか『新聞学』（日本評論社）
山中正剛ほか『マスコミュニケーションの空間』（松籟社）

メディア・コミュニケーション論C	みどうおか 御堂岡	きよし 潔	4 単位
			1～4年
			集中講義

<前期>

国際化の進展が著しい今、日本・日本人が諸外国からどのように見られているか、そして日本人は諸外国をどのように見ているかは、重要な問題である。そこには、しばしば偏見やステレオタイプが見られ、滑らかな相互関係を阻害している。この問題に関連して、講義前半は、国家・国民の相互イメージの実態を具体的な素材や資料を見ながら検討し、また、その研究法を紹介する。形成因としてのメディアについても、簡単に言及する。

<後期>

国際化の進展が著しい今、日本・日本人が諸外国からどのように見られているか、そして日本人は諸外国をどのように見ているかは、重要な問題である。そこには、しばしば偏見やステレオタイプが見られ、滑らかな相互関係を阻害している。この問題に関連して、講義後半は、国家・国民の相互イメージ形成因としてのメディアについて、具体的な素材や資料を見ながら、詳しく考えてみる。

試験：講義の中で随時小課題を提出してもらい、最後に試験をおこなう。

テキスト：なし。必要に応じて、プリント配付。ビデオ視聴などを行う。

国際ビジネス・コミュニケーション論A・B	ホーリー HOLLY	シーバート SIEBERT	4 単位
			1～4年
			通年

This course will be offered twice. Students wishing to use English as much as possible should register for the earlier class while students wishing to communicate in both Japanese and English should try to register for the second class. However, in either class the emphasis will be on content rather than language. The textbook may be purchased in Japanese. However, tests and homework must be written in English.

After a review of major principles of intercultural communication, we will look at how cultural background affects the workplace and doing business. There will be sections on leadership and management styles, negotiating, motivation, presentations and persuasion, company and individual expectations, multi-cultural management. Students will be expected to do projects and presentations. Participation and regular attendance are very important.

試験：Evaluation will be based on projects, attendance and participation. Short tests may be given.

テキスト名：Purchase in either English or Japanese.

International Dimensions of Organizational Behavior

2nd Edition, by Nancy J. Adler, Wadsworth Publishing co., 1991. (PTO)

(日本語テキスト名 『異文化組織のマネジメント』)

非言語コミュニケーション論

とう やま やす こ
東 山 安 子

4 単 位
2 ~ 4 年
通 年

非言語コミュニケーションとは、顔の表情、視線、手振り、身振り、姿勢、相手との距離感、縄張り意識、空間概念、時間概念、声の質や調子、服装、臭いなど、様々なことばによらない伝達手段によるコミュニケーションを指す。前期は、これら多岐にわたる非言語コミュニケーションの諸相について概説する。扱う文化圏は欧米のみならず日本を含むアジアにも言及する。学生は関連図書を読み、観察眼をみがき、積極的に授業にのぞむことを期待する。

後期は基本的な非言語コミュニケーションに対する知識をもとに、関心のあるテーマごとにグループを編成し、プロジェクトに取り組んでもらう。講義は非言語研究の研究・調査方法について、学際的な諸分野から具体的な研究例をひいて概説する。学生はプロジェクト案の提出、調査の実施、中間発表などを経て、最終的にプロジェクトに関するレポートを仕上げることを課題とする。

試 験：前期；書評（レポート或は口頭発表）、及び意見カード。

後期；プレゼンテーション、レポート、及び意見カード。

▶出席重視

テキスト名：マジョリー・F・ヴァーガス著『非言語コミュニケーション』新潮選書

その他：ハンドアウト、ビデオ教材

異文化コミュニケーション演習

く め て る ゆき
久 米 昭 元

4 単 位
3 ~ 4 年
通 年

異文化コミュニケーション研究にかかわる領域について日英両語の文献（研究史、言語・非言語メッセージ、価値観、異文化適応、文化摩擦、異文化交渉等）を読み、その中から自分自身の研究テーマを摸索する。後半にはテーマに関する発表と討論を通して、リサーチペーパーの完成をめざす。

〈コミュニケーション関連科目のうち「異文化コミュニケーション論」を含め8単位を取得した者に限る〉

試 験：リサーチペーパーと後期試験

テキスト名：①K. S. シタラム『異文化間コミュニケーション』（御堂岡 潔訳）東京創元社

②C. クラックホーン『文化人類学の世界』（外山 滋比古他訳）講談社

コミュニケーション演習	ふる 古	た 田	ぎょう 暁	4 単 位
				2～4 年
				通 年

<前期>

コミュニケーションと記号と文化は不可分の関係にある。そして人間の生きている世界はそれらによって構成されている。本演習では、E・カッラーの *An Essay on Man* を読みながら、人間とコミュニケーションの問題を考えてみたい。

<後期>

前期は総論であったが、後期は各論で、神話、宗教、言語、芸術、歴史、科学などについて考察する。

比較文明論	そめ 染	や 谷	よし 臣	みち 道	4 単 位
					1～4 年
					通 年

<前期>

冷戦終結後の世界政治は文明的区分に規定されているというハンチントンの主張は比較文明論に一石を投じた。しかし、彼の所論は依然として欧米中心主義に立ったパワー・ポリティックスのパラダイムの中にあり、そうしたパラダイムの限界を乗り越えるために自らの伝統を「翻訳」し直している欧米自身の努力を無視している。本講では、彼の言説「文明の衝突？」の問題点を明らかにし、欧米における共生志向の動きを概観する。

<後期>

異なった文明同士の接触・交流がそれぞれを刺激し、活性化し、可能性を広げる。したがって異文明からより多くを吸収した文明こそがそれだけ多くの可能性を持ちうる。そうした観点からすると現代世界はどのような状況にあるのだろうか。君臨する西欧起源の近代文明。そしてそれを非西欧世界はどのように「翻訳」し、受容し、あるいは拒否しながら自らを活性化しているか。主にアジア諸国の事例について考察する。

試 験：いくつかの小レポートに加えて前期末にまとめのレポートを提出させる。後期は試験を行う予定である。

テキスト名：Huntington, S., *The Clash of Civilizations?*, *Foreign Affairs*, Summer 1993.

比較文明学会『比較文明 特集 文明の共存』東京：刀水書房、1994

参 考 書：村上陽一郎『文明のなかの科学』東京：青土社、1994

大橋良介編『文化の翻訳可能性』京都：人文書院

東南アジアの宗教と文化

そめ や よし みち
染 谷 臣 道

4 単 位
1～4年
通 年

<前期>

東南アジアは世界でも稀といわれるほどきわめて複雑な宗教の場を形成しているが、日本もその点でさほど異なるわけではない。しかし科学技術の発達程度から宗教観の違いは両者の間で顕著であり、相互理解を阻んでいることも事実である。東南アジアの宗教的状况を概観しながら、相互理解を阻んでいる要因について具体例を検討しながら考察したい。

<後期>

東南アジアの宗教的多様性は同時に文化的な多様性を意味する。それがこの地域に多くの難しい問題をもたらしてきたが、他方で発展の源泉ともなる可能性を秘めている。特に日本と比較すると逆転が見られるのでこの点に着目し、東南アジアの文化的社会的現況を概観したうえで彼我の可能性と限界を考察したい。

試 験：何度かの小レポートと各期末にレポートを提出。

テキスト名：佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』東京：新曜社 1994

参 考 書：清水昭俊編『洗練と粗野』東京：東京大学出版会 1995

国際経済概論 A・B

うち だ しげ お
内 田 茂 男

4 単 位
2～4年
通 年

冷戦体制の終結で、世界経済は歴史的な転換点を迎えている。旧ソ連・東欧諸国は苦しみながらも市場経済圏への仲間入りを目指し、中国も「社会主義市場経済化」の道を着実に歩み始めている。先進各国はというと、スーパーパワー、アメリカの衰退で、地域ブロック化への傾斜を強め、自由貿易主義は危機に瀕している。こうした大きな流れの変化に日本はどう対応するのか。日本経済とのかかわりを軸にして、いま世界になにが起こっているか、を新聞記者の視点で整理してみたい。教えるというより、一緒に考えるということになる。

試 験：前、後期1回ずつ、小論文形式。

テキスト名：適宜授業でいいます。

国際経済概論 C	たか なし かず ひろ 高 梨 和 紘	4 単位
		2～4年
		通 年

今日、各国経済の相互依存関係はますます緊密の度を増している。商品の動きである貿易、資金の動きである国際投資や援助、情報の動きである技術移転など、どの側面においても各国相互間にはより深い経済関係が形成されつつある。こうした現象は米国、EC、日本についてばかりでなく、最近ではNIESをはじめとする発展途上国、さらにはソ連、東欧を含むより広い範囲に見られるようになった。そうした動きの中で、とりわけ発展途上諸国は国際経済の動きを左右するまでに、その影響力を増してきている。そこで本講義では、第二次大戦以後の国際経済全般の動向を概観した後、とくに発展途上国に注目し、その対外経済活動と背後にある国内経済の諸問題を扱いたい。

なお前期は日一米を中心とした先進工業国の経済関係を、また後期には発展途上諸国の経済とその国際関係に重点を置いて講義する。

試 験：講義内容の理解度と、それを踏まえ現実の国際経済問題に独自の評価を加えられるか考査する。ノートの持込可。

テキスト名：特定のものはなし。講義時にアナウンスする予定です。

国際機構概論 A・B	おお いずみ けい こ 大 泉 敬 子	4 単位
		3～4年
		通 年

<前期>

最近多くの日本人が関心をもつようになった「国際連合」は、国際社会の長い歴史の結果存在している国際機構である。17世紀半ばに誕生した国家間関係としての国際関係が、経済や技術、紛争解決などの分野で次第に組織化され、19世紀に入ってから国際連盟をへて国連にまで至ったのだ。本講義では、そうした国際機構の歴史を理解したうえで、国連など現在あるさまざまな国際機構がどのように国際社会を組織化しているかを考える。

<後期>

現代の国際機構のなかから、主に国連をとりあげ、そのシステム、機能、役割について検討する。国連の平和機能（紛争の解決や管理）と経済的・社会的・文化的分野での国連活動を、現実の国際関係と国連との相互関係に焦点をあてて考える。国連とは、ダイナミックに動く「生きた機構」だからである。また、国連と日本（国際貢献や常任理事国入りなど）、国連と他の地域機構、国連と民間団体（NGO）との関係についても考える。

試 験：定期試験とレポート、また通常の国際問題常識小テストの結果を、総合的に評価する。

テキスト名：その都度、必要文献名をあげる。

国際機構概論 C・D	たか	はし	たけし	4 単位
	高	橋	武	3～4年
				通年

この講義では国際機関 (International Organisations) の語を使う。前期ではinternationalという語の由来から始めて、戦前の国際連盟 (League of Nations) とILO (国際労働機関) を採上げる。次いで国際連合 (U.N.) について国連憲章、事務総長の役割、Decision-Making、経済社会理事会、アジア太平洋経済委員会について述べる。

後期では国連の活動として、まず安保理とPKO (平和維持活動) にふれ、UPDP (国連開発計画) の活動を重視したい。この点からInternational Developmentなる概念が生まれてきた。次いで国連の専門機関でもあるILOを採上げ、人権、雇用、社会保障での活動 (国際労働基準と技術援助) にふれる。いわゆるノンガバ (NGO: 非政府団体) の労働組合と使用者 (経営者) 団体が意志決定に組み込まれている点が重要だからである。最後に国家とは何かで結ぶ。第3の1000年期の到来を眼前にして、われわれの視野を拡げたいからである。

試験：レポートの結果で評価する。

テキスト名：参考書、横田洋三編著『国際機構論』1992

Basic Facts about the United Nations, 1992

The International Development Dictionary, 1991. ABC-CLIO.

国際法概論 A・B	しの	はら	あづき	4 単位
	篠	原	梓	2～4年
				通年

前期は教科書の前半の基礎部分について講義を行う。具体的には総論、国際法の成立形式、国家、海・空の国際法位までを予定しており、やや時間をかけて法的思考や国際社会に対する基本的理解を身につけることに重点を置きたい。授業前に予め教科書を読んで、授業時には必ず持参すること。

後期は教科書の後半の各論部分について、やや詳細に時事問題等も取入れながら講義を進める。内容は国家機関と外交関係、個人、国家責任、環境保護、紛争の平和的解決、武力紛争と国際法を予定している。最後には試験の準備も兼ねて、記述式問題の解答要領についても指導するつもりである。

試験：後期にまとめて記述式の試験を行う。

テキスト名：横川新・佐藤文夫編『国際法講義』北樹出版・2,600円

国際法概論 C・D	みやうちやすひこ 宮内靖彦	4 単位
		2～4年
		通年

国際法は今や戦争・安全保障の問題に限らず、漁業・資源、経済・金融、開発、環境、交通通信、宇宙・南極等、広汎な分野に関っており、知らないでは済まされないものになっています。しかし、マス・メディアの世界には如何に知られていないことか、そのため、いかに間違っていることか。「日本の常識は世界の非常識」という言葉は言い古された言葉ですが、もはや日本人の思考が日本の伝統的思考だけで完結する時代は終わっています。

この講義では、そういう「世界の常識」の基礎となる「国際法」の基本的知識の提供と国際関係における、または世界とツキ合う上でのモノの捉え方・考え方を伝えることを目的とします。

授業では、テキストの予習や課題の解決等、色々なことを要求しますので、積極的な態度での参加を期待しています。

試験：成績の評価は学年末試験の成績を基準とする。

テキスト名：山本草二（編集代表）『国際条約集』（有斐閣）

杉原高嶺（他）『現代国際法講義』（有斐閣）

民族と文化 I A・B	ないとうみさお 内藤 操	4 単位
		1～4年
		通年

<前期>

文化の現在と文化の原点

文化はタブーの設定にはじまる。そのタブーの態様についてまず日本に言及するが、本論に入ると「色のシムボリズム」及び「文化」をおさえ、文化の国際比較を文化相対主義との関連で述べる。

<後期>

「グローバルな民族主義」

これは今では形容矛盾のようにも思われようが、地球が生き残るか「われわれ」に固執する人間が生き残るかという問題の前ではそれを論じざるをえない。ネーション形成以前に舞い戻って日本のナショナルリズムを考えることも有効であろう。

試験：通年でレポートを2度ほど提出してもらおう。

テキスト名：その折に指定する。

民族と文化Ⅱ A	なかむらきみのり 中村公則	4 単位
		1～4年
		通年

<前期>

イスラーム圏の民族と文化について講義する。イスラーム圏の民族や文化の特質は我々のそれと大いに異なる所があり、それを明らかにしていく。特に本講義では、アラブ民族の文化に重点を置いて、アラブとのかかわり合いに於て諸民族のことに触れていく。

<後期>

北アフリカ西部とイベリア半島はアル・アンダルスと呼ばれ、イスラーム文化が花開いた地である。本講義では、前期の継承と共にイスラーム・スペイン史にも焦点をあてたい。

試験：年に2回持込可の試験を行う。ほかに読書感想文をいくつか書いて貰う。

テキスト名：本田実信著『イスラム世界の発展』（講談社）

民族と文化Ⅱ B	なかむらきみのり 中村公則	4 単位
		1～4年
		通年

<前期>

イスラーム圏の民族と文化について講義する。特にイスラーム文化に多大な貢献をしたペルシャ文化には大きな焦点をあてる。歴史と文化にまたがる学際的な講義ができればと思う。

<後期>

イスラーム圏ではアラブ人やイラン人のほかに多くの民族がムスリムとしてイスラームを奉じている。本講義ではそういった諸民族の文化にも言及できればと考えている。

試験：年2回持込可の試験を行う。ほかに読書感想文をいくつか書いて貰う。

テキスト名：本田実信著『イスラム世界の発展』（講談社）

2) 英米語学科専門教育科目

英 語 総 合 講 座 I	12 単 位
	1 年
	前期・後期

<Freshman English (a)/(b)> (4 単位 / 4 単位)

This is an integrated—skills course which aims to improve the four skills of speaking, listening comprehension, reading, and writing.

<Reading (a)/(b)> (1 単位 / 1 単位)

In this course various reading materials of short to medium length are read and discussed. Emphasis is placed on reading skills and vocabulary development.

<Basic Writing> (1 単位)

The students learn how to express their thoughts in written English paragraphs and essays. Model paragraphs are presented for analysis. Emphasis is placed on the study of typical paragraph organization patterns and the ways pieces of information in them are related.

<Language Lab> (1 単位)

This course aims to improve the overall pronunciation of the students. Various activities are used including repetition, recording, and interaction.

英 語 綜 合 講 座 Ⅱ	12 単 位
	2 年
	前 期 ・ 後 期

<Oral Communication (a)/(b)> (1 単位 / 1 単位)

The goal of this class is to improve the students' speaking and listening abilities. A variety of aural materials are used. Students interact in conversations and give individual presentations.

<Media English (a)> (1 単位)

The goal of this class is to develop the students' ability to comprehend television news programs.

<Media English (b)> (1 単位)

The goal of this class is to develop the students' ability to read and understand English newspapers.

<Intensive Reading (a)/(b)> (1 単位 / 1 単位)

The goal of this course is to read short articles and discuss them. Emphasis is put on comprehension and advanced vocabulary development.

<Extensive Reading (a)/(b)> (1 単位 / 1 単位)

In this class the emphasis is on reading American short stories and analyzing them.

<Communicative Grammar (a)/(b)> (1 単位 / 1 単位)

This course is a thorough review of English grammar with an emphasis on the kind of grammar necessary for effective communication in English.

<Advanced Writing (a)/(b)> (1 単位 / 1 単位)

This course helps to develop the students' ability to write coherent essays in English.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-1)	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	2 単 位
		3 年
		前 期

First Step to Listening to Broadcast English

You are requested to listen habitually to broadcast English recorded from ABC, CBS, CNN, FEN and BBC, etc, in class and at home. Fundamentals about how to comprehend broadcast English will be introduced, such as the importance of background knowledge, finding key words or sentences to grasp the central ideas, the maximum use of "guessing work", development of vocabulary and the necessity of constant practice and so on. The characteristics in the styles of broadcast English, set phrases, useful expressions and other rules of broadcast English will also be explored.

試 験：Précis writing of related newspaper articles, oral report on the latest radio or TV news, dictation exercise during the class will be evaluated. An end-of-term dictation test will be given on the final day.

テキスト名：Handouts and cassette tapes.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-2)	まつ い けい こ 松 井 佳 子	2 単 位
		3 年
		前 期

Love and Loneliness in America

We will explore how Americans reach out from individualistic loneliness for others to love and how complicated—sometimes creative, sometimes destructive—love often becomes. We will read and discuss *American Short Stories of Lost Love*, *American Short Stories of Lost love II*, and *The Best Short Stories of New American Authors*. Students will learn how to interpret fiction in terms of character, plot, theme, tone, point of view, style, and cultural patterns. Comprehension of American English, especially contemporary usage, should improve. Students will be expected to present their ideas in class, both informally and formally, and to write exams.

試 験：The grade for the class will be based on participation and written exams.

テキスト名：①*American Short Stories of Lost Love* (英潮社)

②*American Short Stories of Lost Love [II]* (英潮社)

③*The Best Stories of New American Authors* (英潮社)

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-3)	たま き たか とし 玉 木 隆 敏	2 単 位
		3 年
		前 期

Speech Perception Skills

The primary objective of the course is to build up a foundation for improving skills in listening to natural English speech. Speech with many varieties of accents of English will be analysed, although it confines to those of standard English.

It is extremely essential that students taking this course have already acquired a good command of basic speech production skills.

テキスト名：Copies of materials will be provided in classes.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-4)	たなかまきこ 田中真紀子	2 単位
		3 年
		前 期

How languages are learned

The learning of a second language is a complex process involving an infinite number of factors. Learning a new language involves learning a new culture, a new way of thinking, feeling, and acting. Total commitment, total involvement, a total physical, intellectual, and emotional response is necessary to successfully send and receive messages in a second language. But how do people learn a second language? How does the learning take place? How can a person ensure success in language learning? What cognitive processes are utilized in second language learning? What kinds of strategies and styles does the learner use?

This course attempts to offer answers to these questions and help students learn more effectively by learning principles of language learning and teaching and by applying them to your own learning style.

Students are encouraged to actively participate in class discussion.

試験 : Evaluation will be based on:

1. Presentation 20%
2. Term paper 30%
3. Exams 50%

テキスト名 : *Principles of Language Learning and Teaching* Third Edition. H. Douglas Brown. Prentice Hall Regents, 1994.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-5)	かわしまこうへい 川島浩平	2 単位
		3 年
		前 期

The Family, Kinship, and Marriage in Contemporary America

One South Carolinian family murder (the Smith case) during late 1994, in which a mother mercilessly killed her two sons, seems to have raised a critical question none of us wishes to answer affirmatively : Are we facing the breakdown of the family? Too many controversies and conflicts over and within the family in contemporary America, however, suggest that the American family is indeed jeopardized today. This course examines why and how the American family has been trapped in such a situation. Although the focus is placed consistently on the American family, a comparison with the Japanese counterpart will be always encouraged because the Japanese have experienced similar tragedies, such as the Nomoto case, during the same period.

試験 : As course requirements, students need to make a 15-minute presentation during the last one-third period of the course, and to submit, at the end of the course, an essay (of a several-page length) based on the presentation.

テキスト名 : A booklet of assigned readings needs to be purchased at the printing office.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-6)	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	2 単位
		3 年
		前 期

The Story of English

This course deals with three main areas of the English language. The first part covers the structure of English : grammar, vocabulary, pronunciation, and spelling. The second part examines some uses of English. The third section looks at the history of English from the earliest period up to modern times. This part includes a consideration of the role of English around the world today and compares the two main varieties of English, British English and American English.

Evaluation will be based on weekly homework assignments, tests, and a report.

テキスト名 : David Crystal *The English Language* (Penguin, 1988).

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-7)	せき 関	や 屋	やすし 康	2 単 位
				3 年 期
				前 期

English in the Media

This course will give students an overview of the English found in the media: television, radio, newspapers, magazines, films, etc. The aim is to develop student's listening and reading comprehension, critical thinking skills and self-expression.

All of the listening selections are taken from authentic English language television and radio programs. These include news reports, documentaries, talk shows, interviews, commercials, game shows, and dramas.

The reading selections are from popular English newspapers and magazines. We will make a list of topics according to the interests of the students in the class. Students will read the articles at home, analyze them, and be prepared to express their opinions in class. They will also be required to write weekly reports of newspaper articles of their choice.

試 験 : The grade for the course will be determined based on the following three elements:

1. Class Participation : 20%
2. Media Journal : 30%
3. Midterm and Final Exams : 50%

テキスト名 : To be announced.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-8)	レ ジ ナ ル ド	カ ー ニ ー	REGINALD KEARNEY	2 単 位
				3 年 期
				前 期

Japanese Through American Eyes

This course will look at the historical views and attitudes of Americans regarding Japan and the Japanese. The focus will be on the periods before and after World War II. Attention will be given to the reasons for certain attitudes and how and to what degree attitudes changed during these periods. Particularly, attention will be devoted to the views and attitudes of people who are or were supposed to be knowledgeable about Japan.

試 験 : Course grade will be determined by written work or quizzes, midterm and final examinations.

テキスト名 : Sheila Johnson, *The Japanese Through American Eyes*

英語総合講座Ⅲ(Ⅲ-9)	ジェームス JAMES	ヴィンセント VINCENT	2 単 位
			3 年 期
			前 期

The American Frontier

Many historians hold that the American frontier, both in its reality and the myths it gave birth to, was crucial to the formation of attitudes that would govern the nation.

Through a series of lectures, readings, projects, and film, this course will take an in-depth look at the frontier: struggles between Native Americans and European settlers, between cattlemen and farmers, between Mormons and gentiles. We will also investigate the importance of the frontier in American historiography (the Turner thesis) and its various interpretations in contemporary American art.

試 験 : Class participation : 20%
Projects and presentations : 20%
Mid-term and final exams : 60%

テキスト名 : *The American West* (by J. & M. Tucker) Simon & Shuster

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-10)	くろ いわ ゆたか 黒 岩 裕	2 単 位
		3 年
		前 期

Reading and Discussion on Business

In this course, we will discuss selected English materials written on the topic of Japanese business and economy in order to see some of the distinctive features of the Japanese company. We will also try to have a better understanding of those who work for the Japanese company through analysis of accounts given by foreign observers. A moderate amount of reading and regular attendance will be required. Other course requirements include two examinations and a term paper in English.

テキスト名 : To be selected.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-11)	カレン シュライバー KAREN SHRIVER	2 単 位
		3 年
		前 期

19th Century Western Art

This course will use slides and English lectures to investigate European art from 1800 to 1900. This period includes such artists as Rodin, Monet and Van Gogh. The course will cover painting, sculpture and some architecture. Styles and materials used as well as the meanings behind famous art works will be discussed.

試験 : Grades for the course will be determined based on :

1. Mid-term test : 25%
2. Final test : 25%
3. Short term paper (in English) : 40%
4. Attendance and participation : 10%

テキスト名 : Writing about art (Photocopies)

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-12)	ドーン ミヤザキ DAWN MIYAZAKI	2 単 位
		3 年
		前 期

American Culture Depicted in The Movies

The purpose of this course is to make students aware of the cultural and geographical varieties in the United States. Religious, regional and cultural differences among Americans will be explored through the use of current movies. The students will be required to research topics which pertain to the movie and give oral presentations. They will also be required to do a research paper on a particular theme and describe how it relates to modern American life.

試験 : Grades will depend on :

- research paper 30%
- oral presentation which will include visuals 30%
- classroom participation plus journal entry 20%
- essays 20%

テキスト名 : *American Picture Show : A Cultural Reader* by Elizabeth A. Mejia, Maida Kennedy Xiao, Lucyna Pasternak (Published by Prentice Hall Regents).

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-13)	エドワード タルボット EDWARD TALBOT	2 単位
		3 年
		前 期

The Cultures of English

This course considers the treatment by different authors, (British, Irish and American) of the common themes of literature (family, childhood, love, nature, work, war) and relates their work to its cultural, social and political background. The course will use video and authentic recordings to stimulate discussion, as well as literary texts. Emphasis will be placed on reading literature for enjoyment.

試験 : Assessment will be by oral presentations, group projects and written assignments throughout the course.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-14)	おのの なお き 小野直樹	2 単位
		3 年
		前 期

Political Economy of Japan

This course examines various aspects which are essential to understand contemporary Japan's political economy. Discussion topics will include social, cultural and other aspects and one topic will be selected each week. Based on reading and other assignments, the participants are supposed to summarize the topic and to make group discussion and presentation each week.

- 試験 : 1. Attendance 10%
 2. Class Participation 20%
 3. Mini Tests 20%
 4. Presentations 20%
 5. Final Exam 30%

テキスト名 : To be announced.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-15)	よ だ いずみ 依田 泉	2 単位
		3 年
		前 期

Languages and Cultures

In this course, we consider the relationship between languages and cultures, by reading relevant materials and sharing opinions with one another in English. Topics include color and kinship terms, politeness, taboos, language and sex, language and mind, translation, loan words, linguistic relativity and universals, and others. The selection is made according to the interests of those in the class. Each session consists of a short lecture, a student's presentation and discussion. Reading is assigned weekly. Audio-visual materials may be included.

試験 : Evaluation is based on attendance, classroom participation, presentations, short essays, and term papers.

テキスト名 : No textbook. Copies of materials provided. Printing fee required.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-16)

WENDY WHITACRE

2 単 位
3 年 期

American Culture through Film

This course will explore aspects of American culture through recent American films. Students will develop skills of cross-cultural analysis. Themes will include American beliefs, values, customs, and gender roles. Evaluation will be based on class participation, written assignments, and group oral presentations.

- 試 験 : Class participation: 20%
 Written assignments: 40%
 Oral presentation: 40%

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-21)	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	2 単 位
		3 年 期
		後 期

2nd Step to Listening to Broadcast English

Week forms, assimilation, linking, ellipsis and other sound changes in broadcast English will be explored. Students will be encouraged to memorize some of the typical reduced forms and rapidly spoken sound clusters. Attention will be focused mainly on finding and learning a number of useful and practical strategies to overcome the difficulties in listening comprehension of broadcast English from all possible aspects.

試 験 : The grade will be determined by class participation, mini tests, presentation, precis writing, and the end-of-term exam.

テキスト名 : Handouts.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-22)	まつ い けい こ 松 井 佳 子	2 単 位
		3 年 期
		後 期

Growing up in America

We will explore alternative ways of growing up in America by reading and discussing short stories by Sherwood Anderson (1876-1941) and the autobiography of Sylvia Plath (1932-63). In Anderson's *Winesburg, Ohio* George Willard struggles against the despair of small town life as he matures out of adolescence. And in *The Bell Jar*, the confessional poet Sylvia Plath reveals her inner struggle of madness and creativity. We will discuss conflicts, exemplified in these books, between children and parents, young and old, male and female, and the creative individual and society. Students will be expected to present their ideas in class, both informally and formally, and to write two exams.

試 験 : Evaluation is based on class participation and written assignments.

テキスト名 : Sherwood Anderson, *Winesburg, Ohio* (Penguin)

Sylvia Plath, *The Bell Jar* (Bantam)

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-23)	は せ がわ のぶ こ 長谷川 信 子	2 単 位
		3 年 期
		後 期

Reading American Popular Stories

We will read one of Dean Koontz's "suspense-thriller" novels (about 500 pages) and several of Stephen King's short stories. Koontz and King are perhaps two of the most popular best seller novelists in the USA and their stories are often characterized by such colorful adjectives as 'spine-tingling', 'crackling with tension', 'spellbinding', 'mind boggling', etc. They may not meet the standard of 'authentic literature', whatever its definition may be, but they are simply fun to read (especially if you like suspense and mystery). They also let you see various aspects of the life, belief, culture, myth, value, etc. of the American middle class as well as subtle (but sometimes wry and wicked) human psychology.

試 験 : Evaluations will be based on class presentations (25%), participation in class discussion (25%), weekly vocabulary and T/F quizzes (25%), written assignments and reports (25%).

テキスト名 : To be selected. (Stories that have not yet been translated into Japanese will be selected.)

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-24)	たなかまきこ 田中真紀子	2 単位
		3 年
		後 期

Interpersonal Communication

Throughout this course, students will learn to think critically about what constitutes sound, ethical interpersonal communication and what skills and strategies are important for us to be interpersonally competent communicators. Students will be learning practical concepts and skills that will guide them in making good choices for communicating more effectively with intimates, close friends, family members, and professional colleagues. Additionally, we will explore implications of cultural differences and mass media for their impact on relationship in modern society. Students are encouraged to actively participate in class discussion.

試験 : Evaluation will be based on:

1. Presentation 20%
2. Term paper 30%
3. Exams 50%

テキスト名 : *Interpersonal Communication: competency through critical thinking*. John S. Caputo, Harry C. Hazel, and Colleen McMahon. Allyn and Bacon, 1994.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-25)	かわしまこうへい 川島浩平	2 単位
		3 年
		後 期

Struggling in an Apocalyptic Decade? : A Survey of American Religion

Several shocking incidents in the USA during the first half of the 1990s have suggested that something gravely wrong is going on in American religious communities. Examples, such as the Branch Davidians' suicidal entrenchment at Waco, and the repeated disclosure of Catholic priests' child abuses, manifestly point to the madness and corruption of religious authorities. One may suppose that these tragedies have turned many people away from religion. A recent statistics shows, however, that Americans of today are, with a strong quest for the sacred, more religious than the preceding generations. Taking these points into account, this course surveys the current situation of American religion. Both religious and nonreligious students are welcome to take this course.

試験 : As course requirements, students need to make a 15-minute presentation during the last one-third period of the course, and to submit, at the end of the course, an essay (of a several-page length) based on the presentation.

テキスト名 : A booklet of assigned readings needs to be purchased at the printing office.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-26)	ブルース ホートン BRUCE HORTON	2 単位
		3 年
		後 期

Research Tools and Academic Writing

This course will develop the student's abilities to perform academic and professional research and to present their findings in a research paper. We will focus on the research tools that are easily available in libraries like our university's, and we will go through the process of researching and writing in a controlled, step-by-step fashion. As part of the process, students will also learn to use a modern computer word processor. The final goal is a relatively short (8 page) properly-documented research paper.

テキスト名 : No required text.

(materials are provided.)

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-27)

いたばよしひさ
板場良久

2 単位
3 年
後 期

Speeches of the U.S. Presidents

This is a course in contemporary American public address. Speeches addressed to the general public of a given society not only carry key issues its members are concerned with but also mirror some of their beliefs, values, and attitudes, be they main-stream or marginal.

What we will ask initially is: What do speeches of the U.S. Presidents imply? In order to approach our question, we will, first, learn some basic perspectives for understanding the characteristics of public speeches. Second, we will examine the U.S. presidential rhetoric by both critically listening to and reading the speeches themselves. Finally, we will discuss and share our views and opinions.

Contents : Lectures, oral reports (group work), oral interpretation (individual), and class discussion.

- 試 験 : 1. Class participation: 20%
2. Oral presentaion: 20%
3. Mid-term paper: 20%
4. Term paper: 40%

テキスト名 : No textbook. Copies of materials will be handed out.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-28)

レジナルド カーニー
REGINALD KEARNEY

2 単位
3 年
後 期

Japanese Through American Eyes

This course will look at the historical views and attitudes of Americans regarding Japan and the Japanese. The focus will be on the periods before and after World War II. Attention will be given to the reasons for certain attitudes and how and to what degree attitudes changed during these periods. Particularly, attention will be devoted to the views and attitudes of people who are or were supposed to be knowledgeable about Japan.

- 試 験 : Course grade will be determined by written work or quizzes, midterm and final examinations.

テキスト名 : Sheila Johnson, *The Japanese Through American Eyes*

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-29)

ジェームス ヴィンセント
JAMES VINCENT

2 単位
3 年
後 期

The History and Art of Film

Cinema is the 20th Century's major new art form. We will examine technical aspects of filmmaking (mise-en-scène, montage, transitions, lighting) as major movements and schools in film history (the silent epic, expressionism, surrealism, film noir, neo-realism, etc.)

- 試 験 : The grade for the course will be determined based on the following three elements:
1. Class participation and discussions : 15%
 2. A written film review : 25%
 3. Mid-term and Final Exams : 60%

テキスト名 : Students to buy photocopied readings.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-30)	くろ いわ ゆたか 黒 岩 裕	2 単 位
		3 年
		後 期

Japan's Trade with the United States and Europe

In this course, we will focus on the issue of trade friction among the United States, Europe, and Japan. We will examine the arguments of these countries concerning trade frictions to see what should be done for a better trade relationship. A moderate amount of reading and regular attendance will be required. Other course requirements include two examinations and a term paper in English.

テキスト名: To be selected.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-31)	カレン シュライバー KAREN SHRIVER	2 単 位
		3 年
		後 期

20th Century Western Art

This course will cover 20th century European and American painting, sculpture and some architecture. The course will consist of slides with English lectures. Included in the lectures will be the methods, materials and meanings of the art works. Also included will be some of the history and thinking of Western society in the 20th century.

試験: Grades for the course will be determined based on:

1. Mid-term test: 25%
2. Final test: 25%
3. Short term paper (in English): 40%
4. Attendance and participation: 10%

テキスト名: *The Story of Modern Art*

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-32)	ドーン ミヤザキ DAWN MIYAZAKI	2 単 位
		3 年
		後 期

American Culture Depicted in Movies (2)

This course is a continuation of the themes discussed in the first semester. The second semester will broaden the students' awareness of American culture through the use of classics from the past such as *Grapes of Wrath*, *Mr. Deeds Goes to Town* and *Gentleman's Agreement*. Students will be expected to research topics and give oral presentations which relate to the movies plus write numerous essays.

試験: Grades will depend on:

- research paper 30%
- oral presentation which will include visuals 30%
- classroom participation plus journal entry 20%
- essays 20%

テキスト名: To be announced.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-33)	エドワード タルボット EDWARD TALBOT	2 単位
		3 年
		後 期

People and Places

This course is designed to familiarise students with different parts of Britain and with their historical and cultural backgrounds. In particular, it introduces students to a range of different accents from different regions of Britain. To do so, it uses video of real people talking about their lives, at home, at work and at play. Students will also have language practice designed to develop fluency and confidence.

試験：Assessment will be by assignments and tests throughout the course.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-34)	おのの なお き 小野直樹	2 単位
		3 年
		後 期

Japan and the World

Major issues in Japan's contemporary foreign relations are the focus of this course. The course will cover such issues as Japan's relationships with the United States, ASEAN and China, Japan's Official Development Assistance (ODA), Japan and the United Nations, and Japan in the World Economy. The participants are supposed to choose a topic of their interest. After their own research, the participants will make a presentation before finalizing their term paper.

- 試験：1. Attendance 10%
2. Class Participation 20%
3. Presentation 30%
4. Term Paper 40%

テキスト名：To be announced.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-35)	よだ いずみ 依田泉	2 単位
		3 年
		後 期

Languages, Ethnos and States

This course deals with various matters derived from the differences of languages, ethnos and states. Topics include the rise of writing and civilizations, ethnic conflicts and languages, multilingualism, dialects, language standardization, language education policies, and others. The selection is made according to the interests of those in the class. The participants are requested to read suggested materials, to take part in discussion and make a presentation at least once. Audio-visual materials may be included.

試験：Evaluation is based on attendance, classroom participation, presentations, short essays, and term papers.

テキスト名：No textbook. Copies of materials provided. Printing fee required.

英語総合講座Ⅲ(ⅢE-36)

WENDY WHITACRE

2 単位
3 年
後 期

Film Critique

In this course, students will analyze American films. Various techniques of film critique will be explored. The aim of this course is to develop students' analytical ability and critical thinking skills. Evaluation will be based on class participation, written assignments, and group presentations.

- 試 験 : Class participation: 20%
 Written assignments: 40%
 Oral presentation: 40%

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-1)	たまき たかとし 玉 木 隆 敏	2 単 位
		4 年
		前 期

Advanced Reading Skills

The chief aim of the course is to provide students of English with the reading techniques they need for comprehension of written English of all kinds. The course covers subjects such as how to read a text, guessing unknown words, understanding complicated sentences, extracting main ideas and perception of the effective use of English.

The course will be conducted both in English and in Japanese.

テキスト名：Swan, M. (1975). *Inside Meaning*. Cambridge University Press.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-2)	た なか まきこ 田 中 真紀子	2 単 位
		4 年
		前 期

Readings on Social Life in U.S.A.

This course will provide students with an opportunity to look at a wide variety of aspects of contemporary American life through reading a selected textbook, *America IN CLOSE-UP*. Topics to be dealt with include American beliefs and values; law, crime, and justice; regionalism vs. Americanization; the political system; education, and so on

Students are encouraged to actively participate in class discussion.

試 験：The grade for the course will be determined based on the following four elements：

1. Oral presentation 20%
2. Mid-term exam 30%
3. Final exam 30%
4. Term paper 20%

テキスト名：America IN CLOSE-UP by Eckhard Fiedler, Reimer Jansen, and Mil Norman-Risch, Longman (1990)

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-3)	かわ しま こう へい 川 島 浩 平	2 単 位
		4 年
		前 期

The Origin of Gender Identity

Are the differences between men and women innate qualities? Or are these differences shaped after birth by the power of environment? If so, how and when? These are the topics which many social and natural scientists, politically active feminists, and political and religious conservatives have long discussed—their views, on the other hand, have long disgusted one another. This course aims to introduce students to this ongoing controversy, examining several interesting theories and positions, including those of brain physiology, of evolutionary psychology, of evolutionary biology, and of feminism, on the generation of gender difference. This course encourages students to develop their own perspectives on the issue.

試 験：As course requirements, students need to make a 15-minute presentation during the last one-third period of the course, and to submit, at the end of the course, an essay (of a several-page length) based on the presentation.

テキスト名：A booklet of assigned readings needs to be purchased at the printing office.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-4)	わた なべ 渡 辺 あきら 明	2 単 位
		4 年
		前 期

First Language Acquisition

This course considers the ways children acquire their first language, something everyone of us has gone through. First language acquisition presents interesting questions concerning human nature in general and has been a central concern of generative grammar. Comparison with children's development in other cognitive domains will hopefully be included.

試 験 : Class presentations, participation, and written assignments.

テキスト名 : Necessary materials will be xeroxed.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-5)	いた ば よし ひさ 板 場 良 久	2 単 位
		4 年
		前 期

Ethical Issues in Mass Communication

Messages we receive through mass media are normally based on values and assumptions we often take for granted. Those values and assumptions may even appear "natural" unless we question them critically. In recent years, however, the field of mass communication in the United States has raised many questions concerning the ethicality of media behavior in various situations.

In this course we will discuss some of the debatable issues related to U.S. mass communication in terms of moral reasoning. First, we will learn several ways of looking at communication ethics. We will, then, analyze some actual media-related cases in which controversy has emerged. Finally, we will discuss our own opinions. At the end of the course, we are expected to become capable of engaging in mass communication more wisely.

Contents : Lectures, class discussion, value debates (group work), and oral reports.

- 試 験 : 1. Class participation: 20%
2. Oral presentation : 20%
3. Mid-term exam : 20%
4. Final exam : 40%

テキスト名 : To be selected.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-6)	くわ ばら かず き 桑 原 和 生	2 単 位
		4 年
		前 期

Topics in Language and the Study of Mind

The fundamental properties of human language is based on the principle entirely different from that of animal communication systems. Hence, a concern for language and an interest in its essential properties should be and should have been central to the human nature and human cognitive processes.

In this seminar, we will read various essays that deal with the classical problems of language and the human mind. The topics included are: What is the fundamental property of natural language? What contribution can the study of language make to understanding of human mental processes? Despite its complexities, why does natural language work so smoothly? What aspect of human mind does the study of language reveal?

試 験 : Grades will be based on the class participation, presentations and tests.

テキスト名 : To be announced.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-7)	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	2 単位
		4 年
		前期

World Englishes

The English language has spread throughout the world to become an international language. It is used in the core-countries, such as the United States, Great Britain, Canada, and Australia. It is also widely used as a second or official language in a number of countries which were formerly British or American colonies, such as Singapore, India, West Africa, and the Philippines. In these countries English is used for a variety of social purposes, including government business, education, and literature. Increasingly, individual standards of English are arising in each of these countries. In this course we will look at some of the linguistic features of these "new" Englishes, as well as the social contexts in which they are used.

試験：Evaluation will be based on attendance, homework on assigned readings, and one report.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-8)	たかすぎただあき 高杉忠明	2 単位
		4 年
		前期

Japan-US Relations and Japanese Contribution to International Society

The United States used to have tremendous military and economic power to maintain international order as "the World Policeman" during the Cold War period. However, US shows negative attitude toward intervening in regional conflicts due to its domestic economic impasse and the urgent task of rebuilding and revitalizing its society although the end of the Cold War has precipitated a series of uncontrollable conflicts all over the world. Instead, UN has come to have greater responsibility and role for the international peace and security. Japan is supposed to be a permanent member of the UN Security Council around 1997, being asked to make not only financial contribution to UN but also military contribution through having its Self-Defense Forces participate in UN peacekeeping. It is time for Japan to find its new way and role in the post Cold War era. This course will focus mainly on (1) how the Japan-US relations have been developed in last 50 years and (2) how Japan, as an economic power, has been and will be involved in international contribution (*kokusai kouken*). Students who take this course will pick up some topics related to the mentioned above and will be required to make presentation on them.

試験：The grade will be determined based on the following criteria:

- (1) Class participation and presentation (40%)
- (2) Final report (60%)

テキスト名：Instructor will distribute handouts.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-9)	レジナルド カーニー REGINALD KEARNEY	2 単位
		4 年
		前期

A History of African Americans

This course will focus on the role of black American in the history of the United States from the end of the Civil War until the Civil Rights of the 1960s.

試験：Course grade will be determined by written work or quizzes, midterm, and final examinations.

テキスト名：John Hope Franklin, *From Slavery to Freedom: A History of the Negro Americans*

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-10)	ジェームス ヴィンセント JAMES VINCENT	2 単位
		4 年
		前期

Culture Through Idioms

Language and culture are interdependent. One can partially analyze the way a society thinks by examining its language. This class will provide insights into American society by focusing on the idioms in spoken American English. Besides our textbook, we will also view some television situation comedies as a rich source of contemporary idioms.

試験：Class participation：20%

Mid-term and final exams：80%

テキスト名： *Idioms for Everyday Use* (M. Broukal) National Textbook Co.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-11)	イアン ハリソン IAN HARRISON	2 単位
		4 年
		前期

Learning English by learning how to teach English

This course aims firstly to improve students' language proficiency and secondly to provide them with the basic skills of teaching English as a Foreign Language through a study of theory and practice.

Specifically, students will:

- a) develop their reading, writing and oral skills;
- b) study and discuss different learning theories and the implications of these different theories for language teaching and learning;
- c) study and discuss different approaches to the teaching and learning of vocabulary, grammar, reading, writing, listening and speaking;
- d) carry out some practice peer teaching.

A series of photocopied readings will be provided but students will also be expected to follow up references and to examine a variety of teaching materials.

試験：Assessment will be on the basis of participation in class discussions, oral presentations, quizzes and written assignments.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-12)	カレン シュライバー KAREN SHRIVER	2 単位
		4 年
		前期

Renaissance Art and Culture

This course will be taught in English and will cover the history of Renaissance painting, sculpture and some architecture, as well as some of the political, religious and intellectual history of the times (1400 to 1650 A.D.). This is a period which is often seen as a great turning point in western history and is sometimes referred to as the beginning of Modern Europe. People living in this period who will be included in the course include: Michelangelo, Da Vinci, Luther, Durer, Galileo.

試験：Grades for the course will be determined based on:

1. Mid-term test: 25%
2. Final test: 25%
3. Short term paper (in English): 40%
4. Attendance and participation: 10%

テキスト名： *Writing About Art* (Photocopies).

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-13)	さか たい やす 代 阪 田 恭 代	2 単 位
		4 年
		前 期

U.S. Diplomatic Policy toward Asia

In this course, we will examine the historical and contemporary aspects of America's relationship with the Asian region, mainly China, Japan, Korea and Southeast Asia. There will be lectures and discussions on American diplomatic traditions toward Asia and its policy, with a focus on the post-World War II period.

Students will be required to read the materials related to the topic, participate in class, and write two papers (One mid-term, One final). Assignments are to be written in English. Details will be provided at the first meeting.

試 験 : Evaluation will be based mainly on the two papers.

テキスト名 : Text will be announced later.

Printing fees will be requested.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-14)	こ ばやし としお 小 林 登志生	2 単 位
		4 年
		前 期

Take a stand : Basic skills for oral discourse

This class aims at enhancing students' ability to think and discuss in English. The class will be decided into small groups, and students exercise basic skills in expressing themselves in English using a textbook, video and handout materials.

試 験 : The grade for the course will be determined with more emphasis placed upon active participation in and contribution to class activities than regular examinations.

テキスト名 : *Take a stand*.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-15)	すぎ やま はじめ 杉 山 肇	2 単 位
		4 年
		前 期

Development and Aid

The earthquake in Hanshin district suddenly arouses a sense of solidarity among us. Such a solidarity is needed for the poor in developing countries. Indeed, we live in a world with a huge gap between rich and poor people. Can we help each other become happy? Foreign aid is now an object of controversy over its validity. The class aims at finding out a different approach from a governmental one towards answering the needs of the poor, weak, and oppressed in the global civil society.

We'll use videos and films to stimulate discussion, as well as textbook. Students will be required to do necessary research on a topic for summary presentation, participate in group discussion. Evaluation will be based on attendance (10%), oral presentation (20%), class discussion (20%), and one report (50%).

テキスト名 : Tisch, S.J. and M.B. Wallace, *Dilemmas of Development Assistance: The What, Why, and Who of Foreign Aid*, (Boulder: Westview Press, 1994), 182p.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-16)	ウェンディ WENDY	ウィタカ WHITACRE	2 単 位
			4 年
			前 期

English through Drama

In this course, students will explore techniques of improvisation. The aim of this course is to develop fluency in English. Students will practice characterization, plot development and dramatic tension, as well as English pronunciation, intonation, and communicative skills. Evaluation will be based on class participation and group performances.

試 験 : Class participation: 50%
Group performance: 50%

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-21)	たまき たかとし 玉 木 隆 敏	2 単 位
		4 年
		後 期

Advanced Reading Skills

The chief aim of the course is to equip students of English with the reading techniques they need for comprehension of written English of all kinds. The course covers subjects such as how to read a text, guessing unknown words, understanding complicated sentences, extracting main ideas and perception of the effective use of English.

The course will be conducted both in English and in Japanese.

Those who passed in the Advanced-Reading-Skills course in the first semester are NOT allowed to take this course.

テキスト名 : To be selected.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-22)	た なか まきこ 田 中 真紀子	2 単 位
		4 年
		後 期

Contemporary Social Problems in U.S.A.

In this course, students will observe some typical social problems that affect people's lives in the U.S.A. Topics to be dealt with include sex-related social problems; alcohol and drug abuse; violence and crime; poverty; discrimination; and family disorganization. Students will study these social problems from a sociological point of view. Reading materials will be mostly from *Social Problems* (7th ed. by William Kornblum et al. Prentice Hall, 1992).

Students are encouraged to actively participate in class discussion.

試 験 : The grade for the course will be determined based on the following three elements:

1. Oral presentation 30%
2. Summary of presentation 20%
3. Final exam 50%

テキスト名 : Copies of books and articles will be provided throughout the course.

A printing fee will be requested.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-23)	かわ しま こう へい 川 島 浩 平	2 単 位
		4 年
		後 期

Poverty, Crime, and Gun Control in USA Today

The 1992 murder of a Japanese high school student in Baton Rouge, Louisiana, has reconfirmed our long-held beliefs that America is a dangerous place, and that the best way to make this nation a little safer for its people and foreigners must lie in establishing an effective measure to control gun ownership. A close examination will soon reveal, however, that reality is not that simple. This course examines the contemporary crisis of urban America in terms of poverty, crime, and gun ownership. Students are to learn how the American people have coped with the dangerous and deteriorating conditions of urban environment, and why, despite reformers' and civic and political leaders' serious concerns, so many attempts to fight against poverty, violent crime, and gun ownership have been defeated by the opposing forces.

試 験 : As course requirements, students need to make a 15-minute presentation during the last one-third period of the course, and to submit, at the end of the course, an essay (of a several-page length) based on the presentation.

テキスト名 : A booklet of assigned readings needs to be purchased at the printing office.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-24)	わた	なべ	あきら	2 単位
	渡	辺	明	4 年
				後 期

Study of Language

This course deals with various aspects of human language in a nontechnical way. Topics covered will be broad, including language acquisition, brain science, evolution, and the Sapir-Whorf hypothesis. Choice of some of the topics is up to the registered students.

A lot of reading is required as preparation for this course.

試 験 : Class presentations, participation, and written assignments.

テキスト名 : S. Pinker *The Language Instinct*, William Morrow & Company, Inc. 1994.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-25)	いた	ば	よし	ひさ	2 単位
	板	場	良	久	4 年
					後 期

Why Did Perry Come to Japan?

We have been told that our relations with the United States began in 1853-54 when U.S. Commodore Perry arrived in Japan and negotiated a treaty of peace and amity. But we seldom ask why Perry came to our country at all or, more generally, why the United States wanted to open Japan's ports.

Two key questions will be discussed in this course: (1) What issues were discussed in the United States during the period leading to Perry's expedition? (2) How were the arguments developed and communicated? These questions are important in understanding more fully the history of "our" relations with Americans from "their" point of view.

Contents : Lectures, oral interpretation of some proposals to Congress and other testimonies, and oral reports.

試 験 : Elements for grading :

1. Class participation : 20%
2. Oral presentation : 20%
3. Mid-term exam : 20%
4. Final exam : 40%

テキスト名 : No textbook. Copies of materials will be handed out.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-26)	くわ	ばら	かず	き	2 単位
	菜	原	和	生	4 年
					後 期

Topics in Description of English and Japanese

Some English sentence patterns are extremely difficult even for university students either because their counterparts are entirely missing in Japanese or they are correlated with complex discourse functions. Our objective is to study the syntactic, semantic and pragmatic aspects of various sentence patterns in English and Japanese that have resisted convincing descriptions up to now. The topics included are : the choice of VP anaphora, the use of phonetically empty elements, Raising to Object constructions, the discourse functions of inverted sentences, etc..

試 験 : Grades will be based on class participation, presentation and tests.

テキスト名 : Copies of written materials provided. Printing fee required.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-27)	ソニア イーグル SONIA EAGLE	2 単位
		4 年
		後 期

Readings and Film on Ethnography

This course will include lectures and student presentations on cultures around the world. A neo-evolutionary approach will be used to study hunting and gathering bands, horticultural and pastoral tribal societies, early Kingdomstates and peasant societies. Emphasis will be placed on the environment, level of technology, social organization, ideology and culture change. Ethnographic field methods and descriptions will be used to understand different people and cultures. Films will be incorporated into the course on people from various socio-economic levels.

試験：The grade will be based on student written and administered quizzes, on student presentations and outlines and on a final book report.

テキスト名：Elman Profiles in Ethnology. Harper & Row.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-28)	レジナルド カーニー REGINALD KEARNEY	2 単位
		4 年
		後 期

A History of African Americans

This course will focus on the role of black American in the history of the United States from the end of the Civil War until the Civil Rights of the 1960s.

試験：Course grade will be determined by written work or quizzes, midterm and final examinations.

テキスト名：John Hope Franklin, *From Slavery to Freedom: A History of the Negro Americans*.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-29)	ジェームス ヴィンセント JAMES VINCENT	2 単位
		4 年
		後 期

Peoples and Languages of Europe

The European continent presents an amazingly complex pattern of ethnic groups, languages, and cultures, many of which are relatively unknown in Japan. This course will provide a comprehensive survey of the peoples of Europe from the Atlantic to the Urals, from the Arctic Ocean to the Mediterranean. Students will become acquainted with the language families, historical migrations, and cultural patterns of this important continent.

試験：Grading: Class participation and projects 30%
Final and mid-term exams 70%

テキスト名：Students to buy photocopied readings.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-30)	イアン ハリソン IAN HARRISON	2 単位
		4 年
		後 期

Learning English by learning how to teach English

This course aims firstly to improve students' language proficiency and secondly to provide them with the basic skills of teaching English as a Foreign Language through a study of theory and practice.

Specifically, students will:

- a) develop their reading, writing and oral skills;
- b) study and discuss different learning theories and the implications of these different theories for language teaching and learning;
- c) study and discuss different approaches to the teaching and learning of vocabulary, grammar, reading, writing, listening and speaking;
- d) carry out some practice peer teaching.

A series of photocopied readings will be provided but students will also be expected to follow up references and to examine a variety of teaching materials.

試験: Assessment will be on the basis of participation in class discussions, oral presentations, quizzes and written assignments.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-31)	カレン シュライバー KAREN SHRIVER	2 単位
		4 年
		後 期

American Art and Culture

This course will include the history of United States painting, sculpture and architecture from the Colonial period to the present. Covered in the English lectures will be works from the American Revolution, the Old West and works by such modern artists as Andy Warhol and Roy Lichtenstein. Also discussed will be the development of the modern skyscraper. The course will look at the history of American society through its art.

試験: Grades for the course will be determined based on:

1. Mid-term test: 25%
2. Final test: 25%
3. Short term paper (in English): 40%
4. Attendance and participation: 10%

テキスト名: *A Concise History of American Painting and Sculpture.* by Matthew Baigell

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-32)	さか た やす よ 阪 田 恭 代	2 単位
		4 年
		後 期

East Asian International Relations

In this course we will study the historical evolution of international relations in the East Asia-Pacific region, with a focus on the post-World War II period. We will also examine the traditional as well as new issues arising from the end of the Cold War.

Students will be required to read the materials related to the topic, participate in class, make one oral presentation and one final paper. Assignments are to be written in English. Details will be provided at the first meeting.

試験: Evaluation will be based mainly on the presentation and paper.

テキスト名: Textbook will be announced later.

Printing fees will be requested.

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-33)	ウェンディ WENDY	ワイタカ WHITACRE	2 単位
			4 年
			後 期

Theatrical Performance

In this course, students will write and perform an original production in English. The aim of this course is to develop dramatic writing and performance skills, such as characterization, plot development, pronunciation, intonation and gesture. Evaluation will be based on class participation and final performance.

試験 : Class participation: 50%
Group performance: 50%

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-34)	こばやし 小林	としお 登志生	2 単位
			4 年
			後 期

Discussion on Intercultural Communication Topics

In this course students are required to actively participate in discussions on selected topics on intercultural communication to further enhance the oral skills acquired during the first semester using a textbook, video and handout materials.

試験 : The grade for the course will be determined with more emphasis placed upon active participation in and contribution to class activities than regular examinations.

テキスト名 : *Polite Fiction*

英語総合講座Ⅳ(ⅣE-35)	すぎやま 杉山	はじめ 肇	2 単位
			4 年
			後 期

Peace and Development

In this course, we will have a panoramic view of the today's efforts of the United Nations system. Then we'll deepen the understanding of interlinked relationship between peace, development, environment, society, and democracy. The purpose of the course is to realize a recent UN approach to solve conflicts and poverty in international community.

We'll use videos and films to stimulate discussion, as well as textbook. Students will be required to do research on a topic for oral presentation, participate in class discussion. Evaluation will be based on attendance (10%), oral presentation (20%), class discussion (20%), and one report (50%).

テキスト名 : To be selected.

英 語 学 概 論 A	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

英語を世界の言語の中の一言語としてその位置づけを考え、発音、文字、語彙、文法の点からその特徴を解説する。続いて構造的見地から、それらの特徴を分析する。さらに意味に関する諸問題、英語の地域的・社会的変動、史的变化について述べる。

試 験：5月末に中間試験、授業最終日に期末試験を行う。授業をさぼると答えられないような出題をする。

テキスト名：George Yule. *The Study of Language*. Cambridge University Press

英 語 学 概 論 B	ブルース ホートン BRUCE HORTON	4 単 位
		1 ~ 4 年
		後 期

This course is an introduction to the study of language, especially of English. We look at language as a type of communication system and investigate how a language like English is organized.

We see how speech sounds are made, how these sentences are interpreted. The main topics we will cover are (1) human & animal communication, (2) phonetics, (3) phonology, (4) morphology, (5) syntax, (6) semantics & pragmatics. By the end of the term, students will have developed the foundations for a scientific understanding of language. This course is conducted in English.

試 験：The final grade is primarily based on the scores on unit tests and on the final examination; attendance is also graded.

テキスト名：The Study of Language Rule

英 語 学 概 論 C	くわ ばら かず き 桑 原 和 生	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

英語の言語構造に関わる中心的な研究課題を概説する。特に、英語学と密接な関係にある音声学、音韻論、統語論の基礎を学ぶ。言語資料には、主として英語を用いるが、必要に応じて日本語やその他の言語と英語を比較し、英語の諸特徴を把握するとともに、言語の本質に対する認識を深めることにつとめる。

試 験：定期試験と練習問題。

テキスト名：Fromkin, Victoria and Robert, Rodman. 1993. *An Introduction to Language*. Harcourt Brace College Publishers.

英 語 学 概 論 D ・ F	はやし 林	ゆたか 裕	4 単 位
			1～4年
			前 期 ・ 後 期

英語を世界の中の一言語としてその位置づけを考え、音声、音韻、語形成、文法の点からその特徴を解説する。さらに意味と文脈にかかわる諸問題について述べ、余裕があれば英語の地域的、社会的変動を扱う。

試 験：中間・期末の二回の試験と出席・授業参加を勘案して評価する。

テキスト名：George Yule. *The Study of Language*. Cambridge Univ. Press.

英 語 学 概 論 E	わた 渡	なべ 辺	あきら 明	4 単 位
				1～4年
				後 期

一般言語学の観点から、英語の音声、文構造、意味について解説する。特に、その生物学的側面に重点が置かれる。

試 験：テストを2回行う。

テキスト名：A.Akmajian, R.A.Demers, A.K.Farmer, & R.M.Harnish *Linguistics: An Introduction to Language & Communication*. 3rd edition. MIT Press, 1990.

英 語 音 声 学 A ・ B	はら 原	おか 岡	しょう 笙	こ 子	4 単 位
					1～4年
					前 期

音声学の理論の一通りを学ぶ。まず、The production of speech soundsで発声の仕組みから入り、Long and short vowelsの母音の体系を発音訓練をしながら習得する。voicing and consonantsでは子音をInternational Phonetic Alphabetに基づいて実際に発音練習をしながら体系的に習得する。次に、英語の特徴であるstrong and weak formsやsound changeの現象を理解し、英語らしいリズムとイントネーションを身につける基礎を作る。以上の理論を体系的に導入しながらも、出来る限り発音訓練を伴う授業にした。

試 験：定期試験、小テスト、レポートで評価する。

英 語 音 声 学 C	ブルース ホートン BRUCE HORTON	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

This course provides students with an understanding of English phonetics. The primary focus of the course is on the speech mechanisms used to produce English vowels, consonants, consonant clusters, and extended stretches of connected speech. As much as possible, the course will have a practical orientation. We will compare and contrast the English and Japanese sound systems. Students will be trained to transcribe speech in the International Phonetic Alphabet. The course will be conducted in English.

試 験 : Evaluation is based on class attendance and participation and on the results of the final examinations.

テキスト名 : *Exercises in American English Pronunciation*, Japanese ed. By Michael Sudlow.

英 語 音 声 学 D ・ F	たま き たか とし 玉 木 隆 敏	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前期・後期

The main objects of how English Phonetics is taught are to give a good basic factual knowledge of the pronunciation of English in terms of phonetics and phonology, and to teach the very elements of general phonetics, phonology and instrumental phonetics. The description of English pronunciation is based on the accent of British English called *Received Pronunciation* (RP for short). The accent of American English known as General American is also described as another basic model.

The teaching is done in the form of lectures, and phonetics practicals will NOT be conducted during the course.

All students taking the course are expected to have read *Nihongo* [Kindaichi (Iwanami Shoten), 1988], 'Hatsun kara mita Nihongo' in particular, before the first meeting.

試 験 : The course is examined by written paper.

テキスト名 : Ladefoged, P. (1993). *A Course in Phonetics*. 3rd ed. Harcourt Brace Jovanovich.

英 語 音 声 学 E	はまき や やすし 関 屋 康	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

英語音声学の基礎知識を習得する事を目的とする。まず、調音音声学の観点から、英語の子音、母音を扱い、次に文強勢、リズム、イントネーション、発話における音変化を扱う。特に日本語の音声との違いに注意を払う。また、講義と併せて、実際の発音練習も行う。

試 験 : 中間、期末の2つの試験の成績に基づいて行う。

テキスト名 : (1) 竹林滋他『初級英語音声学』大修館
(2) Prator & Robinette, *Manual of American English Pronunciation*.
Harcourt Brace Javanorich.

英 語 音 韻 論	せき 関 屋 やすし 康	4 単 位
		1 ~ 4 年
		後 期

本講座は英語の音韻構造の基礎知識を身につけることを目的とする。子音、母音、音節構造、音素配列、語強勢、文強勢、イントネーション、歴史的音韻変化、綴り字と発音の関係などを取り上げる。授業では講義だけでなく、与えられた英語のデータをもとに、一般化の規則を発見させるような練習問題を数多く行うので、受講者の積極的な参加が望まれる。尚、音声学の基礎知識を前提として講義を行うので、「英語音声学」を履修していることが望ましい。

評 価：中間、期末の2つの試験の成績に基づいて行う。

テキスト名：C. Kreidler. *The Pronunciation of English: A Course Book in Phonology.*
Blackwell, 1989.

英 文 法 論 A	くわ 柴 ばら 原 かず 和 き 生	4 単 位
		1 ~ 4 年
		後 期

生成文法理論の基礎を身につける。データに基づき、仮説を立てそれを検証し統語構造を設定する方法、統語分析を学ぶ。英語の具体的な構文分析を通して、英語の統語構造を把握するとともに、これまでの言語研究の中で、理論面、実証面で大きな役割を果し、多くの重要な言語事実の発見を促してきた生成文法理論の思考法を理解することにつとめる。

試 験：学期末試験、練習問題。

テキスト名：未定

英 文 法 論 B	は せがわ のぶ こ 長谷川 信 子	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

英語の統語構造の分析を通して、生成文法の概念とその理論構築に関わる argumentation (論証法) を学ぶ。データの一般化、それに基づく仮説の設定、その仮説の理論的・実証的検証を種々の練習問題を通して考察する。授業への積極的参加もさることながら、テキストを詳細に読み込み理解することが重要であり、学生には、予・復習・課題の検討を期待する。ちなみに、生成文法の argumentation は、討論・討議に不可欠な論理的思考法の格好な訓練となるであろう。

試 験：練習問題・発表・定期試験 (2回)

テキスト名：Donna Jo Napoli (1993) *Syntax: Theory and Problems*, Oxford University Press.

現 代 英 文 法 A	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	4 単 位
		1 ~ 4 年
		後 期

この科目は我が国における中学・高校の学校文法を精密化し、現代の英語の文法と語法を正しく把握することを目的とする。そのために今までの知識や思い込みとのズレを重視し、英文の理解が深まり、適確な英語表現ができるように、役に立つ英文法の勉強をする。なお、この科目で扱う文法事項は、大学院の授業科目、「英語学研究Ⅳ」（現代英語語法）で更に詳細に検討される。

試 験：授業最終日に期末試験を行う。

テキスト名：Sidney Greenbaum/Sir Randolph Quick, *A Student's Grammar of the English Language*. Longman

現 代 英 文 法 B	フランシス ジョンソン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		1 ~ 4 年
		後 期

This course examines the grammatical structure of English sentence and discourse units. It is of particular value to students interested in language teaching and to those interested in learning how to edit their written work to improve their expression of English. Those students who plan to take Applied Linguistics are advised to take this course either at the same time or before they take Applied Linguistics.

The course begins with a study of the main sectors of the English sentence. It continues with an examination of the units which occur in those sectors and which give English its characteristic structure. How sentences are linked to form sequences of sentences is also studied.

The course concludes with some applications of the knowledge acquired. Students will learn how teachers of English can apply their knowledge of the structure of English in language teaching. They will also learn how to edit their own written work using their knowledge of grammatical structure.

試 験：The grade for the course will be based on student performance in the following:

Mid-term Examination—40%

Final Examination—60%

テキスト名：None.

現 代 英 文 法 C	ブルース ホートン BRUCE HORTON	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

This course is a survey of the grammar of present day English with an emphasis on acquiring an overall knowledge of English and skills in the use of English grammar. The course reviews a wide range of grammar patterns, especially those that cause trouble to non-native students. Much effort is spent on helping students utilize advanced grammatical skills in their own writing.

試 験：The usual breakdown of the final grade is: unit tests (25%), essays (35%), and final exam (25%), with the remainder of the grade from quizzes and attendance.

テキスト名：*Understanding & Using Grammar*, 2nd ed. Azar

現 代 英 文 法 D	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		1～4年
		後 期

英語の実際の姿をできるだけ体系的に捕えていく。その上で個々の単語（動詞等）がどのように使われているのかを学び、正確な文法知識を身につけていく。

試 験：2回又は3回行なう。体系的な捕え方ができているかどうか、及び個々の単語のふるまいが正確に理解できているかどうかを問う。

テキスト名：未定

日 英 語 対 照 研 究	い わ も と え の く 岩 本 遠 億	4 単 位
		2～4年
		後 期

日本語と英語の対応表現（“himself” “he”、「自分」「彼」など）を比較対照する。以前から知られている両言語の共通点と相違点をおさえながら、これらを普遍文法の観点からどのように捉え理解していくべきかということについて、主要な文献を読むことを通して勉強してもらう。

試 験：発表とレポート（小論文）

テキスト名：追って指定する。

英 文 法 論 研 究	む ら き ま さ た け 村 木 正 武	4 単 位
		2～4年
		前 期

（「英文法論」を履修済みの人を対象とする。）

英語の中から、特定の語句、構文を取り上げ、その統語構造、意味構造についての従来の分析を確認し、反例の有無、説明的妥当性を検討する。必要に応じて、これに関連する英語の新しい資料を収集して、これを整理、分析し、できる限り一般的な規則、制約などの形でまとめる。関連する、英語の他の語句、構文の分析と比較検討し、また、対応する日本語の語句構文があれば、それと比較対照する。

試 験：レポート、クラスでの活動。

テキスト名：プリント、その他随時指定。

英 語 史	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		2 ~ 4 年
		前 期

英語という言葉が統語的、音韻的にどのような変化をたどってきたのかを概説する。古期英語の文法は現代英語に比べかなり複雑であり、名詞・形容詞の屈折変化等、暗記事項も多く、こつこつと勉強することが必要とされる。「英語音声学」、「英語学概論」を履修していることを前提として授業を進める。

試 験：前期中に三回行なう予定。レポートは一回。

テキスト名：未定

社 会 言 語 学 A	くまもりだに てつ お 夫 熊取谷 哲 夫	4 単 位
		2 ~ 4 年
		後 期

社会言語学は、社会・文化的コンテクストから言語を見る言語学の領域であるが、本コースでは、(1)社会言語学とはどのような学問か、(2)どのような言語現象を扱おうとするのかを主としてテキストの講読を通して学んでいく。また、社会言語学の方法論を体験するために、データの収集および分析を試みる。

試 験：評価の方法については、受講者と相談の上第1回目の授業で決定する。

テキスト名：Wardhaugh, Ronald. 1992. *An Introduction To Sociolinguistics*. Oxford: Blackwell.

社 会 言 語 学 B	ソニア イーグル SONIA EAGLE	4 単 位
		2 ~ 4 年
		後 期

In this course stress is placed on discovering and understanding the social or cultural component of language and language learning and the rule governed nature of language behavior. The course presents an overview of the field of sociolinguistics including language evolution, children's language, the Sapir-Whorf hypothesis, speech acts, pragmatics, phatic communication, Kenesics, pidgins, creoles and lingua franca. Dialect studies including those related to social class, gender, age and region are reviewed. Also considered are discourse rules, written and spoken, as well as intercultural variations. Field methods and field studies in sociolinguistics are examined. A consideration of bilingualism, multilingualism and national language planning is included.

試 験：1. Short papers: 20%
2. Final book/Article report: 40%
3. Final essay exam: 40%

テキスト名：Chaika, Elaine, *Language: The Social Mirror*. Newbury House, 1989.

心 理 言 語 学 A	フランシス ジョーンソン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		2～4年
		後 期

Psycholinguistics begins with a survey of different relationships between language and the mental processes. It then proceeds to examine in detail one of these relationships—second or foreign language acquisition. The detailed study of how people acquire (learn) a second or foreign language begins with an examination of the important issues of second language acquisition, and continues with a study of factors which influence the process. The course concludes with an examination of some theories of second language acquisition.

The course is conducted in English. Only those students with a good command of English should consider enrolling.

試 験：Two multiple-choice tests

テキスト名：Danny D.Steinberg: *An Introduction to Psycholinguistics* Longman. 1993.

心 理 言 語 学 B	はぎ わら ひろ こ 萩 原 裕 子	4 単 位
		2～4年
		集中講義

この講義では、ことばの心理・生物学的な側面に焦点を当てる。まず、ことばを媒介にして人間の心のメカニズムを捉えようとする生成理論の基本的な目標、課題などについて復習する。次に普遍文法（UG）理論に基づいた言語獲得の過程を概観する。後半では、UGの生物学的基盤について考察する。失語症、障害症などの言語障害からの資料、さらには神経生理学的資料をもとに、何がどこまで解明されているのかをみる。ことばと脳に関する最新情報を豊富な具体例をあげながら分かりやすく解説する。学生は「英語学概論」を受講済みのことが望ましい。

試 験：年2回のレポート

応 用 言 語 学 A	フランシス ジョーンソン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		2～4年
		前 期

This course is for students interested in English language learning and teaching. The course begins with an examination of some of the principles of language, learning & teaching and language learning and teaching. However the bulk of the course is devoted to practical matters of what to teach (the content of courses) are how to teach (methods of teaching). The most recent developments in content and methodology will be discussed. Textbooks will be examined and lesson plans developed are practised. Each student will observe some lessons taught in the First Year English Proficiency Courses.

試 験：The grade for the course will be determined on the basis of performance in the following :

- a) Mid-term examination—40%
- b) Final examination—40%
- c) Classroom Observation Report—20%

テキスト名：Jenemy Harmer. *The Practice of English Language Teaching*. Longman. 1991.

応 用 言 語 学 B	せき 関	や 屋	やすし 康	4 単 位
				2～4年
				後 期

本講座では応用言語学の重要な分野である第二言語習得研究に焦点をあてて授業を行う。テキストを基にこれまでの研究成果を理解し、問題点、今後の課題を考えていく。トピックとしては、形態素の習得、音韻の習得、語彙の習得、統語の習得、対照分析、誤りの分析、学習者要因、年齢と第二言語習得の関係などを取り上げる。

なお、講義は英語と日本語の両方で行う。

試 験：中間、期末の2つの試験の成績とレポートによる。

テキスト名：(1) Lightbown & Spada. *How Language are Learned*. Oxford Univ. Press, 1993.
(2) プリント

応 用 言 語 学 C	こ 小	いけ 池	い 生	お 夫	4 単 位
					2～4年
					後 期

言語と社会、心理、二言語使用。第2言語の習得、外国語教育、コンピュータ言語、国際語としての英語、辞書学、翻訳と通訳など、言語と関わりのあるさまざまな現象が私たちのまわりにあります。このような事実を、言語学の基礎である音韻、語彙、シンタクス、意味などと結びつけながら、広く概観してみたいと思っております。

テキストはコピーを用います。詳細は学期の最初の授業で説明をします。

試 験：授業中に行った内容を、一通りおぼえてきて書いてもらいます。学期の最後の授業で行います。

テキスト名：プリント

意 味 論	とく 徳	なが 永	み 美	さと 暁	4 単 位
					2～4年
					前 期

言語の「意味」とは何か。人間は言語を通して何を表現しようとしているのか。日本語はどんな言語なのか、などの究極の問いについて考えながら、本コースでは、日本語の意味分析について学ぶ。クラスでは言語分析するための知識、文献の読み方、ミニ分析の問題解きなどを通して、言語の構造、意味、語用規則について考える。

試 験：宿題、発表、レポートの総合点。

テキスト名：Dillon, George (1977). *Introduction to Contemporary Linguistics Semantics*.

談 話 分 析	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	4 単 位
		2～4年
		前 期

Discourse is concerned with the study of the relationship between language and the contexts in which it is used. It describes and analyzes spoken language, such as conversations, classroom interaction, and formal speeches. In addition, it studies the way written interaction (newspaper articles, letters, instructions, stories, etc.) is organized. The aim of this course is to come to a better understanding of how natural spoken and written English discourse looks and sounds. (This course will be conducted entirely in English.)

パブリック・スピーキングA	まつもと しげる 松 本 茂	4 単 位
		1～4年
		前 期

大学教育におけるプレゼンテーション（口頭発表）に焦点をあて、情報の提示、グラフや図表の説明、定義の説明、ブックレポート、質問や議論などを英語で行うための基礎的能力を養成する。ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、ディベートなどの要素も取り入れた授業を展開する。なお授業は主に英語で行う。

評 価：The grade will be based on (1) oral presentations, (2) class participation, and (3) group projects.

テキスト名：Patricia A. Porter, *Communicating Effectively in English: Oral Communication for Non-Native Speakers*, MA: Heinle Publishers, 1992.

パブリック・スピーキングB	いたばやし ひさ 板 場 良 久	4 単 位
		1～4年
		前 期

英語パブリックスピーキングの実践を通して、自分の考えを深めつつ論理的にまとめ、さらにそれを聴き手に説得的、効果的に伝達する能力を養成する。授業以外でのリサーチや練習時間が必要となる。授業自体は平易な英語で行う。

試 験：スピーチプレゼンテーション、レポート等。

テキスト名：なし。必要に応じて資料（プリント）を配付する。

パブリック・スピーキングC・D	すぎもと 杉本 なおみ	4 単位
		1～4年
		前期

This course is designed to enhance skills in constructing and presenting effective messages. The topics covered in the course include: basic structure of speech, communication apprehension, visual aids and delivery, language use for effective presentation, and audience analysis and adaptation.

Students in this course will give six speeches: (1) introducing a classmate (ungraded); (2) impromptu speech (ungraded); (3) presenting an article; (4) explaining and demonstrating a process; (5) introducing a controversy; and (6) defending a policy. For each of the graded speeches, students are required to submit one preliminary and one final outline.

The course workload is heavy. At least one assignment is due in each class. The course also requires some library research outside of class. Thus, the course is not recommended for students with other major personal or academic commitments. No late work is accepted in this course.

試験：Grades for this course will be based on: speeches, outlines, self-critique paper, and mid-term and final exams.

テキスト名：Public Speaking by Michael Osborn and Suzanne Osborn 1994 Houghton Mifflin

討 論 法 I A	まつもと 松本 茂	4 単位
		1～2年
		前期

教育訓練ディベートの入門コース。日本語によるディベートの実践を通して健全なるcritical thinking (批評的思考) 能力と論理的に討論するための基礎的な能力を養成する。学内のディベート大会への出場または見学など、学外での学習も行う。授業時間以外にも図書館でのリサーチやグループワークなどに多くの時間を割く必要がある。

評価：ディベート、クラスでの発言、レポートなどを総合的に評価する。

テキスト名：松本 茂『英語ディベート実践マニュアル』（バベル・プレス）

討 論 法 I B	いたばやし 板場 良久	4 単位
		1～2年
		前期

教育訓練を目的としたディベートの形式と、討論の展開の仕方を学ぶ。授業では討論のセオリー習得のための講義と討論の実践とを交互に行う。また学外のディベート大会に参加（出場または見学）することで、より一層ディベートに関する知識と経験を深める。授業外での準備等に時間が取られることは言うまでもない。ディベートは全て日本語で行う。

試験：ディベートのデモンストレーション、レポート。

テキスト名：松本 茂『英語ディベート実践マニュアル』（バベル・プレス）

討 論 法 II	まつ 松	もと 本	しげる 茂	4 単 位
				1～4年
				後 期

教育訓練ディベートの初級コース。英語によるディベートの実践を通して論理的に議論を展開する手法を身につける。学外のディベート大会への出場または見学など、学外での学習も行う。授業時間以外にも図書館でのリサーチやグループワークなどに多くの時間を割く必要がある。授業は主に英語で行う。

評 価：ディベート、クラスでの発言、レポートなどを総合的に評価する。

テキスト名：Lynn Goodnight, *Getting Started in Debate* 2nd ed., IL: National Textbook Company.

英 語 デ ィ ベ ー ト II	まつ 松	もと 本	しげる 茂	4 単 位
				2～4年
				後 期

教育訓練ディベートの中級コース。英語ディベートの最新理論を学習し、英語ディベートを数多くこなし、学外のディベート大会への出場を目指す。授業時間以外にも図書館でのリサーチやグループワークなどに多くの時間を割く必要がある。授業は主に英語で行う。

評 価：ディベート、クラスでの発言、レポートなどを総合的に評価する。

テキスト名：未定

スモールグループ・コミュニケーションA	いた 板	ば 場	よし 良	ひさ 久	4 単 位
					1～4年
					後 期

グループワークが要求される状況での英語運用能力を養成する。ディスカッションの基本的な進め方、グループとしての意志決定や問題解決方法、またリーダーシップの取り方等を、スモールグループ・コミュニケーションの理論と実践を通して学習する。授業時間以外のグループミーティングに時間を割くことが必要となる。授業は主に平易な英語で行う。

試 験：考察レポート、グループプレゼンテーション。

テキスト名：To be selected.

スモールグループ・コミュニケーションB・C	すぎもと 杉本 なおみ	4 単位
		1～4年
		後 期

This course is designed to enhance both leadership and participant skills in small group communication. The course will cover processes of: collective reasoning, decision-making, problem-solving, consensus-building, and conflict resolution in various small group contexts.

A primary objective of the course is to expose students to existing theories and applications of small group communication. By the end of the course, students should be able to effectively lead and participate in small group discussions with other English-speakers. A concomitant objective of the course is, however, to encourage students to critically examine Euro-American biases in these theories and to propose effective leadership and participant styles in small group communication in Japanese contexts.

試 験 : Grades for this course will be based on: Class participation, case studies, hourly and final exams, and oral presentations.

テキスト名 : *Effective Group Discussion* (8th Edition) by John Brillhart and Gloria Galanes 1995 WCB Brown and Benchmark Publishers.

英語コミュニケーション法A・B	はらおかしょうこ 原岡 笙子	4 単位
		2～4年
		後 期

スピーチコミュニケーションに必要な要素は何であるか、英語の言語/非言語表現は日本語のそれとどう違うのかを比較しながら観察する。Listening comprehensionの力をつけると共に、Speakingは英語らしいリズムとイントネーション習得の練習に向ける。毎回テレビドラマを用いて、日英の表現を比較し異文化コミュニケーションの摩擦がどこで生じるかをみるが、natural speedの教材を使うための聞き取りのレベルは高い。音声面への挑戦のつもりで授業をとって欲しい。

試 験 : 定期試験、小テスト、レポートで評価する。

時事英語A・B・H・I	たかすぎただあき 高杉 忠明	2 単位
		1～4年
		前期・後期

この授業では現代の国際関係、政治・経済・社会問題のテーマを取り上げて、①英語の読解力、発表力、思考力を養う。また②個々の現象の背後にあり、その現象を生じさせた歴史的要因、政治、経済的要因に目を向けて、その因果関係を分析して問題の構造的な理解が可能になるよう解説してゆく。受講者は各自の関心に基づき、自分で特定のテーマについて英字新聞や雑誌などで関連する記事を読み、レポートを書くことになるので、単に英語を学ぶという態度ではなく、国際関係、政治・経済問題に対する十分な問題意識をもって履修して欲しい。

試 験 : 中間レポート、最終レポートの提出と試験ならびにクラスでの積極的な発言を加味して評価する。

テキスト名 : *The Real World—Problems and Prospects—* (桐原書店) および配付資料

時事英語 C・D・J・K	おお まがり しょう いち 大 曲 正 一	2 単 位
		1～4 年
		前期・後期

英和辞典だけを頼りに英字新聞や Time, Newsweek といった英文国際情報誌を自由に読みこなすことは、実際問題として極めて難しい。かなりの英語力を持ち合わせていても、報道・解説記事の背後にある幅広い予備知識がなければ、正しい理解は覚束ない。

本コースでは、語学専攻の学生には比較的馴染みの薄い国際政治と国際経済に関する英文記事に的を絞って、それらの記事の背景や事実関係を踏まえながら、時事英語習得のための基礎的訓練を行う。授業の進捗状況に応じて、指定テキストのほかにできるだけ最新の英文記事を読み、読解力の向上を目指したい。

試験：中間テストおよび期末試験の結果で総合評価する。

テキスト名：NEWS WORLD '95—Getting to Know the Changing World, by Michael L. Sherard (Macmillan Language House) およびハンドアウト。

時事英語 E・L	きか た やす よ 阪 田 恭 代	2 単 位
		1～4 年
		前期・後期

時事英語の理解力を向上し、時事問題に対する批評能力を養成することを目標に、指定テキストを利用して基礎的な訓練を行い、さらに英字新聞・雑誌の記事を題材にレポートの作成を求める。

※就職活動に従事する4年生の場合、後期の授業（時事英語L）を履修することを勧める。

試験：主に、テスト、レポート、授業への参加度を評価の基準とする。

テキスト名：未定

時事英語 F・G・M・N	よし た くに こ 吉 田 国 子	2 単 位
		1～4 年
		前期・後期

英字新聞をあまり読み慣れていない受講生を対象に、英字紙を読みこなすための基礎知識、技能の獲得を目指す。時事英語の理解にはそこで扱われている問題についての背景知識が欠かせないので、受講生には日頃から時事問題に関心を持ち、新聞、雑誌に目を通す、ニュース番組を見ろといった努力を求める。

試験：授業への参加度、試験もしくはプレゼンテーションによって評価を決定する。

テキスト名：10-Minute Practical Word Power 桐原書店 Akira Ohira 著

時 事 英 語 O	ソニア イーグル SONIA EAGLE	2 単 位
		1～4年
		後 期

This course will consider and utilize various forms of mass media both written and visual including newspapers, magazines, comics, movies, videos, TV and computer technology. The forms and styles of English associated with mass media will be considered along with the impact of mass media on modern languages, societies, nations and the global village. Mass media and its relationships to advertising, image-making, political biases, education and its effects on the individual will be discussed. Classes will include readings and videos from mass media sources plus group projects and presentations, discussions and written assignments. Active classroom involvement will be expected.

- 試 験 : Grade based on :
- 1) Classroom reports and projects 20%
 - 2) Written assignments 30%
 - 3) Tests 30%
 - 4) Classroom attendance and participation 20%

テキスト名 : Prepared articles purchased from the copy centre.

ビジネス英語入門 I A・B	た なか たけ お 田 中 武 雄	2 単 位
		1～4年
		前 期

近年、社会の国際化に伴い、日本企業では貿易部門や海外事業部門だけでなく、それ以外の部門でも毎日の仕事の中で、英語を使用する機会が多くなってきている。本講座では、このような場合に必要とされるビジネス英語の書き方を、初歩から順を追って分かり易く指導する。

ビジネス・レターの構成と形式を学んだ後、ファックスや電子メールを利用した企業内通信文や、帰国後の礼状や昇進祝い状など企業間の社用社交文を学習する。また、英文履歴書の書き方やレターを書く際の句読点の用法についても指導する。

試 験 : 定期試験、宿題、授業への参加意欲（主として出席回数）を総合して評価する。

テキスト名 : プリント配付

ビジネス英語入門 II A・B	た なか たけ お 田 中 武 雄	2 単 位
		1～4年
		後 期

国際ビジネスにおいて、口頭により取り交わされるビジネス・コミュニケーション（例えば、電話での伝言、会議の設営、製品の説明、苦情処理など）を学習する。

英米人だけでなく、オーストラリア人、スペイン人、中国人などが共に働く多国籍企業で、実際に使用されている標準ビジネス会話をテープで数多く聴き、これを参考にして役割練習を行なう。更に、ビジネスマンが異文化に接する際に遭遇する種々の問題点を取りあげ、これについて討議する。

また、ビジネスマンが会話の中でよく使用する専門用語を、小辞典を使って指導する。

試 験 : 定期試験、宿題、授業への参加意欲（主として出席回数）を総合して評価する。

テキスト名 : ① *Business Venture* 第2巻 R. Barnard 他 Oxford University Press

② 『エグゼクティブの口語英語辞典』井内邦彦 北星書店

商 業 英 語 A	たけがみこうのすけ 武 上 幸之助	4 単 位
		1～4年
		前 期

本講義では、将来国際ビジネス、国際取引に携わる際に必要となるビジネスに関する英語表現と実務知識の修得を目標とする。主に素材は英文レターを扱い、専門用語の修得、Pitman 方式による定型表現演習を中心とする。尚、前期では基本表現と実務知識を、後期では応用表現を扱う。又日商主催商業英語検定試験についても言及する。

(内容例) ①商業英文の構造。②取引先との交渉。③成約と契約文書。④船積及び通関手続。⑤海上保険。⑥外国為替、手形金融。⑦決済条件。⑧国際マーケティング。⑨取引の背景となる UCC (米民法)、SGA (英売買法) 及び日本民法法の比較。⑩広告、パブリシティ。⑪情報メディアとビジネス英語。⑫電子通信英語等。

尚、「商業英語 A」では、主に基礎的ビジネス通信文の解釈、用法を、国際取引の実務に合わせて解説します。

試 験：定期テスト、又は定期レポートによる評価

テキスト名：Strategies of International Business Administration 学文社、武上著

Business English—Reading & Writing Technics— 専門教育出版、武上著

商 業 英 語 B	たけがみこうのすけ 武 上 幸之助	4 単 位
		1～4年
		後 期

本講義では、将来国際ビジネス、国際取引に携わる際に必要となるビジネスに関する英語表現と実務知識の修得を目標とする。主に素材は英文レターを扱い、専門用語の修得、Pitman 方式による定型表現演習を中心とする。また英文コントラクト、広告英語、情報英語等も解説する。尚、前期では基本表現と実務知識を、後期では応用表現を扱う。又日商主催商業英語検定試験についても言及する。

(内容例) ①商業英文の構造。②取引先との交渉。③成約と契約文書。④船積及び通関手続き。⑤海上保険。⑥外国為替、手形金融。⑦決済条件。⑧国際マーケティング。⑨取引の背景となる UCC (米民法)、SGA (英売買法) 及び日本民法法の比較。⑩広告、パブリシティ。⑪情報英語。⑫ネーミングと商標ブランド戦略。⑬テレックス英語。

尚、「商業英語 B」では、主に、応用的ビジネス通信文の用法、作成を中心に、国際取引実務のプロセスに添って解説します。

試 験：定期テスト、又は定期レポートによる評価

テキスト名：Strategies of International Business Administration 学文社、武上著

Business English—Reading and Writing A.B class— 専門教育出版、武上著

日 英 翻 訳 法 [時 事]	よしもと しんいちろう 吉 本 晋一郎	4 単 位
		2～4年
		後 期

邦字紙や雑誌の報道記事と論評の英訳の基礎理論と実践演習。国際的に注目されている特に政治・経済分野の最新の出来事を中心に、最初の段階は短文を訳出して英語を書くことに慣れ、その後しだいにやや長文の英訳により実力の養成を図り、就職後に役立つべく講義よりも演習に大半の時間を割いてゆく。訳出には政治・経済面で出来事の理解が前提なので、普段から丹念に邦字新聞の政治や経済を読む習慣が肝要。成績判定は出席を特に重視する。演習は、最初からパソコン (NEC 980) で実施するので、文章が入力できる程度の操作に完熟しておくことが必要。

試 験：授業中に予告なしに頻繁に実施。

英 日 翻 訳 法 [時 事]	よしもと しんいちろう 吉 本 晋 一 郎	4 単 位
		2 ~ 4 年
		前 期

時事問題に関する『ニューヨーク・タイムズ』紙、『フォリン・アフェアーズ』誌などの報道記事や論評の翻訳の基礎理論と特に実践演習。国の内外で注目を集めているこれら記事や論評のうち最新のものを主として扱う。最初の段階では短文の訳出などによって自ら厳しく演練するしかないことを、記者としての長年の経験で痛感しているので、全期間講義よりも演習に重点をおき、授業時間の大半を割く予定。したがって、成績判定では出席を特に重視する。演習は、最初からパソコン（NEC 980）で実施するので、文章が入力できる程度に操作に完熟しておくことが必要。

試 験：授業中に予告なしに頻繁に実施。

英 語 通 訳 法 A I	そね かず こ 曾 根 和 子	4 単 位
		2 ~ 4 年
		前 期

実技演習を通じ日英（英日）通訳法の基礎理論を学び異文化コミュニケーションの理解に努める。LL設備を使用し、ラジオ・テレビの英語放送、英語スピーチ及び英語を使用した会議の録音テープを教材に、政治、経済、文化、社会及び科学技術等の各分野における「逐次通訳法」を習得させる。

英検1級、TOEFL 560点、TOEIC 760点のいずれかの基準を満たしている学生のみ受講可能。

※英語力テストにより人数調整を行う場合があるので履修希望者は第一回目の授業に必ず出席すること。

試 験：通訳パフォーマンスの評価を随時行うとともに期末テストで履修状態の総合評価を行う。

テキスト名：講師作成のスタディガイド及び録音テープ等

英 語 通 訳 法 Ⅱ	そ ね かず こ 曾 根 和 子	4 単 位
		2～4 年
		後 期

「英語通訳法Ⅰ」で習得した知識、技能を基礎に優れた通訳者としての資質の育成を図る。LL設備を使用し、より広範囲な分野における高度な内容の教材により「逐次通訳法」の能力の向上を目指すとともに、英語、及び日本語ニュースを中心として簡単な「同時通訳法」の基礎を理解させる。また講義全般を通じ通訳者としての一般的な知識、教養を習得させる。

※「英語通訳法Ⅰ」を履習した学生のみ受講可能

試 験：通訳パフォーマンスの評価を随時行うとともに、期末テストで履修状態の総合評価を行う。

テキスト名：講師作成のスタディ・ガイド及び録音テープ等

日 本 語 学 I A	た ま き たか とし 玉 木 隆 とし敏	4 単 位
		1～3 年
		後 期

このコースは、日本語音声学および音韻論に関する講義である。

言語の基礎は音声であり、この研究なしにはいかなる言語の側面をも語れない。そこで、講義では、人間の話しことばすべてに共通する音声一般の考察を出発点に、日本語の segmental features (母音・子音) と suprasegmentals (アクセント・イントネーション・リズムなど) を中心に講義を展開する。また、実験音声学の立場から、日本語の音声についてどのような研究が可能であるかを探る。最後のまとめとして、外国人のための日本語音声教育のヒントを論じてこのコースとする。

テキスト名：文化庁『音声と音声教育』(大蔵省印刷局)、ほか。

日 本 語 学 I B	い わ もと え のく 岩 本 遠 億	4 単 位
		1～3 年
		前 期

日本語の音声と音韻の体系の基礎について概説する。扱う内容は、発音の原理、音声体系における物理的・心理的単位、音声形成における心理的過程、音節の構造、語形成と音声の関係である。

試 験：学期末にテストを行なう。

テキスト名：追って指定する。

日 本 語 学 II A	わた なべ あきら 渡 辺 明	4 単 位
		※1～3年
		前 期

日本語の主な統語的特徴を扱う。補文構造、再帰代名詞、尊敬語、格、複合述語、wh疑問文、否定、話題化、かきまぜ規則などが主なトピックとなる。他の言語との比較も可能な限りで行う。生成文法の統語論の基本的な考え方は前提として講義を進める。

試 験：テストを行う。

テキスト名：柴谷方良『日本語の分析』 大修館

※履修年次は1～3年だが、平成7年度は担当者の許可があれば4年生も履修可能。

日 本 語 学 II B	おく つ けいいちろう 奥 津 敬一郎	4 単 位
		※1～3年
		前 期

現代日本語について、特に基本的な文型・文法事項をとりあげ、日本語教育とも関連させて講ずる。また英語・中国語・韓国語などとの対照も試みる。

試 験：学期末に筆記試験を行なう。

テキスト名：奥津敬一郎・田中章夫『日本語への招待』凡人社。

※履修年次は1～3年だが、平成7年度は担当者の許可があれば4年生も履修可能。

日 本 語 学 II C	は せがわ のぶ こ 長谷川 信 子	4 単 位
		※1～3年
		前 期

現代日本語の統語構造（いわゆる文法）と語形成を生成文法の観点から英語との対照を含めて考察する。講義が中心だが、データの一般化や規則化に関する problem sets や宿題の検討にあたっては、発表も含め、学生からの積極的な参加を期待する。

試 験：宿題・発表・定期試験（2回）

テキスト名：未定（多分、プリント・コピー）

※履修年次は1～3年だが、平成7年度は担当者の許可があれば4年生も履修可能。

日 本 語 教 授 法 I A	す 須 が 賀 あき 章 お 夫	4 単 位
		※2～3年
		前 期

日本語教育において、いわゆる初級レベルの文法として扱われている項目の中から幾つかを取り上げ、それらを外国人日本語学習にどのように提示していくのかという観点を踏まえて分析していく。その分析結果から実際の教室活動を考える。

また、現在行われている日本語教育の方法の幾つかを概観する。

試 験：出席、毎時間のプレゼンテーション及び学期末のレポートで評価する。

※履修年次は2～3年だが、平成7年度は担当者の許可があれば4年生も履修可能。

日 本 語 教 授 法 I B	なん ば こう じ 難 波 康 治	4 単 位
		※2～3年
		前 期

本講義は、日本語の教師を目指す学生を対象に、外国語としての日本語の教育の基本的な知識を与えるとともに、その方法論を身につけさせることを目的とする。ただし、ここでいう「方法論」は単に授業を行う上でのノウハウや技術だけではない、語学教育全般にわたる理念に基づいたものを目指したい。

「日本語教授法Ⅰ」では日本語教授法に関わる様々な問題について紹介し、「外国語教育としての日本語」教育の概観を解説するとともに、外国語としての日本語そのものに関する知識を修得することを中心とする。同時に、国内外の日本語教育の実態も、視聴覚教材を交えて紹介する。

試 験：テスト1回 50%、レポート 50%

参 考 書：富田隆行 『文法の基礎知識とその教え方』 凡人社

田中 望 『日本語教育の方法』 大修館書店

※履修年次は2～3年だが、平成7年度は担当者の許可があれば4年生も履修可能。

日 本 語 教 授 法 II A	す 須 が 賀 あき 章 お 夫	4 単 位
		3～4年
		後 期

「日本語教授法Ⅰ」を踏まえた上で、実際の教室活動を模擬実習の形式を取り入れて、組み立てていく。あわせて、初級の日本語学者を想定して授業スケジュールを作成し、教壇実習に備える。

また、実際の教室活動を行っていく上の教示とするため、そして、今後の日本語教育の方法のあり方を考えるための基礎として、これまで提唱された主な外国語教授法を概観する。

試 験：学期末の試験及び出席、プレゼンテーションで評価する。

日 本 語 教 授 法 Ⅱ B	なん ぼ こう じ 難 波 康 治	4 単 位
		3～4 年
		後 期

「日本語教授法Ⅱ」はセミナー形式で行い、各講義ごとに与えられた教材および資料をグループで調査分析し、授業を実際に行う場合の問題点を検討する。クラスでの討議のために、毎週指定された資料を読むでくこと。また、授業の中で教師から課題（2回）が与えられ、次回の講義における討議の題材とする。そのため各人が小レポートにまとめることが要求される。

試 験：レポート：50%、授業でのプレゼンテーション：50%

テキスト名：特に指定しない

日 本 語 教 育 実 習	いわ もと え のく 岩 本 遠 億	1 単 位
		3～4 年
		通 年

日本語教育の実際を授業見学と教壇実習を通して学んでもらおう。前期には民間の日本語学校の授業を見学する。後期には約2か月間の教壇実習を本学キャンパス内で行なう。前後期を通して、実習の準備・整理にかなりの労力と時間を要する。また、実習は学外の機関・学習者の協力を得て行なわれるものであるから、受講者には相当の自覚と責任が要求される。

試 験：実習とレポートで総合的に評価する。

テキスト名：なし

日 英 米 比 較 文 化 論 A	くろ いわ ゆたか 黒 岩 裕	4 単 位
		1～4 年
		後 期

国民性・経済・社会階層・教育・民族の分野から、日本的またはアメリカ的なものと考えられている事柄を取り上げて分析します。日本とアメリカの類似点及び相違点をできるだけ正確に理解することを目的に講義をすすめます。

試 験：学期末試験及びレポート。

日 英 米 比 較 文 化 論 B	ち だ つよし 千 田 剛	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

私たちが行うべき日米文化の比較は、まず米国文化に映じた日本文化の型を見つめることであろう。これは自己認識力を育てる有効な作業の一つである。

本講義では、人類学者ルース・ベネディクトの「菊と刀」を中心に、とくにこの50年間に出版された様々な日本論などの論考をたどり、両国文化の特質を比較検討したい。

試 験：レポート（1回）の提出。

テキスト名：ルース・ベネディクト著（長谷川 松治訳）

『菊と刀（日本文化の型）』社会思想社（現代教養文庫）

英 米 事 情 A	もり た まさ み 森 田 正 實	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

英語・英文学の背景としての、英国の歴史的、社会的、文化的側面を考察し、その全体像を明らかにすると共に、英国の国民性と、その精神的・思想的伝統が形成されて来た由来を探求し、英国の文化と教養の本質に迫りたい。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：*Britain Explored* 英潮社

英 米 事 情 B	なか の きとし 中 野 聡	4 単 位
		1 ～ 4 年
		後 期

社会学および歴史社会学を基礎にした現代英国社会論の概説。経済変動と社会変化をモチーフに社会成層、社会政策、社会意識の問題を含む広範なテーマを取りあげる予定。

試 験：選択式論述問題もしくはレポート。

テキスト名：授業中に参考文献を指示。

英 米 事 情 C	ロバート デ シルバ ROBERT DE SILVA	4 単 位
		1 ～ 4 年
		前 期

This course provides a general introduction to the life and culture of the United States. Topics that will be covered include geography, history, government, religion, art, literature, and education. Evaluation will be by tests based on the lectures and readings, and individual reports. The lectures will be given only in English.

英 米 事 情 D	かわしまこうへい 川島浩平	4 単 位
		1～4年
		前 期

現代アメリカ社会における諸問題を社会階級、エスニシティ、ジェンダーの三観点から分析する。扱うテーマは、最新のニュース（例えば、IQ論争、O. J. シンプソン裁判、軍隊における男女対立等）との関わりを導入としながら発展させていきたい。具体的には、貧富差の拡大と中産階級の衰退、貧困・犯罪と銃規制、人種差別と移民制度、男女差の起源論と男女差別問題といった、社会階級、エスニシティ、ジェンダー間の摩擦や衝突が生みだしている諸現象・問題である。これらから多文化主義についての視点を育てると同時に、1994年中間選挙での保守派大勝利の意味について考えを深めたい。

試 験：学期末試験と出席による。出席を重視する。

テキスト名：特に指定しないが、適宜参考文献を紹介する。

英 米 事 情 E	くろいわゆたか 黒岩裕	4 単 位
		1～4年
		前 期

アメリカ合衆国はしばしば多民族社会と呼ばれますが、その歴史や現状は案外日本人には知られていません。この講座では、テキスト、英文の論文、ビデオ、映画などを利用して、多民族社会としてのアメリカの経験を以下のテーマにそって概観します。

1. 教育、使用言語、職業、居住地域、スポーツ等におけるアメリカのマイノリティーの現状。
2. 植民地時代から現代までの移民の歴史。
3. 黒人、日系アメリカ人、アメリカ・インディアンにとってのアメリカ史。

試 験：学期末試験及びレポート。

英 米 事 情 F	レジナルド カーニー REGINALD KEARNEY	4 単 位
		1～4年
		前 期

This course will be a methods course on writing a research paper in American history. Students will be taught how to write historical essays, term papers, dissertations. Course grade will be based on the successful completion of a research paper.

試 験: Course grade will be determined by written work or quizzes, midterm and final examinations.

テキスト名：Kate Turabian, *Manual of Style*

英 米 事 情 G	ち だ つよし 千 田 剛	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

私たちの生活に関わりの深い米国に対する知識と理解は、情報の多さにもかかわらず、必ずしも深いものとはいえない。

本講においては、米国特有の制度、民族構成、国土・自然、大衆文化、知識人など多岐にわたる分野についての基礎的な知識を講じつつ、地球的諸問題に直面する米国民の意識のありようを探ってゆきたい。

試 験：レポート（1回）の提出。

テキスト名：中屋健一編『アメリカ入門12講』三省堂（三省堂選書）

オセアニア英語文化圏事情	フランシス ジョンソン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

The purpose of this course is to introduce students to some of the major features of English speaking Oceania; its history, geography, government, peoples and culture. Particular focus will be on Australia and New Zealand with occasional surveys of other Oceanic as warranted. The course will follow a general lecture format. Students will be expected to take notes during the lecture and to have done the assigned reading before coming to class. Each lecture will be organized around a central topic; that is, each lecture will be independent of the others but build upon a common theme that explores Oceania. A detailed course syllabus and schedule will be distributed to the first day of class.

Reading: There will be no assigned textbook for this course but readings, however, will be drawn from various academic and popular sources and be made available to students for photocopying.

試 験：Two multiple-choice tests

英 国 史	なか の さとし 中 野 聡	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

社会経済史を基礎にした英国史の概説。政治・文化史を含めた広範なテーマも取りあげる予定で、受講者は青山・今井編『概説イギリス史（有斐閣）』などを読んでおくことが望ましい。

試 験：選択式論述問題もしくはレポート。

テキスト名：授業中に参考文献を指示。

米 国 史 A	かわしまこうへい 川島浩平	4 単 位
		1～4年
		後 期

アメリカ合衆国の植民地時代から現代までの歴史を概観する。独立戦争、南北戦争、二つの世界大戦と冷戦体制の成立と崩壊等の政治的大変動の原因と展開、およびそれらの歴史的意義を学ぶ。他方、最近の学会で脚光を浴びた経済史、社会史、都市史、女性史等の「新しい」歴史学の成果を積極的に取り込むものとする。トップダウン／ボトムアップという2つのアプローチによる歴史理解をめざしたい。具体的な授業方法として、主に大規模な社会変動に関するメインテーマと、主に社会史と関連するサブテーマの2つの各講義で設定し、複眼的に各時代の政治・経済・社会・文化を解説したい。

試 験：出席を重視し、出席率と学期末試験を評価対象とする。

テキスト名：有賀貞、大下尚一編『新版概説アメリカ史：ニューワールドの夢と現実』有斐閣 1990年

米 国 史 B	レジナルド カーニー REGINALD KEARNEY	4 単 位
		1～4年
		後 期

This course will be a survey of the history of the United States from the period preceding the Civil War down to the era of Kennedy and Johnson. This course will introduce some of the major themes and concerns of American historians for the period of the course and provide a basis for making critical assessments of the enduring social and political problems that face the Americans people.

試 験：Student performance will be evaluated on the basis of class discussions and quizzes (30%), a mid-term (25%), and final examination (45%).

テキスト名：Current, Williams and Friedel, *American History: A Survey*, vol.2

米 国 政 治 経 済 論	たかすぎただあき 高杉忠明	4 単 位
		1～4年
		後 期

本講では、第二次大戦後のアメリカの歴代政権つまりルーズベルト、トルーマン、アイゼンハワー、ケネディ、ニクソン、フォード、カーター、レーガン、ブッシュ、クリントン各政権の公共政策、経済政策に焦点をあて講義を進める。とくに各政権がいかなる歴史的状況の中で誕生し、いかなるアメリカ国民の信託(mandate)に応えようとしたのか？、また在任期間中の政策はどのような評価を得ているのか？という問題を各政権の公共政策、社会・経済政策の分析をつうじて明らかにしてゆきたい。受講者は政治学、経済学の基礎概念を修得していることが望ましいが、必要に応じて適宜解説を加えながら講義をおこなう予定である。

試 験：中間レポート、最終レポートで評価する。

テキスト名：最初の授業でシラバスを配付し、説明する。

アメリカ外交論	たか 高	すぎ 杉	ただ 忠	あき 明	4 単位
					1～4年
					前期

本年は戦後50年を迎える。この50年の国際関係のもっとも基本的な枠組みは、米国を指導者とする西側とソ連を覇者とする東側との間の軍事的・体制的・イデオロギー的对立であった。しかし89年末から顕在化した冷戦の終結とソ連の崩壊、その脱共産主義化は東西冷戦構造の解体をもたらし、「ポスト冷戦」の時代が始まった。本講では、戦後50年の歴史をいくつかの時期に区分して、各々の時期の米国外交の特徴を論じてゆく。具体的には米国の対ソ・東欧外交、対東アジア外交（対中国、対日関係）、対中東外交、対ラテンアメリカ外交を取り上げ、主として安全保障の観点から講義を進めてゆく。

試験：中間レポート、最終レポートおよび筆記試験（一回）で評価する。

テキスト名：『新戦略の模索』佐藤誠三郎編（国際問題研究所）1994年

『アメリカの時代』W. ラフィーバー著（芦書房）1995年

『冷戦期の国際政治』小此木政夫、赤木完爾編（慶応通信）1987年、その他

英国事情実地研究		4 単位
		1～4年
		海外研修

イギリスの一般家庭に滞在しながら、エセックス大学またはニューキャッスル大学でイギリスの文化、社会、経済、政治、教育等について総合的に学ぶ。授業は講義、ディスカッション、発表の形式を取り、一人一人の積極的な参加を前提とする。また日帰り旅行、市内見学、エセックス大学またはニューキャッスル大学の学生との交流等を通してイギリスを実体験する。

尚、この研修は春季休業中（エセックス大学）と夏季休業中（ニューキャッスル大学）に実施される。

試験：成績は試験、レポート、発表、授業参加等の総合的な評価に基づく。

米国事情実地研究		4 単位
		1～4年
		海外研修

夏休みにアメリカの大学を拠点に米国の歴史、文化、社会、政治、経済について現地で研修活動を行う。実地研修として午後にキャンパス外の活動を行ったり、日曜日にはバスによる day tour も行う。アメリカの大学としてはカリフォルニア大学サンタクルツ校（美しい静かで安全な町として有名）か、オレゴン州の大学（University of Oregon or Oregon State University）を考えている。

試験：成績は試験、レポート、発表、授業参加等の総合的な評価に基づく。

オセアニア文化実地研究	4 単 位
	1～4年
	海外研修

オーストラリアの一般家庭に滞在し、生きた英語に触れながら、シドニー市にあるマコーリー大学付属の国立英語教育研究所にてオセアニア（特にオーストラリア）の文化、社会、政治、経済、教育、言語事情等について学習する。講義の他にディスカッション、リーディング、発表等を通し、オセアニア文化圏諸事情について理解を深める。実地研修としてシドニー市、キャンベラ市、ゴールドコーストの観光旅行が予定されている。尚、この研修は夏季休業中に実施される。

試験：成績は試験、レポート、発表、授業参加等の総合的な評価に基づく。

応用研究〔国際関係〕	たか すぎ ただ あき 高 杉 忠 明	4 単 位
		4 年
		後 期

冷戦の終結に伴い共産主義の脅威が著しく減少する一方で、世界各地では民族、宗教、領土をめぐる地域紛争頻発の脅威が増大している。また紛争地域周辺では軍備拡散、大量難民の発生・殺りくなど国境を越えて平和への脅威が拡大している。

この応用研究では、地域・民族紛争の解決と国連PKO（平和維持活動）の役割に焦点を合わせ、その有効性と限界を受講者とともに考えてゆく。国連の安全保障機能はアメリカをはじめとする大国の地域紛争に対する態度に大きく依存するので、五大常任理事国の国連政策や紛争当事国の態度にも注意を傾けてゆく。またカンボジアに始まる一連の日本のPKO参加は、憲法解釈や日本の国際貢献のあり方について賛否両論を巻き起こしたが、この問題についても考察を加える。

試験：レポートならびにクラスでの討論参加などを基準に評価する。筆記試験はおこなわない。かなりの量の英文、和文の文献、資料を読むことになるので明確な問題意識をもって受講してほしい。

テキスト名：最初の授業でシラバスを配付し、必読文献、資料の説明をする。

沢田 昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫）

応用研究〔比較文化〕	まつ い けい こ 松 井 佳 子	4 単 位
		4 年
		後 期

How have Japanese life, poetry, and other arts influenced the imagery, style, feeling, and world view of American poets? How realistically or imaginatively have such poets responded to Japan? How can their work be appreciated, understood and evaluated by Japanese readers? How can poetry suggest similar and contrasting qualities in the cultures of Japan and America? These and other questions will be raised by lectures and discussions of poems by Wallace Stevens, Amy Lowell, Ezra Pound, Kenneth Rexroth, and Gary Snyder, illuminated by passages from Sanehide Kodama's *American Poetry and Japanese Culture* and other prose commentary. Students' use, enjoyment, and understanding of implicit and explicit aspects of English, as well as of cultural patterns, are expected to improve.

試験：未定

テキスト名：The Selected Poems of Kenneth Rexroth. Ed. by Bradford Morrow (A New Directions Book).

Gary Snyder 対訳 Turtle Island (亀の島) ナナオ サカキ訳 山口書店

応用研究[コミュニケーション・メディア]	まつ 松本	しげる 茂	4 単位
			4 年
			後 期

前半は、対人コミュニケーション、異文化コミュニケーション、議論法、コミュニケーション教育などに関する研究論文を読み分析する。

後半は、コミュニケーションの諸問題、コミュニケーション能力向上のための教育・訓練方法などについて各自研究テーマを設定し、研究発表を行う。最終的には、研究レポート（15～30枚）をまとめる。

評 価：The grade will be based on (1) term paper, (2) book reports, (3) class participation, and (4) written assignments.

テキスト名：William B. Gudykunst (ed.) *Communication in Japan and The United States*, NY: State University of New York Press, 1993.

英 文 学 史 A ・ B	もり 森	た 田	まさ 正	み 實	4 単位
					1～4年
					前期・後期

英文学史の、16世紀ルネッサンス前後から18世紀までを講読し、各時代の社会的・文化的背景と代表的詩人・作家・作品群について概論的解説を加えつつ、英文学思潮の流れを把握させ、英文学研究の端緒としたい。

なお、本年は、19世紀から20世紀に至るまでの英文学について重点的に講義する予定である。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：A Short History of English Literature 金星堂

米 文 学 史	まつ 松	い 井	けい 佳	こ 子	4 単位
					1～4年
					前 期

アメリカの文学史を植民地時代から現代に至るまで、時代思潮と関連させながら考察する。昨今の価値観の多様化の中で文学のキャノンも流動的に揺れ動いている。特に1960年代の公民権運動、フェミニズム意識の招頭、カウンターカルチャーの出現などによりそれまで無視あるいは軽視されてきたマイノリティ文学が見直されてきている。このダイナミックな視座を大切にしながらアメリカ文学の面白さを浮彫りにしたい。

試 験：中間、期末の二つの試験。

テキスト名：① *An Outline of American Literature*[アメリカ文学史概説] by Peter B. High Longman
英潮社

② *Choice Passages from American Literature*[1] Ed. by Toshio Yagi & Masaru Ohba
英潮社新社

イギリス文学講義 A・B	もり 森	た 田	まさ 正	み 實	4 単位
					1～4年
					前期・後期

18世紀後半から19世紀に至るロマン主義文学の代表的詩人群に焦点を当て、ワーズワース、コウルリッジ、バイロン、シェリー、キーツの詩想について講義し、併せて、各詩人の英詩を鑑賞すると共に、ロマン主義文学思想の英文学史上における位置と、その現代的意義と価値について考える。

試験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：*Palgrave's Golden Treasury* 南雲堂

アメリカ文学講義	まつ 松	い 井	けい 佳	こ 子	4 単位
					1～4年
					後期

楽観的アメリカン・ドリームの国アメリカは実際には種々の社会問題を抱えこんで病んだ国でもある。アメリカの現代悲劇の二つの代表作品の読解を通して、ブランチとウィリーが各々の生き難さを克服できずに、いかに破滅に追いやられたかを考える。愛と金銭的成功という見かけの理想に翻弄される悲しい不幸を資本主義批判、フェミニズム意識の欠如という契機を導入して登場人物の心理の襞を検証する。

試験：中間試験と期末試験。

テキスト名：*A Streetcar Desire* 金星堂
Death of a Salesman 英潮社

英米文学研究 A	まつ 松	い 井	けい 佳	こ 子	4 単位
					2～4年
					前期

いろいろなジャンルの英米文学作品の文芸批評文を英語で書くには、どのような手続きを踏むべきかを具体例を挙げながら学習する。辞書を丁寧に引き教科書を細かく読解する地道な作業が要求される。

試験：未定

テキスト名：*Writing Themes About Literature: Seventh Edition* by Edgar V. Roberts (Prentice-Hall, 1991)

参考書：*A Glossary or Literary Terms* by M. H. Abrams (Harcourt Brace Jovanovich)

英 米 文 学 研 究 B	もり 森	た 田	まさ 正	み 實	4 単 位
					2 ~ 4 年
					後 期

英文学の代表的作品を年代順に鑑賞・研究し、その本質に触れたい。主に、詩と散文から成る古典を読むことを通して、西洋文化の原点に迫り、教養と実用の両面から、学力の涵養に努める。また、文学的問題意識を喚起し、各自テーマを選んで、作家・作品の研究に取り組むことを奨励したい。

試 験：主として期末試験と課題レポートによって、評価を行なう。

テキスト名：*Gems of English Prose & Poetry* 英潮社

3) 中国語学科専門教育科目

中国語総合講座Ⅰ	かわ 川 こう 興	しま 島 ろぎ 栞	いく 郁 いち 一	お 夫 ろう 郎	6 単 位
					1 年
					通 年

※ 1年生で平成6年度以前に入学した学生は、「中国語総合Ⅰ」を履修して、「中国語総合講座Ⅰ」を履修したものとみなす。

最初に発音の基礎練習を徹底して行い、その上でテキストに基づいて文法・会話・語彙の基礎力を身につける。また、自主的な学習習慣を培うために、授業中も辞書を頻繁に引き、書き取り・聞き取りの訓練を繰り返し行う。

出席者は毎回必ず予習することが義務づけられる。

テキスト名：①『最新中国語教本（上）』中国書店
②『最新中国語教本（下）』中国書店

中国語作文Ⅰ	かわ 川 こう 興	しま 島 ろぎ 栞	いく 郁 いち 一	お 夫 ろう 郎	2 単 位
					1 年
					通 年

総合講座と平行して中国語の基礎力の修練に当たるが、作文では主として中国語の構文の習得と語彙力の強化に重点が置かれる。

テキスト名：①『標準中国語作文』書籍文物流通会
②『標準中国語作文（続）』書籍文物流通会

中国語会話Ⅰ	リン 林	ファン 芳	4 単 位
			1 年
			通 年

「言葉は生きています。生きた言語の生きた勉強を！」（言語は活着的、它随時代而变化。要把活的语言学得活。）

これをモットーに、「見る・聞く・話す・書く」技能の有機的な訓練に力をいれます。また中国語学習において日本人最大のウィークポイントである抑揚や発音、聞く力、表現力の向上に重点をおき暗記を重視します。

現役の、習ってすぐ役立つ言葉を、楽しく勉強しましょう。

試 験：平常ひんぱんにテストを行うので、特に定期試験には入れない。

テキスト名：『中・日・英対照 実用中国語会話』白水社

中国語総合講座Ⅱ	こ 児 みつ 三	だ ま 玉 ま 漕	けい 啓 まさ 正	こ 子 みち 道	6 単 位
					2 年
					通 年

去年一年間の学習の成果を踏まえて、本講義ではより高度な中国語に挑戦できるように、基礎力の総仕上げをすることを目標にしています。週3回の授業のうち、2回を児玉が、1回を三漕が担当します。言いたいことを流暢に話し、ラジオやテレビなどで話される中国語が聞き取れるようになるには、かなりの努力が必要です。

3・4年生の授業をクリアにするにも、2年の学習で培われた成果が問われます。計画的に学習できるように、多くの課題を準備しています。講義の進め方については、開講時にそれぞれ指示します。

試験：小テスト（発音聴取・作文）、中間試験、期末試験、レポート等。

評価：試験、授業時の態度（出欠、授業に対する参加の度合、予習・復習の有無）、課題提出等を総合的に評価する。

テキスト名：『最新中国語教本（下）』中華書店 『トレーニング中国語』白水社
『新・中国の新聞を読もう』朝日出版社 その他のプリント

中国語作文Ⅱ	ジョン 鍾	ジン 敬	ホア 華	2 単 位
				2 年
				通 年

以讲解中国语法为重点，强调理论联系实际，注重分析常用病句，使学生在掌握语法理论的基础上搞好作文实际。

試験：前期和后期分别举行期末考试等。

テキスト名：①『標準中国語作文』書籍文物流通会
②『標準中国語作文（続編）』書籍文物流会

中国語会話Ⅱ	ジョン 鍾 ドゥアン 段	ジン 敬	ホア 華 ウェイ 威	4 単 位
				2 年
				通 年

本科目は以能流畅地说出中国語为教学目标。在理解课文内容、增加词汇量的同时，继续加强发音、声调和语调方面的练习。鍾老師の課側重于基础語法の讲解，段老師の課側重于口語の訓練。

試験：前期和后期分别举行期末考试等。

テキスト名：『中国語会話中級』香坂順一改編 光生館

中国語総合講座Ⅲ	つかもと けい いち 塚本 慶 一	2 単 位
		3 年
		通 年

総合講座Ⅰ、Ⅱの二年間で培ったことばの基本的な四本柱である『聞く・話す・読む・書く』についての能力を下記のテキスト等を通じて学び、さらにレベルアップし、実際に必要な総合的語学力を身につけること。ならびに、中国語をより深く理解するための中国語観を確立していくことを目標とする。

試 験：成績の評価は、出席率・平常点及び前期・後期の試験等を総合的判定する。

テキスト名：①『トレーニング中国語』白水社

②『新聞中国語』東方書店

③『中国語の世界』東方書店

中国語作文Ⅲ	ジァ フォン チー 賈 鳳 池	2 単 位
		3 年
		通 年

初歩中国語を終えた人を主な対象として、和文を中文に訳するという面から中級程度の実力を育成するのに役立つことを目標として、授業を行う。

試 験：未定

テキスト名：『中国語作文』賈鳳池 他一名・金星堂

中国語総合講座Ⅳ	リン フォン 林 芳 川 村 嘉 夫	2 単 位
		4 年
		通 年

川村 嘉夫

中国語で刊行されている新聞、雑誌の社説、論評等をできるだけ多く読解することを通して、現代中国の政治、社会、文化に対する理解を深めてゆきたい。

試 験：授業での発表と各期末試験によって評価する。

テキスト名：プリント

林 芳

論評や現代の文学作品、報道記事など多様な文型に接し、中国語読解力を高めつつ、中国の社会・文化・人・思想などにも理解を深めていく。同時に、卒業後すぐ実際の役に立つよう、中国語会話にも多少の時間をあてる。

試 験：教場での発表による平常点とペーパーテスト。

テキスト名：①プリント

②『ビジネス中国語会話』

中 国 語 作 文 IV	つか塚 ジョン 鍾	もと本	けい慶 ジン 敬	いち一 ホア華	2 単 位
					4 年
					通 年

作文Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの三年間で学んだ基本文型と現場でよく使われている常用文例を、作文の練習（教室での発表と具体的な添削）を通じて学び、総合的かつ実用的な作文力を養成することを目標とする。

試 験：成績の評価は、前期後期の試験・レポート及びいままでの学習態度・成果を総合的判断し、加味して判定する。

テキスト名：①『標準中国語作文』書籍文物流の流通会
②『中国語作文』金星堂
③プリント等

広 東 語	ち千	しま島	えい英	いち一	2 単 位
					3～4 年
					通 年

華南を代表する漢語方言である広東語を特徴づけている、音韻、語彙、語法について概説し、併せて普通話との比較を試みる。更に、実務に適応できるよう会話、作文能力を養成する。

試 験：定期試験（年2回）及び小テスト、出席の結果で評価する。

テキスト名：千島英一著『香港広東語会話』東方書店、1,600円
千島英一著『標準広東語同音字表』東方書店、2,200円

中 国 語 学 概 論	ジョン 鍾	ジン 敬	ホア 華	4 単 位
				2～4 年
				通 年

第一学年で総合・作文・会話の授業を通じて、中国語の基礎的学習を終え、中国語についての一定の知識と学力を身につけた段階で、あらためて中国語とはいかなる言語か、ということをも音声・文字・構造・歴史を通じて言語文化として講述する。

授業は講義形式とするが、一部演習形式を含めて進める。

試 験：成績の評価は、出席率・平常点及び前期後期の試験・レポートを総合して判定する。

テキスト名：①『中国語のすすめ』 講談社
②中国語学概論に関するプリント

中国語音韻論	きか い けん いち 坂 井 健 一	4 単位
		3～4年
		通年

王力著《漢語音韻》を用いて、第一章語音学常識。第二章現代漢語の語音系統、第三章反切。第四章韻書まで講読し、中国音韻学の一端を学習する。

試験：期末試験（1回）（テキスト参照可）その結果で評価する。

テキスト名：『王力文集』（第五巻）所収「漢語音韻」第一章～第四章（コピーテキスト）

中国語史	こ だま けい こ 児 玉 啓 子	4 単位
		2～4年
		通年

本講義では、それぞれの時代の言語資料に基づいて、現代中国語と比較しながら、文体の特徴・音韻・意義の変遷について学びます。

言語資料は時代の流れに沿って、それぞれ数篇選んで講読します。中国語の歴史的な変遷を概観することによって、中国語はもとより、中国文化に対する理解を深めたいと思います。

内容：上古漢語、中古漢語、近世漢語、近現代漢語

試験：レポート、授業時の発表、授業態度（出席）により総合的に評価。

テキスト名：プリントを使用。

中国語学特殊研究 I	つか もと けい いち 塚 本 慶 一	4 単位
		3～4年
		通年

「中国語学特殊研究 I 及びⅣ」は、実質上「中国語通訳法 I 及びⅡ」に関する講義と訓練を組み合わせるスタイルで行う授業です。

「中国語学特殊研究 I」は LL 教室で、基本文型をリピート、リテンション、ノートテーキング、サイトラ等の訓練を通じ、通訳の基礎能力を強化します。それと同時に、日本語と中国語の比較対照を通じ、異文化コミュニケーションの理解に努めていきます。

※なお、受講対象は原則として、3年生で、すでに「中国語学概論」を履修済みで、成績が「良」以上を取得している学生のみ受講可能であり、かつ開講時にペーパー・プレズメントテストを行い決定する。

試験：成績の評価は、平時の学習態度・成果及び試験・レポートを総合的に判断し判定する。

テキスト名：①『日語口訳教程』商務印書館

②『中国語通訳』サイマル出版会

③プリント、録音・録画テープ等

中国語学特殊研究Ⅳ	つかもと けい いち 塚 本 慶 一	4 単 位
		3～4年
		通 年

「中国語学特殊研究Ⅳ」は「中国語学特殊研究Ⅰ」の継続で、引き続きLL教室で、テキスト及び現場の資料（放送、インタビュー、会談、交渉、国際会議等）に沿って、各分野（政治外交、経済貿易、文化、社会、科学技術等）の内容について、逐次通訳の基本訓練及び実演を行い、現場の雰囲気のみ込んでもらうようにする。また一方では、授業を通じて、通訳者として持つべきマナー、心構え、知識、教養及び通訳の歴史、理論についても講述する。

※なお、受講対象は原則として、3年生で、「中国語学特殊研究Ⅰ」を同時に履修する学生のみ受講可能である。

試 験：成績の評価は、平時の学習態度・成果及び試験・レポートを総合的に判断して判定する。

- テキスト名：①『日語口訳教程』商務印書館
 ②『中国語通訳』サイマル出版会
 ③プリント、録音・録画テープ等

ビジネス中国語	つかもと けい いち 塚 本 慶 一	4 単 位
		3～4年
		通 年

ビジネス中国語について、その分類・構成・用法及びビジネスの実務等を概説する。そして基本かつ応用的な文型及び文例を「聞く、話す、読む、書く、訳す」の練習を通じて学び、卒業後、ビジネス現場での即戦力となりうる必要な語学表現と実務知識を習得することを目標とする。

※なお、受講対象は原則として、4年生で、「中国語学特殊研究Ⅰ」を履修済みの学生のみ受講可能であり、かつ開講時にプレメントテストを行い決定する。

試 験：成績の評価は、平常の学習態度・成果及び試験・レポートを総合的に判断して判定する。

- テキスト名：①『実戦ビジネス中国語会話』白水社
 ②『ビジネス中国語マニュアル』東方書店
 ③その他

日 中 言 語 比 較	さくら い あき はる 桜 井 明 治	4 単 位
		3～4年
		通 年

日本語と中国語をさまざまな角度から比較検討し、その異同を明らかにしながら、両言語の本質的な特徴の把握に努める。前期は、以上の内容の講義を行う。夏休みには、前期の講義を参考にして、各自テーマを決め、レポートを作成する。

後期は、担当教員の指導の下に、各学生が夏休み中に作成し提出したレポートを素材にして、研究発表と討論を行ない、日中言語比較に関する認識を深めていく。

試 験：レポートと教室における研究発表及び出欠を総合して判定する。

テキスト名：プリント

中国 社会 概 説	なかのけんじ 中野謙二	4 単位
		2～4年
		通 年

中国社会の現実を総合的に考察するが、とりわけ1980年代以後の近代化政策の中で、社会構造や人々の意識がどう変化しつつあるかにポイントをおきたい。そうした観点から、衣食住を中心とする身近かな生活実態にふれ、それぞれが都市と農村において、あるいは地域によってどう異なるかを多角的に捉える。社会主義、民主、人権、あるいは儒教、道教をどう受けとめているかといった政治、思想、文化面にもふれたい。

後半では社会全体の変化を把握するよう心がける。この場合、近代化にともなう潜在失業者、余剰労働力の表面化とその解決策が、大きなテーマとなる。さらにはそれらの底流にある中国の人口問題、産業構造、都市政策の現状をも理解していただく。いずれも「21世紀の大国」中国を知るのに不可欠な話題であり、知識と考える。

試 験：後期末にレポートを提出してもらうが、出席も重視し、しばしば質疑もしくはアンケートで意見発表を求める。

参 考 書：中野謙二 『中国概論』有斐閣
武吉、中野 『現代中国30章』大修館書店

中国 社会 特殊 研究	なかのけんじ 中野謙二	4 単位
		3～4年
		通 年

中国人の生活風景、といった内容にしたい。12億の隣人がどう暮らしているかを、タテ軸とヨコ軸にあわせて考察する。タテ軸というのは、人間の生育過程にあわせた捉え方で、一人っ子政策に始まり、教育、恋愛、結婚から家庭生活へと進み、サラリー、社会保障、医療制度についても理解する。

後半はヨコ軸に移り、正月のお祝いから清明節、端午の節句、夏休み、中秋節、国慶節といった中国の祝祭日を中心に四季の移り変りと、それにあわせての風俗習慣を取り上げる。なかには日本の原形が見られるのも多いので、日中比較を交えたりしてみたい。

試 験：後期末にレポートを提出してもらうが、出席も重視し、しばしば質疑もしくはアンケートで意見発表を求める。

参 考 書：中野謙二 『新北京歳時記』東方書店
中野謙二 『中国社会への散歩』有斐閣

中国 経 済 概 説	かわむらよしお 川村嘉夫	4 単位
		2～4年
		通 年

1842年のアヘン戦争から現在にいたる中国经济史を以下のとおりに概説するが、1949年以降の現代に重点をおく。

(1) アヘン戦争と中国经济 (2) 洋務運動と近代工業の生成 (3) 日清戦争と半植民地経済化 (4) 中国資本主義の成長 (5) 旧農村地主経済と土地革命 (6) 現代中国经济の展開：国营企業の形成と私营企業の改造、農村における土地改革・農業集団化・人民公社化そして家庭経営への変転、都市の工業化と農村工業の進展、社会主義市場経済への改革、国際貿易と多様な対外経済関係。

試 験：後期末に1回のみ行うので、平常の出席を重視する。

参 考 書：河地重蔵他『現代中国经济とアジア』世界思想社、1994年5月。

中国経済特殊研究	川村嘉夫	4 単位
		3～4年
		通年

戦後40数年来の日本と中国の経済関係史について、国際情勢と両国の政治経済状況の中に位置づけながら追ってゆきたい。後半には日中貿易や日本の対中直接投資等に関する論文を、最新の『国際貿易』、『中国対外貿易』誌から選択して講読する。

試験：夏季休暇中にレポートを課し、後期末に試験を行う。

参考書：田中明彦 『日中関係1945－1990年』東京大学出版会、1991年。
古川万太郎 『日中戦後関係史』原書房、1988年。

中国経済演習	川村嘉夫	4 単位
		3～4年
		通年

中国の農業、工業、金融、経済改革、消費・社会生活、旅游、対外経済関係等に関する注目論文を、最新の中国の新聞・雑誌から選択して講読し、現代中国の経済・政治動向の把握につとめる。

試験：前期末に原書訳読の試験、後期末に訳読の試験とレポートの提出を課す。

テキスト名：『人民日報』、『求是』、『新華月報』等から選択する。

中国史	中村義	4 単位
		1～4年
		通年

現代中国を考え、理解するための前提となるように中国歴史の大筋の流れを勉強する。とくに東アジア地域を考慮しながら、すすめて行きたい。

後期は、20世紀中国の歴史を対象として、すすめるが、この間の日中関係史についても注意をして講読したい。

テキスト名：前期はその都度紹介。

後期は未定。

中国 文化 思想 概 説	なか むら なたし 中 村 義	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

中国歴史上、政治、経済、文化等多方面にわたる分野から、様々な活動した人物をとりあげその人物を通して、中国の文化、思想等を勉強する。できるだけ原典、資料を講読するようにしたい。

後期の主旨は前期と同様で、対象とする人物をひろげて行く。

テキスト名：その都度、紹介します。

海 外 華 人 論	さくら い あき はる 桜 井 明 治	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

今日、東南アジア、アメリカ、カナダ、オーストラリア、日本などに海外華人はおよそ二千万人いて、開放政策で外資導入による経済発展を目指す中国に大きな影響を与えている。前期の授業は、海外華人の歴史の講義で、華僑とは何か、華人とは何か、など今日の海外華人問題を考える為の基礎知識を把握する。夏休み期間に、華人問題に関するレポートを提出する。

後期の授業は、担当教員の指導の下に、各学生が夏休み中に作成し提出したレポートを素材にして、研究発表を行い、他の学生達と討論をして、海外華人問題の認識を深めていく。

試 験：レポートと教室における研究発表及び出欠を総合して判定する。

テキスト名：アジア経済研究所発行 原 不二夫編『東南アジア華僑と中国』

中国 政治 外交 概 論	こう ろぎ いち ろう 興 梶 一 郎	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

過去100年の日中関係と中華人民共和国の歴史に焦点をあて、さまざまなトピックを紹介しながら講義を進める。

試 験：小論文

テキスト名：別途指示する。

中国政治外交演習	こう 興 ろぎ 梧 いち 一郎	4 単位
		3～4年
		通 年

過去100年間の日中関係と、中華人民共和国史をテーマに、各種テキスト、資料を読みながら、発表と討論により「中国政治外交概論」で学んだ内容に対する理解を深める。

- 試 験：①研究論文（演習の内容に関連したテーマを選び執筆する。）
②授業中の発表と討論参加

テキスト名：別途指示する。

中国文学概論	かわ 川 しほ 島 いく 郁 お 夫	4 単位
		1～4年
		通 年

中国の小説史、ことに宋代以降主流となった白話小説の発展史を、実際の作品に触れつつ、概観する。授業は一応テキストの排列に従って行うが、内容は必ずしもテキストの範囲にこだわらない。

- 試 験：学年末に試験を実施する。

テキスト名：『中国小説の歴史的変遷』 凱風社

中国文学史	いけ 池 がみ 上 きだ 貞 こ 子	4 単位
		2～4年
		通 年

中国近現代文学の黎明期にあたる清朝末期から90年代の今日までの、主な文学運動やそれらに係わる事項、文学者、作品などについて、認識を深めることを目的とする。主な内容は以下のとおり。清末小説。五四文学革命。魯迅。文学研究会と創造社。語絲と現代評論。革命文学論争。茅盾と新しい作家たち。左翼作家連盟。30年代文学。東北作家。国防文学論争。日中戦争期の文学（国民党支配区。日本占領下。共産党支配区）。文芸講話と人民文学。新中国の成立と政治および文芸批判運動。文化大革命。新時期文学の概要。

- 試 験：授業中の研究発表およびレポートの結果で評価する。

テキスト名：最初の授業の時に指示する。

中国古典講読	<small>みか</small> 坂 <small>い</small> 井 <small>けん</small> 健 <small>いち</small> 一	4 単 位
		3～4 年
		通 年

本年も《史記》を講読する。司馬遷の《史記》が史書であることは言うまでもないことであるが、それに加えて文学書としても秀れたものである。その理由の一つに、人間が描かれていることが挙げられる。古代から現代に至るまで形は変っている漢民族の古代人間像を《史記》列伝から読みとり、中国民族理解の一助とする。今年には《酷吏列伝》《游侠列伝》《佞幸列伝》《滑稽列伝》を読む。

試 験：通年二回講読してもらう。レポート二回提出。その結果で評価する。

テキスト名：中華書局版『史記』（伝）の部をコピーで用意する。

中国近世文学研究	<small>かわ</small> 川 <small>しま</small> 島 <small>いく</small> 郁 <small>お</small> 夫	4 単 位
		3～4 年
		通 年

白話長編小説「金瓶梅」を講読する。作品自体に触れる前に作品成立の背景（作者問題や成立時期など）について簡単に説明する。原文はきわめて難解なので、受講者にはかなり負担がかかることを心得ておくこと。

テキスト名：テキストはプリントを使用する。

中国近代文学研究	<small>いけ</small> 池 <small>かみ</small> 上 <small>ま</small> 真 <small>こ</small> 子	4 単 位
		3～4 年
		通 年

昨年度に続き、日中戦争期における女性作家たちのあり方に焦点をあてて、中国近代文学史の一断面について理解を深める。この時期、作家たちは国民党、共産党、日本のそれぞれの支配下の地域にあって、困難な状況を抱えながら文学活動を行っていた。国民党支配区の謝冰心、蕭紅。日本占領下の張愛玲、蘇青、梅娘。延安にいた丁玲、草明などの女性作家の、その時代に関連のある作品の中から代表的なものを選んで読み、時代と作家の生き方との係わりについて考える。今年度は日本占領下の作家の作品を中心にする。

試 験：授業中の課題および研究発表の結果で評価する。

テキスト名：プリント配付

中国現代文学演習	林 典 ファン 芳	4 単 位
		3～4 年
		通 年

1949年、新中国成立から現在までの中国現代文学の歩みを、歴史の大きな流れの中で捉え、中国の人・思想・社会・文化への理解を文学（映画も含む）の角度から深めていくことを旨とする。

その為に、各時代の代表的な作品（作家）をとりあげ、各自分担して教場で研究発表を行ない、共に研さんを深めていく。

- 試 験：①各自の教場における研究発表
②レポートの提出

テキスト名：プリント

4) スペイン語学科専門教育科目

スペイン語総合講座Ⅰ	ほん だ せい じ 本 田 誠 二 と か ど か ず えい 戸 門 一 衛 やぎ め ま こ う い ち り ゅ う 柳 沼 孝 一 郎	6 単 位 1 年 通 年
スペイン語作文Ⅰ	OLVIDO RODRIGUEZ	2 単 位 1 年 通 年
スペイン語会話Ⅰ	SOCORRO MISAWA あ お し ま い く よ 青 島 郁 代	4 単 位 1 年 通 年

※ 1年生で平成6年度以前に入学した学生は、「スペイン語基礎Ⅰ」を履修して、上記の3科目を履修したものとみなす。

新カリキュラムで「スペイン語基礎Ⅰ」と呼ばれる科目は、従来、「スペイン語総合講座Ⅰ」、「スペイン語作文Ⅰ」、「スペイン語会話Ⅰ」として別々に開設されていた科目を統合し、新たな名称を付したものである。内容に本質的な変化はないが、以前にも増してスペイン語の基本的知識と運用能力の開発における教授法上の整合性が実現している。作文は文法の授業において扱い、会話の授業も一時間は視聴覚教材を使い、変化をもたすように工夫されている。前期は現在時制まで扱うことを一応の目安としている。

後期は、前期授業を引き継ぎ、さらに発展させる。文法においては過去時制及びそれに付随する時制を扱い、接続法と再帰用法、関係詞の使い方まで履修することを目標とする。会話の授業では、基本的な表現方法を身につけ、日常茶飯の会話ができるようになることを目指す。

試 験：少なくとも前期・後期の二回各教員が独自の試験を行なう。

テキスト名：『現代スペイン文法』（文法）（白水社）
『新スペイン語読本』（講読）（芸林書房）
『スペイン語12課』（講読）（白水社）
“Español 2000 (Nivel elemental)”（会話）（SGEL）

スペイン語総合講座Ⅱ	ほんだ とかと やぎぬま たていし 本田・戸門・柳沼・立石	6 単位
	ナバ ロロドリゲス NAVARRO・RODRIGUEZ	2 年
		通 年

<前期>

スペイン語総合講座Ⅰで未修の文法事項を中心に学習し、文法的理解をさらに深め、スペイン語の総合的運用能力を高めることを目的とする。具体的には文法では接続法を中心とした複文や、複合時制を扱う。

講読は一時間を視聴覚教育に当てて、生きた言語学習の一助とする。

<後期>

完全な文法的理解に基づく応用能力の開発が授業の目標である。基本的には前期授業内容の継続と発展となろう。

試験：少なくとも前期・後期の二回、各教員が独自の試験を行なう。

テキスト名：『スペイン語世界への窓（Ⅱ）』（文法）、『スペイン語読本』（講読）

スペイン語作文Ⅱ	みやぎ のぼる 宮城 昇	2 単位
	アルフレッド ロペス ALFREDO LOPEZ	2 年
		通 年

<前期>

1年次に習得した基礎を活用し、新しい文法説明の進捗に合わせながら、スペイン語表現の応用力を養成する。

<後期>

前期と同様、応用力養成のトレーニングに励むが、与えられたテーマについて自由に作文する課題にも挑戦したい。

試験：前期・後期それぞれ試験を行う。

テキスト名：開講時に指示する。プリントも使用する。

スペイン語会話Ⅱ	アンヘル ブラボー ANGEL BRAVO	4 単位
	マリア ホルヘ MARIA JORGE	2 年
		通 年

ANGEL BRAVO

この授業の目的は三つあります。

1. 文法と動詞の学習を更に深める。
2. 書く、聞く、質問に答えるという三分野において学生の能力を高める。そのために、学生は作文を書き、発表が終了したら先生の質問に答える形式を取る。
3. 新聞の小記事を読み、それに関する論評と内容の説明をする。

試験：前期・後期に定期試験を行なう

テキスト名：プリント

MARIA JORGE

* Presentación y práctica de la gramática (por parejas, grupos o a través de preguntas y respuestas).

* Puesta en común y corrección.

* Ejercicios del texto: escritos, de expresión oral y de comprensión auditiva.

- ・文法の説明と練習（ペア又はグループで、又は質疑応答形式にて）行なう。
- ・クラス全体に対して練習のコメントをする。
- ・テキストの練習問題（筆記、口頭、聞き取り）を行なう。

試験：Se tendrá en cuenta la asistencia, así como también la participación en clase (exposiciones orales, ejercicios de composición, etc.) Y la nota del examen.

出席、授業参加（口頭発表、作文練習、etc.）および試験により評価する。

テキスト名：プリント。カセット、コピーも使用。

スペイン語総合講座Ⅲ	こ ぎき とも み 狐 崎 知 己 アルフレッド ロペス ALFREDO LOPEZ	2 単 位
		3 年
		通 年

<前期>

スペイン語総合講座Ⅰ、Ⅱで養成した基礎的言語運用能力をさらに高めることを目的とした上級スペイン語コース。文学、政治、経済思想などの様々な分野のテキストを用いて、語学的側面のみならず、スペイン、ラテン・アメリカ文化の現代的諸相を探る。場合によってはビデオ映画なども用いて教材の多様化を図る。出席は必須の条件である。

<後期>

原則として前期授業の延長と発展である。

試 験：前期・後期ともに筆記試験または口頭試験を行う。

テキスト名：“Esto funciona A”（Bクラス）

スペイン語作文Ⅲ	アンヘル ブラボー ANGEL BRAVO マリア ホルヘ MARIA JORGE	2 単 位
		3 年
		通 年

授業を二時間に分ける。一時間目は日本語をスペイン語に翻訳し、二時間目は学生自身によるスペイン語作文を授業内で添削する。

試 験：前期末および後期末に行なう。

テキスト名：Fundamento de la composición española（Bクラス）

La clase se dividirá en dos partes. La primera parte consistirá en la traducción de oraciones del japonés al español. En la segunda, se corregirán en la clase las composiciones hechas por los alumnos.

スペイン語総合講座Ⅳ	アンヘル ブラボー ANGEL BRAVO きし だい すけ 岸 大 介	2 単 位
		4 年
		通 年

ANGEL BRAVO

授業を二時間に分ける。第一時間目では文法的知識を深め、第二時間目は新聞や雑誌の記事、短編小説や小説の一部分、詩文等を読み、あるいは映画を観て、生徒はその内容を要約し、説明しなければならない。

試 験：前期末および後期末に行なう。

テキスト名：Gracia & Sánchez. Español 2000—Nivel Medio—. SGEL,1993.

La clase dividirá en dos partes. En la primera se profundizará la gramática. En la segunda, los alumnos tendrán que leer artículos de periódicos, revistas, cuentos, capítulos de novelas, poesía, así como ver algo de cine, lo cual tendrá que resumir y explicar en clase.

岸 大介

- ・基本的にはⅣ-Aクラスと同じ。
- ・後期後半にスペイン語の総合能力診断として、一定のテーマについてスピーチをしてもらう。

試 験：前期試験（25％）＋後期試験（25％）＋スピーチ（25％）＋授業参加（25％）＝100％

テキスト名：García & Sánchez. Español 2000—Nivel Medio—. SGEL,1993.

ス ペ イ ン 語 作 文 Ⅳ	き た のぶ たか 喜 多 延 鷹 オスカル メン ドー サ OSCAR MENDOZA	2 単 位
		4 年
		通 年

外国語を学ぶ目的は外国の文物を自国で紹介することであるが、もう一つの目的はせっかく学んだ外国語を使って日本文化を世界に向けて発信することではないだろうか。その訓練のため現代日本文学の翻訳に取り組みたい。平易な文章から選んで、とにかく短編一つをまず完成させたい。

試 験：授業に参加し、積極的に翻訳に挑戦して頂きたい。成績は授業態度による。試験はレポートを主とする。

テキスト名：未定

ス ペ イ ン 語 学 概 論	みや ぎ のほる 宮 城 昇	4 単 位
		2～4年
		通 年

前期では、言語についての一般的な考察から入って、スペイン語の音声（音声と音素、音素と文字、母音素と子音素、音節、抑揚）に触れ、次に統語部門Ⅰ（単文）までを扱う。

後期では、統語部門Ⅱ（複文：従属と等位）、文の種類、品詞（名詞、代名詞、形容詞、冠詞、動詞、副詞、前置詞、接続詞、間投詞）、スペイン語の過去について概説する。

試 験：学年末に筆記試験を行う。

テキスト名：プリント

ス ペ イ ン 語 音 声 学	アナ マリア ANA MARIA デ ミゲール DE MIGUEL	4 単 位
		2～4年
		通 年

<前期>

Objetivo: La asignatura es eminentemente práctica y persigue la adquisición de los hábitos articulatorios correctos del español por parte de los estudiantes. Junto a ello unos mínimos conocimientos teóricos, útiles en la especialidad de lengua.

Dado que no hay libro de texto se facilitará algún material fotocopiado de apoyo. Asimismo se utilizará material audiovisual.

Programa:

1. Fundamentos de Fonética.
2. La sílaba.

<後期>

Idem.

Programa:

3. Fonosintaxis.
4. El acento.
5. La entonación.
6. Fundamentos de Métrica.

試 験：Examen oral: 50%

Examen escrito: 50%

Se efectuarán cada semestre y en tiempo de clase.

ス ペ イ ン 語 史	みやぎのぼる 宮 城 昇	4 単 位
		2～4年
		通 年

<前期>

1. ローマ属領以前のイベリア半島における諸言語。 2. 古典ラテン語から俗ラテン語への移行。
3. 西ゴッド時代におけるイスパニア・ロマンス語。 4. スペイン語におけるアラビア語の要素。 5. 諸方言の発生とカスティリア語の形成。

<後期>

6. 中世スペイン語。 7. 古典スペイン語。 8. 近世スペイン語。 9. 現代スペイン語。 10. アメリカ・スペイン語。

試 験：学年末に筆記試験を行う。

テキスト名：プリント。

アメリカスペイン語特殊研究	ましだいすけ 岸 大 介	4 単 位
		3～4年
		通 年

前期は中南米のスペイン語を、各地域のテレビ番組を集めたビデオや現地調査で集録したインタビューなども含め実証的に紹介していく。

1. Los orígenes del español americano
2. Zonas dialectales en América
3. Fonética (seseo, yeísmo, etc.)
4. Gramática (2 persona del plural, voseo, etc.)
5. Léxico (indigenismos, arcaísmos, etc.)

後期では、前期で学習した基礎知識をもとにして最近発表されたアメリカスペイン語に関する論文を読みながら、より深く考察していく。授業は、受講者の発表形式（グループ又は個人）とする。さらに、各々関心のあるテーマ（アメリカスペイン語の言語現象）についてレポートを提出してもらう。

試 験：前期試験（33%）＋レポート（33%）＋授業参加：出席・口頭発表（34%）＝100%

テキスト名：プリント配付

参 考 書：José G. Moreno de Alba. El español en América. México, 1988.

Zamora Munné & Guitart. Dialectología hispanoamericana. Salamanca, 1982

商 業 ス ペ イ ン 語	みやちたつろう 宮 地 達 郎	4 単 位
		2～4年
		通 年

<前期>

限られた期間内で貿易全部の仕組みを完全に理解することは不可能です。従って受注→発注→信用状取込み→船積み→信用状買取りまでの活動の中で使用される貿易用語を西語、英語、邦文で説明し貿易の仕組みを説明します。教材は実在の商社に入電されてくる西語通信文（主としてFAX）を使用し、受講者はその内容を把握し返事を西文で作成します。更に数多くの商業英文の西語翻訳も実施します。

<後期>

入手した西語商業信用状を英語に転換し、実際に上記商社で使用している送り状、梱包明細書、船荷証券書、保険証券の実物を見ながら銀行提出のための船積み書類を作成します。荷為替手形、信用状買取依頼書も実物を使用して作成します。通常形態の信用状であればそれが英文であれ、西文であれ、その内容を理解し、必要船積み書類を作成、銀行買取りまで出来る即戦力の力をつけることが最終目標です。

試 験：実物の西文商業信用状を見て、要求されている必要書類を作成、銀行買取りまでの作業を行います。

テキスト名：適時、教材を配付します。

時事スペイン語	と 戸 かど かず えい 衛 門 一	4 単 位
		2～4 年
		通 年

新聞、雑誌、ビデオなどマスメディアにあらわれるニュースを素材に、政治・経済・社会に関するテーマを取り上げる。特にNHK衛星放送、国際ニュース「スペインTVE」のホットな映像（リアルタイムに近い、講義日に放送されたもの）を積極的に使用する。ニュースがいかなる意味を持つのか、などの分析・解説、つまり「味付け」は教師が行うが、「隠し味」は学生諸君の関心領域の幅と深さに依存する。本講義をつうじて、我々を取り巻く世界の動向にも目を開いてほしいと望む。前期は映像メディアを多用する。

後期は新聞等の活字メディアに重点を置く。

試験：前期・後期ともに筆記試験を行う。

テキスト名：プリント

スペイン語学演習	オルビド ロドリゲス OLVIDO RODRIGUEZ	4 単 位
		2～4 年
		通 年

- <前期> I. Culture and Cognition
 II. Levi-Strauss: Structuralism
 1. Cognitive universals (anthropological approach)
 2. Primitive classification systems vs. modern systems
 III. Noam Chomsky (linguistic approach):
 1. Theory of grammar
 2. "Structural" features of language (shared by all languages)

- <後期> I. Jean Piaget (psychological approach):
 1. Theory of intellectual growth
 2. Stages of development
 II. L. S. Vygotsky: Culture and cognition (psychological approach)
 1. Higher mental processes
 2. Thinking processes

試験：The grade for the course will be based on the following:

1. Class Participation: 20%
2. Projects and Homework: 50%
3. Mid-term and Final Exams: 30%

スペイン語圏 マス・コミュニケーション論	オルビド ロドリゲス OLVIDO RODRIGUEZ	4 単 位
		3～4 年
		通 年

- <前期> I. Analysis of Movies:
 a. As a reflection of society
 b. As a political element
 II. The Organization of Public Opinion:
 a. Broadcasting as an instrument of power
 b. Selection of topics
 c. Manufactured and distorted news
- <後期> I. Commercial and Political Advertising:
 a. Needs of mass industrial commerce
 b. Desire and commodities
 II. Telenovelas:
 a. Television, production and distribution of "telenovelas" in Latin America
 b. Themes and ratings
 III. Newspapers:
 a. Newspaper audiences
 b. Selection of topics
 c. Space allotted to political/social/cultural/sports affairs

ス ペ イ ン 史	たて いし ひろ たか 立 石 博 高	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

中世から近世にかけての国家と社会の特色を歴史的過程に即して概観する。とくに、キリスト教徒・イスラーム教徒・ユダヤ教徒の「共生」の状況から、キリスト教徒による宗教的統一を基として行なわれた国家統一の負の重みとして、異端審問制度の問題を考察したい。

<後期>

近世から近代にかけての国家と社会の特色を歴史的過程に即して概観する。とくに、18世紀の啓蒙的諸改革と19世紀前半の自由主義「革命」の問題を、ほかのヨーロッパ諸国の近代化の過程との比較において考察したい。

試 験：年2回の定期試験（小論文形式、持ち込み不可）と前期・後期に提出のレポートの結果で評価する。

テキスト名：大内・染田・立石共著『もうひとつのスペイン史』（同朋舎）

R・L・ケーガン著『夢と異端審問』（松籟社）

ラ テ ン ア メ リ カ 史	やぎ むま こういちろう 柳 沼 孝一郎	4 単 位
		1～4年
		通 年

<前期>

以下の内容にそって、コロンブス到達前のいわゆる先コロンブス期のアメリカ大陸古代文明の形成過程をビデオを観ながら解説する。

1)メキシコ・中米高文明地域（メソアメリカ）

オルメカ文化、テオティワカン文化、トルテカ文化、アステカ文化、マヤ文化。

2)中央アンデス高文明地域

チャビン文化、ナスカ文化、シカン文化、ティワナコ文化、インカ文化。

<後期>

イベリア世界と新世界の衝突、新大陸の征服、スペイン領アメリカの植民地統治とその支配機構、植民地社会の形成いわゆる植民地時代について、さらにはスペイン領アメリカの独立過程、新生ラテンアメリカ諸国の近代化への歩みについて解説する。

試 験：前期、後期それぞれレポートを提出する。出席も重視する。

テキスト名：随時プリントを配付する。

日 西 関 係 史	やぎ むま こういちろう 柳 沼 孝一郎	4 単 位
		2～4年
		通 年

<前期>

スペイン帝国の太平洋覇権確立後に展開された日本とスペインの交渉過程を、日本とポルトガルとの関係をふまえながら以下の内容にそって解説し考察する。

1)織田信長の時代と南蛮人

2)豊臣秀吉政権とスペイン領フィリピン

3)徳川家康幕府と旧教国（ポルトガル、スペイン）および新教国（イギリス、オランダ）の関係。

4)支倉常長遣欧使節

<後期>

開国後の新制日本が「条約改正」に苦慮するなかで、外国と締結できた初の対等平等条約である「日墨友好通商航海条約」を契機に日本とラテンアメリカ諸国の外交関係が開始された。20世紀における日本の中南米諸国との外交・政治・経済関係について解説する。

試 験：前期、後期それぞれレポートを提出する。出席も重視する。

テキスト名：適宜、プリントを配付する。

ラテンアメリカ政治史	こ 狐 崎 とも 己	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期> テーマ：ラテンアメリカの形成

- (1) ラテンアメリカの発明
- (2) 世界システムとラテンアメリカ
- (3) 先住民社会とクリオージョ
- (4) プランテーション：砂糖とコーヒーをめぐる政治
- (5) メスティーソの政治性
- (6) ナショナリズムと民族主義、エスニシティ
- (7) 国民国家の形成
- (8) ビデオ

<後期> テーマ：現代ラテンアメリカの諸問題

- (1) 貧困と開発の基本概念
- (2) ポピュリズムの政治経済学
- (3) 革命と変革：米国との関係
- (4) 軍部と政治
- (5) 民主化と人権
- (6) 永遠可能な発展の諸条件
- (7) 先住民と女性
- (8) ビデオ

試 験：前期に書評3冊、後期に論述試験を行う。

テキスト名：一回目の講義で参考文献リストを配布し、解説を加える。

現代スペインの諸問題	と 戸 門 かど かず えい 衛	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

<前期>

南欧スペインで進行している政治・経済・社会面における、さまざまな「実験」を解明し、それが我々の生きる日本社会に何を問いかけているのか考えたい。

具体的には、①《政治》独裁体制から民主主義への移行、社会労働党政権の成立、今日スペインが直面する問題（地方分権、テロリズムなど）、②《経済》経済構造の特徴、EC加盟とEUに向けた調整など、③《社会》失業、女性の社会進出など、の現代問題を分析する。

<後期>

現代スペインの諸問題に関するスペイン語文献（英語版を用意するので他学科学生も履修可能）を読みながら、解説を加える。時にビデオも使用する。予習、諸テーマについての討論など、学生の積極的な対応が必要である。

試 験：十分な出席回数を満たした学生に、前期・後期それぞれ原稿用紙（400字）10枚程度のレポートを提出してもらおう。筆記試験はない。

テキスト名：教科書、参考文献は授業中に適宜、指示する。プリントは配布する。

ス ペ イ ン 美 術 史	セルヒオ ナバロ SERGIO NAVARRO	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

古代から20世紀に至るまでのイベリア半島（スペイン及びポルトガル）の美術史入門。各々の時代の代表的な絵画、彫刻、建築の特徴を時代背景と共に解説（スライド付）。ラテン・アメリカの美術史についても触れる予定。（用語は平易なスペイン語）

試 験：レポート提出。

テキスト名：プリント使用

メキシコ特殊研究	ソコローロ ミサワ SOCORRO MISAWA	4 単位
		2～4年
		通年

この科目の主な目的は、メキシコの文化・歴史を概観することです。具体的には、メキシコの先コロンブス期、植民地時代、独立時代にわたる歴史の大きな流れを学び、又、各時代の様々な面から代表的な美術、建築、宗教、思想、習慣等を選んで、参加者と共に考察したいと思います。講義や会話は、スペイン語で行ないます。スペイン語を実際に使って、会話や作文の能力を向上したい学生を歓迎します。また、クラスでは、ビデオやスライドを利用する予定です。

テキスト名：プリントを用意します。

スペイン・ラテンアメリカ思想演習	アンヘル ブラボー ANGEL BRAVO	4 単位
		3～4年
		通年

授業を二時間に分ける。一時間目はラテンアメリカ諸国とスペインの最も重要な思想系統について説明する。二時間目は、学生に授業の内容と関連した何らかのテーマに基づいたレポートを作成してもらい、その発表を行なう。

単位の認定には以下の条件を満たすことが要求される。

- A) 一つ、あるいはそれ以上のレポートの発表を行なうこと。
- B) 授業の80%以上に出席をすること。
- C) 学年末にレポートを提出すること。

あるいは、

- A) 一つ、あるいはそれ以上のレポートの発表を行なうこと。
- B) 前期、後期末に試験を受ける。

La clase se dividirá en dos periodos. En el primero se explicarán los temas más importantes del pensamiento iberoamericano y español. En el segundo, los alumnos harán la exposición de un trabajo relacionado con el contenido de la clase.

CONDICIONES PARA APROBAR LA ASIGNATURA COMO SEMINARIO:

- A) Hacer la o las exposiciones que a cada alumno le corresponda.
- B) Tener como mínimo el 80% de asistencia.
- C) Hacer un informe final.

OTRA MODALIDAD:

- A) Hacer la o las exposiciones que a cada alumno le corresponda.
- B) Al final de cada semestre un examen.

テキスト名：プリント

スペイン・ラテンアメリカ文化特殊研究	アンヘル ANGEL	ブラーボ BRAVO	4 単位
			3～4年
			通年

授業を二時間に分ける。一時間目はスペインとラテンアメリカ諸国の文学、絵画、映画等の分野においての文化的概観を説明する。二時間目は、学生に授業の内容と関連した何らかのテーマに基づいたレポートを作成してもらい、その発表を行なう。

単位の認定には以下の条件を満たすことが要求される。

- A) 一つ、あるいはそれ以上のレポートの発表を行なうこと。
- B) 授業の80%以上に出席をすること。
- C) 学年末にレポートを提出すること。

あるいは、

- A) 一つ、あるいはそれ以上のレポートの発表を行なうこと。
- B) 前期、後期末に試験を受ける。

Esta clase se compondrá de dos partes. En la primera se explicarán los temas principales de la culture española e iberoamericana en los campos de: literatura, pintura, cine, etc. En la segunda, los alumnos tendrán que hacer la exposición de un trabajo relacionado con el contenido de la misma.

CONDICIONES PARA APROBAR LA ASIGNATURA COMO SEMINARIO:

- A) Hacer la o las exposiciones que a cada alumno le corresponda.
- B) Tener como mínimo el 80% de asistencia.
- C) Hacer un informe final.

OTRA MODALIDAD:

- A) Hacer la o las exposiciones que a cada alumno le corresponda.
- B) Al finalizar cada semestre un examen.

テキスト名：プリント

ス ペ イ ン 経 済 演 習	と 戸 <small>かど</small>	か ず <small>かず</small>	えい <small>えい</small>	4 単位
	門 <small>かど</small>	一 <small>かず</small>	衛 <small>えい</small>	3～4年
				通年

<前期>

この授業は一般的な講義とは異なり、学生が主体的に参画するゼミナールである。ゼミ生による発表、教師による解説、研究小論文の提出の3要素から成る。

前期は「EU統合に直面するスペイン経済の諸断面」を、一般論としての地域統合の中に位置付けて、分析するとともに、スペイン経済の構造的・機能的特徴を理解する。

<後期>

後期では、労働力の産業・地域分布、失業の実態、労働運動、労働組合、労働制度改革など、労働問題を通じてスペインがEU経済通貨統合に向けて、いかなる対応を図っているのか分析する。

試験：平常のゼミへの取り組み姿勢、研究発表、小論文などを総合的に評価して、単位認定を行う。

テキスト名：ゼミ開講時に指示するが、日本語プリントを多用する。

ラテンアメリカ史演習	やぎ 柳	ぬま 沼	こういちろう 孝一郎	4 単位
				3～4年
				通年

<前期>

“Historia de América Latina”の読みを通して、以下のラテンアメリカ世界の歩みについて考察し、検討してゆく。

- 1) Culturas de la América prehispanica: Mesoamérica, Culturas andinas preincaicas, La civilización Inca.
- 2) La América española (siglos XVI–XVIII): Exploración y conquista de Hispanoamérica, La América borbónica.
- 3) La América contemporánea: La independencia y sus problemas, Del caudillismo a la modernización, El siglo XX.

<後期>

ゼミ生は各自の研究テーマを前期中に決定する。したがって、後期は、ゼミ生各自の研究テーマについての発表が中心となろう。司会・進行係を持ち回りにして、研究発表ごとに質疑応答を行い、検討をくわえながら授業を進めていきたい。

試験：平常の取り組み姿勢、研究発表、各自の研究テーマに関する小論文等によって総合的に評価する。

テキスト名：Germán Vázquez y Nelson Martínez Díaz, “Historia de América Latina, SGEL (Sociedad General Española de Librerías, S.A.).

スペイン文学史	ほん 本	だ 田	せい 誠	じ 二	4 単位
					2～4年
					通年

本年度は13世紀から17世紀後半に及ぶ『スペイン文学史』講義の前半（中世からルネサンス期13C初頭～16C前半）を扱う年に当たる。従って初期の『わがシッドの歌』からラス・カサス辺りまでを扱う予定である。前期に扱う作家・詩人は以下の通り。ベルセオ、ファン・ルイス、ドン・ファン・マヌエル、ディエゴ・デ・サン・ペドロ。なお授業は一方的な講義ではなく、各自の研究発表と討論形式で行なう。

後期に扱う作家はフェルナンド・デ・ロハス、ガルシロドリゲス・デ・モンタルボ、カルシラソ・デ・ラ・ベーガ、ファン・デ・バルデス、ラス・カサス等である。授業形式は前期に同じ。

試験：前期・後期の二回、筆記試験を行なう。

テキスト名：プリント

現代スペイン文学	き 喜	た 多	のぶ 延	たか 鷹	4 単位
					3～4年
					通年

テキストは未定だが、今スペインで最も読まれている作家の一人、ミゲル・デリーベスの作品から選んで読んでいきたい。文学作品の翻訳技術もテーマである。

試験：年度末に一回試験を行う。その他授業への取り組み方で評価する。

現代ラテンアメリカ文学	くわ 桑 な 名 かず 一 ひろ 博	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期>

ラテンアメリカ文学の歴史を概観した後、20世紀後半になって輩出した小説家について詳述する。前期は主として Jorge Luis Borges と Juan Rulfo を扱う予定で、テキストの講読を通して、その文学世界を検討する。

<後期>

後期は García Márquez , Vargas Llosa, Carlos Fuentes など現在活躍中の作家をとりあげる。前期と同様、短編小説の講読を中心にしながら講義を進める。

試 験：レポート、筆記試験

テキスト名：プリント使用

ラテンアメリカ文学特殊研究	くわ 桑 な 名 かず 一 ひろ 博	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期>

Modernismo とはいかなる運動であったかを、代表的な詩人たちの作品を通して概観した後、彼らの散文作品を読む。

<後期>

Modernismo の影響を受けて育った Horacio Quiroga、Valle-Inclán、Enrique Larreta などの小説を検討することで、Modernismo がスペイン語圏の20世紀文学に対して持つ意味にふれる。

試 験：レポート、筆記試験

テキスト名：プリント使用

スペイン文学演習	ほん 本 だ 田 せい 誠 じ 二	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期>

この授業は、スペイン黄金世紀文学の研究を目的とするゼミ科目で、本年度は16世紀後半にスペインで流行をみた牧歌小説の源となったホルヘ・デ・モンテマヨールの『ラ・ディアナ』を原文で読み、その内容の把握に努める。

<後期>

『ラ・ディアナ』と後の牧歌小説及びそれ以前の牧歌文学を比較対照し、その文学史の意味を考える。さらに牧歌文学に関する諸論文を読み、ゼミ論を書くための論文指導も行なう予定。

試 験：前期は翻訳をもって試験とし、後期はゼミ論文の提出をもって単位の認定をする。

テキスト名：プリント

5) 韓国語学科専門教育科目

韓国語総合講座Ⅰ	キム 俊 金 東 はま の うえ 浜 之 野 かん かの 菅 ナ の ナ 野 羅 ヲ クォン スク 権 チェ 在 淑 淑	6 単 位
韓国語作文Ⅰ		1 年 年
韓国語会話Ⅰ		2 単 位
		1 年 年
		通 年
		4 単 位
		1 年 年
		通 年

※ 1年生で平成6年度以前に入学した学生は、「韓国語基礎Ⅰ」、「韓国語基礎Ⅱ」を履修して、上記の3科目を履修したものとみなす。

<韓国語基礎Ⅰ>

5月中旬まで韓国語の文字と発音の基礎を集中的に学ぶ。その後、1)文法を中心に学ぶ授業を週2回、2)作文を中心に学ぶ授業を週1回、3)会話を中心に学ぶ授業を週3回、という構成で行なっていく。

なお、会話の授業では、個々の音、語、文の各レベルでの発音を体得させるために、授業の半分ほどはLL教室で行ない、聴取力・発話力・文法の運用能力を徹底的に練習する。

試験：履修内容について、随時試験を行なうほかに、約400語の単語テストも実施する。

テキスト名：『朝鮮語の入門』（白水社）、『朝鮮を学ぼう』（三修社）、『韓国語入門』（金東俊著）、『基礎朝鮮語—文法と作文—』（白帝社）、『基礎朝鮮語—会話編—』（白帝社）、『コスモス朝和辞典』（白水社）

<韓国語基礎Ⅱ>

「韓国語基礎Ⅰ」の授業内容を継続して行なう。ただし、文法の授業においては、入門書を11月中旬に終え、その後、やさしい文章の読解を行なう予定である。

試験：履修内容について随時試験を行なうほかに、約850語の単語テストも実施する。

テキスト名：『韓国語初級読本』

韓国語総合講座Ⅱ	はまなか のぼる かの ひろおみ 濱中 昇・菅野裕臣	6 単位
	と さまさ き 土佐昌樹	2 年
		通 年

語彙と文法の知識の整理をしながら、様々なジャンルにわたる読み物の読解を行なう。

試験：履修内容について随時試験を行なうほかに、約2,000語の単語テストも実施する。

テキスト名：『韓国語初級読本』、プリント

韓国語作文Ⅱ	はまのうえ みゆき 浜之上 幸	2 単位
		2 年
		通 年

<前期>

前半は1年次の教材の残りの部分を練習する。後半は、よく用いられる体言語尾、用言語尾、分析的形式が含まれる文章の作文練習を行なう。

<後期>

前半は、前期に引き続いて、様々な形式を用いた作文練習を行なう。後半は、テーマ別の自由作文練習を行なう予定である。

試験：履修内容について定期試験（学期ごとに2回ずつ）を行なう。

テキスト名：『基礎朝鮮語－文法と作文－』（白帝社）、プリント

韓国語会話Ⅱ	キム ドン ジョン クォン 東 俊 権 チェ スク 在 在 淑	4 単位
		2 年
		通 年

LL教室を利用して、対話音声の強弱高低などリズムに慣れさせ、対話文の音声を総体的に捕らえてその意味・感情を理解し、これに対する適切な内容の受け答えを自然な発音で表現できるよう練習を積み重ねる。なお、会話でよく使われる文末の多様な表現形式・単語の選択・語句のつながりなどを重点的に学習する。

試験：平常時の成績と各期末試験の成績を合算して評価する。

テキスト名：『スタンダード・ハンゲル講座①（会話編）』（大修館書店）

プリントも併用する。

韓国語総合講座Ⅲ	かん 野 ひろ おみ 管 野 裕 臣	2 単 位
		3 年
		通 年

難易度 2～3 の韓国の随筆、シナリオ、雑文を選んで言語学的に読解する。

難易度 4～6 の韓国の随筆、小説などを選んで言語学的に読解する。

試 験：平常時間内に実施する。

テキスト名：未定

韓国語作文Ⅲ	クォン チェ スク 権 在 淑	2 単 位
		3 年
		通 年

韓国語と日本語の類似点・相違点に着目しつつ、①課題文の韓国語訳、②与えられたテーマによる自由作文、の2つの訓練を積み重ねることにより、韓国語の〈書く〉力を養う。口頭での作文練習も併せて行なう。

試 験：随時試験を行なう。

テキスト名：プリント

韓国語総合講座Ⅳ	はまのうえ みゆき 浜之上 幸	2 単 位
		4 年
		通 年

<前期>

現代韓国語における会話体特有の表現を学ぶことを目的とする。昨年度の韓国語総合講座Ⅲに引き続き、韓国語のテレビドラマのシナリオを、ビデオテープを見ながら読み進んでいく予定である。

<後期>

文法、語彙、文体等の面で高度な内容の文章を分析できるようになることを目的とする。現代韓国語で書かれた短編小説を読み進んでいく予定。

試 験：履修内容について定期試験（年2回）を行なう。

韓 国 語 作 文 IV	クォン 権	チュ 在	スク 淑	2 単 位
				4 年
				通 年

韓国語と日本語の類似点・相違点に着目しつつ、作文の訓練を通じて韓国語の高度な表現力を養う。①課題文の韓国語訳、②与えられたテーマによる自由作文、の2つを授業の主たる柱とする。口頭での作文練習も併せて行なう。

試 験：随時試験を行なう。

テキスト名：プリント

韓 国 語 学 概 論	キム 金	ドン 東	ジュン 俊	4 単 位
				2～4 年
				通 年

現代韓国語の音韻、語彙、文法、意味論、敬語法等についての概観を解説し、現代韓国語全般にわたる基礎知識を習得させる。

試 験：平常時の成績と期末試験の成績を合算して評価する。

テキスト名：（後日指定する）

韓 国 語 音 声 学	キム 金	ドン 東	ジュン 俊	4 単 位
				2～4 年
				通 年

一般音声学および音韻論の基礎を概説しながら、現代韓国語の音声を分析し、さらに音韻論へ進む予定。講義は個々の語音から文のイントネーションに至るまで、なるべく豊富な例でもって実験的、実践的に行ない、理論の習得ばかりでなく、正確な発話力と聴取力を向上させたい。

試 験：平常時の成績と期末試験の成績を合算して評価する。

テキスト名：（後日指定する）

韓 国 語 文 法 論	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	4 単 位
			2～4 年
			通 年

<前期>

現代韓国語の文法体系に関する基礎的な知識が得られるように、「コスモス朝和辞典」の“文法概説”を解説しつつ、そこから派生する問題についても考えていく。前期は、1) 単語の造語的要素、2) 単語の文法的要素、3) 品詞分類の方法、4) 正格用言と変格用言についての注意事項、5) 体言語尾の意味＝機能などについて解説する予定である。

<後期>

前期と同じ方針のもとに、1) 指示詞の用法、2) 用言の文法範疇、3) 用言の終止形のパラダイム、4) 用言複合形の諸相、5) 動詞、名詞のクラス分類などに焦点を当てて解説する予定である。

なお、前後期を通じて、一般言語学的な概念や術語に言及することになるので、言語学的な見方に関心のある学生の参加を歓迎する。

試 験：前期はレポート提出、後期は論述試験を行なう。

テキスト名：『コスモス朝和辞典』、プリント

韓 国 語 史	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	4 単 位
			3～4 年
			通 年

<前期>

“訓民正音”創製直後の15世紀の文献を読み進みながら、その当時の文字・音韻・文法などの体系を明らかにしていく。

<後期>

前期からの内容が終わった段階で、15世紀に至るまでの、韓国語の成立過程、表記法の諸相、系統論に関する問題点等を概観し、最後に、16世紀以降今日に至る韓国語の歴史的な変化の様相を示す。

試 験：履修内容について定期試験（年2回）を行なう。

テキスト名：劉昌惇著『李朝語辞典』延世大学校出版部。

志部昭平著『三綱行実図研究』汲古書院（コピーを配付する）。

プリント

韓 国 語 学 演 習	キム 金	ドン 東	ジョン 俊	4 単 位
				3～4 年
				通 年

前半は、現代韓国語の語彙、文法、敬語および日本語と韓国語の対照研究等の論文（日本語で書いたものと韓国語で書いたもの）を読んだ後、各々興味のある研究テーマを決めて、共同で韓国語で書かれた随筆や小説を読みながら用例を集めてみる。

後半は、作品の範囲を広げて多様な用例を収集し、自分のテーマについて情報や知見を中間報告をしながら結論をまとめていく。

試 験：平常時の成績とレポートで評価する。

テキスト名：韓国代表短編文学選

日韓対照言語研究Ⅰ	キム 金	ドン 東	ジョン 俊	2 単位
				2～4年
				前期

日本語と韓国語の音韻、語彙、文法（特に助詞）等を対照研究し、それぞれの異同を考察する。
なお、語彙や助詞の用法・意味の相違を確認する。

試験：レポートと期末試験で評価する。

テキスト名：プリント

日韓対照言語研究Ⅱ	キム 金	ドン 東	ジョン 俊	2 単位
				2～4年
				後期

日本語と韓国語の文法、敬語法、文末表現について対照研究し、それぞれの異同を考究、確認する。

試験：レポートと期末試験で評価する。

テキスト名：プリント

韓 国 史 概 論	はま 濱	なか 中	のぼる 昇	4 単位
				2～4年
				通年

<前期>

韓国史（近代以前）に関する基礎的な知識の習得を主な目的として、およそ、次のテーマで講義する。

1. 古朝鮮 2. 高句麗 3. 百済 4. 新羅の台頭と加羅諸国 5. 新羅の統一と発展 6. 高麗の成立
7. 高麗郡県制と民衆支配 8. 高麗支配体制の動揺 9. モンゴルの支配と高麗の滅亡 10. 朝鮮王朝の
成立 11. 士禍・党争 12. 英・正時代 13. 世道政治。

<後期>

韓国近現代史に関する基礎的な知識の習得を主な目的として、およそ、次のテーマで講義する。1. 大院
君政権 2. 閔氏政権の成立と開国 3. 壬午軍乱 4. 甲申政変 5. 甲午農民戦争 6. 乙巳保護条約
7. 三・一運動 8. 独立運動の進展 9. 十五年戦争下の朝鮮 10. 南北分断 11. 朝鮮戦争 12. 分断
下の朝鮮民主主義共和国 13. 分断下の大韓民国

試験：期末試験を行なう。

テキスト名：金兩基監修『図説・韓国の歴史』（河出書房新社）

日 朝 関 係 史	はま 濱	なか 中	のぼる 昇	4 単 位
				3～4年
				通 年

<前期>

前近代の日本にとって、朝鮮（韓国）とは何であったか。このような観点から、およそ次のようなテーマで古代日朝関係史を講義する。1. 七支刀銘文 2. 広開土王碑文 3. 『宋書』倭国伝 4. 日本古代国家の形成と古代朝鮮。

<後期>

およそ次のようなテーマで中世及び近世日朝関係史を講義する。1. 中世日本の朝鮮観 2. 14世紀後半の倭寇 3. 15・16世紀の日朝関係と対馬 4. 壬辰・丁酉倭乱 5. 柳川始末 6. 近世華夷秩序と朝鮮。

試 験：期末試験を行なう。

テキスト名：プリントを使用する。

韓 国 近 代 史	チョウ 趙	ケイ 景	タツ 達	4 単 位
				3～4年
				通 年

<前期>

李朝後期から甲申政変に至るまでの政治過程に留意しつつ、開化思想の形成と展開を跡づけてみる。西欧文明の受容を進めたとはいえ、開化思想は伝統の刻印を強く押されている。しかし、かえってそうであるがゆえに、開化思想は問題性とともにも可能性をも内在させている。日本との比較をもまじえつつ、そのことをみなさんとともに考えてみたい。

<後期>

前期を受けて、甲申政変後から三一運動後に至るまでの政治・思想過程をたどってみる。特に安重根や申采浩の思想にスポットをあて、彼らが自らの民族主義や国家主義をどのように形成し、しかも単なるそれをいかに克服していったかを考えていきたい。

試 験：学年末にレポートを提出してもらう。

参 考 書：『改訂版 朝鮮の歴史』（1995年、三省堂）

韓 国 史 特 講	はま 濱	なか 中	のぼる 昇	4 単 位
				3～4年
				通 年

<前期>

正倉院所蔵のいわゆる新羅村落文書に関する内外の研究を批判的に紹介することを通して、統一新羅時代の村落制度・家族制度を考察する。

<後期>

高麗郡県制度に関する内外の研究を、批判的に紹介することを通して、高麗の歴史的位置を考察する。

試 験：期末試験を行なう。

テキスト名：プリントを使用する。

韓 国 の 政 治 経 済	なか がわ まさ ひこ 中 川 雅 彦	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

南北朝鮮の時事的な政治経済問題についてソウル側を中心に講義する。

<後期>

南北朝鮮の時事的な政治経済問題についてピョンヤン側を中心に講義する。

試 験：講義のなかで随時文献を示し、レポートの提出によって採点する。

韓 国 文 化 概 論	と き まさ き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

<前期>

韓国文化の諸相について文化人類学的な視点から講義する。映像資料なども用いながら、個々のテーマについてできるだけ具体的な理解が得られるようにする。また同時に、東アジア文化圏やグローバリゼーションとの関連を視野に入れ、韓国文化に対する多元的な理解を追求する。

<後期>

内容面では、前期の継続となる。宗教やナショナリズムなどのより高度なテーマを扱い、韓国文化に対する深い認識を目指す。

試 験：レポートと論述試験

韓 国 文 化 演 習	と き まさ き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

韓国文化のなかから特定のテーマを取り上げ、それに対する深い専門的知識と多元的な分析視角を身につけることを目指す。授業はセミナー形式で行ない、まず該当テーマについてのテキスト（日本語および韓国語）の読解を中心に行ない、次の段階として学生が準備した個別的な発表をもとに進めることとする。授業では、参加者各人が活発に議論を戦わせることが何よりも期待されている。

試 験：レポート

日 韓 比 較 文 化 論	と き ま き 樹 土 佐 昌 樹	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

日本と韓国の文化について比較的な視点から論じたテキストを毎週一冊の割合で取り上げ、その内容と方法を批判、分析する。授業は学生による発表と討議を中心に進めることとする。

試 験：レポート

韓 国 言 語 文 化 概 論	ア ン ウ シ ッ 安 宇 植	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

<前期>

金東仁、玄鎮健、李孝石、兪鎮午、李泰俊ほか韓国の近代文学を築いてきた代表的な作家の短編小説を読んで、文体の変遷とその特徴を探りたい。

<後期>

金東里、黄順元、孫昌涉、崔仁勲、金承鈺、李清俊、尹興吉ほか1950年代から90年代まで韓国の現代文学を支えてきた代表的な作家の短編小説を読んで、文体の変遷とその特徴を探っていくたい。

試 験：前、後期ともレポートと翻訳。

テキスト名：プリント

韓 国 文 学 史	ア ン ウ シ ッ 安 宇 植	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

<前期>

新小説に代表される近代前夜の文学から、日本の植民地統治下の1945年8月15日までの、近代文学の流れと文学運動、そして文学者たちの動向を見ていきたい。

<後期>

1945年8月15日以後の左右のイデオロギーの対立による文学分野における南北への分裂と、その後の両地域における文学の営みの変遷などを、韓国現代文学の流れを軸に見ていきたい。

試 験：レポート（前、後期とも）

テキスト名：プリント

原 書 講 読	クォン 権	チェ 在	スク 淑	4 単 位
				2 ~ 4 年
				通 年

韓国語の散文と詩を講読する。様々な文体のテキストを厳密に〈読む〉ことを通して、韓国語の広さと深さを味わいたい。

試 験：随時試験を行う。

テキスト名：プリント

〔3〕教職科目

教育原理 A・B	ぬまのいちお 沼野一男	2 単位
		2 年
		前期

教職を志すものの基礎的能力の習得を目標として、現代の学校教育に関する諸問題を考察する。具体的には、教育と学習、学校教育と生涯学習、教育の方法、職業としての教師という問題を取り上げるが、詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布する。

なお、教育に対する興味・関心の喚起と学習方法の習得を重視して、テキストによる自学と教室での質疑応答によって授業を行うので、それに耐えられる意欲のある学生の受講を希望する。

試験：期末試験は行わない。評価には質問票、レポートなどの提出物および授業への参加度を考慮する。

テキスト名：沼野一男他『教育の原理』学文社

沼野一男『情報化社会と教師の仕事』国土社

教育原理 C・D	あずまとしのり 東敏徳	2 単位
		2 年
		前期・後期

教育ほど人の一生の中で大事なことは数少ない。そうであるならば、教育に携わる教師という仕事もはかり知れない大事さを持つ仕事である。本講義では教師を志す際に必要な知識や技能の習得を目標としている。しかしたんに知識を増やすだけでは不十分である。私たちは現代の学校教育の中で生じている様々な問題の解決に有用な知識を持たなくてはならない。そのためには、現象面での知識を拡充するとともに、その知識の理論的整理が必要となる。授業においては教育に関する具体的問題について互いに意見を交換し、それぞれの主張の正当性を確認していくことを通じてこれらを学ぶ。

試験：評価は授業中のレポート、テスト、および平常の授業の出欠席の状況などを勘案して行う。

テキスト名：教室で指定する

教育心理学 A・B	たはらしんじ 田原俊司	2 単位
		2～3年
		後期

本講義は、1)生徒の諸問題（非行、校内暴力、「いじめ」、不登校、高校中退、薬物乱用など）の現状と特徴、2)諸問題を引き起こすに際して生徒に生じる心理的メカニズム、3)生徒の諸問題に対する取り組みの基本的視点、4)具体的指導方法・対策の検討を通じて、生徒の精神発達のメカニズム・発達段階を理解することを目指している。

試験：レポート試験を実施する。

テキスト名：『いじめ相談室ーベテラン教師からのメッセージ』田原俊司（編著）1991、八千代出版

教 育 行 政 学	おか ぼやし たかし 岡 林 隆	2 単 位
		2～4年
		前 期

現代の社会は、法律がもとになって動いている。一見関係がないように思われる教育でも、その背景には、法律、行政の制度があって毎日の教育活動が行われている。これらについての基本的な知識を身につけて初めて良き教育者となる事が出来る。そこに教育行政や教育法規を学ぶ必要性が出てくる。

講義では、学校教育に必要な基礎的な法律、制度の仕組みを中心に、具体的な問題にも触れ、教育行政についての体系的な知識の修得を目指すことにする。

第一回目の講義において、最終回までの講義スケジュールを示す予定。

試 験：期末試験として、予め出題する小論文問題と択一あるいは穴埋め問題の計2題を出題する。

テキスト名：霜鳥秋則著『テキスト教育行政入門』第一法規出版、菱村幸彦著『やさしい教育法規の読み方』教育開発研究所、『教育関係法令集』（第一法規、学陽書房、ぎょうせい等から出版されているので、そのうちどれでもよい。）必要に応じてプリントを配付する。

教 育 社 会 学	あら い てる お 荒 井 昭 雄	2 単 位
		2～4年
		後 期

教育社会学の基礎理論を学び、現代教育の諸問題を教育社会学の視点から分析し、教育の社会的使命と役割について考えさせ、教員になるための資質を育成する。

講義内容としては、教育社会学とは、学校教育の発達と拡大・学歴社会・問われている学校教育・教師たちの現在・現代家族と子どもの教育・現代社会の中の青少年・教育改革の方向－生涯学習論を中心に、を考えている。

講義と課題研究、発表、討議を併用する。

試 験：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点、及び出席率も考慮して評定を行う。

テキスト名：新堀通也・加野芳正著『教育社会学』玉川大学出版部

教 育 工 学	ぬま の いち お 沼 野 一 男	2 単 位
		2～4年
		後 期

現代の科学と技術の進歩は、さまざまな新しい教育の方法とそれに利用される多様な教育メディアを生み出している。この授業では教授工学の理論を紹介するとともに、それに基づく授業設計の理論と技術、授業の展開、教育メディア、教育におけるコンピュータ利用、教育の評価等を取り上げる。

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布するが、授業はテキストによる自学と教室におけるVTRの視聴および質疑応答を重視するので、意欲のある学生の受講を希望する。

試 験：期末試験は行なわない。評価は質問票、レポートなどの提出物および授業への参加度による。

テキスト名：沼野一男他『教育の方法・技術』学文社

教材開発論	沼野一男	2 単位
		2～4 年
		後 期

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布するが、この授業では授業設計の目的、意義、技術について学ぶ。また、具体的な授業を想定して授業目標の明確化、目標行動の論理分析、コースアウトラインの決定、教授フローチャートの作成、教材の作成等の演習を行う。

演習は2～4名のグループで行うが、希望するグループはCAIのコースウェアのスク립ト（台本）の作成に挑戦することもできる。実践的な興味のある学生の受講を希望する。

試 験：期末試験は行わない。評価は質問票、レポート、グループ演習の結果、および授業への参加度による。

テキスト名：沼野一男他『教育の方法・技術』学文社
沼野一男『情報化社会と教師の仕事』国土社

コンピュータの教育利用	田原俊司	2 単位
		2～4 年
		後 期

本講義は、コンピューターのプロログラム言語の一つであるC言語の基本的習得が到達目標である。自分の作ったプログラムをパソコン上で動かすことができるようになることを目指す。さらに、C言語を用いて、推測したり予測したりするための統計的方法について検討し、データを解析することを目的とする。講義内容として、確率モデル、確率分布、標本分布、統計的推論、検定と推定の実際などの統計が中心となる。

試 験：プログラムの作成による試験を実施する。

テキスト名：『100万人のC言語』（上・下）高作義明 技術評論社 1990

英語科教育法A・B・C・D・E	佐々木輝雄	4 単位
		3 年
		通 年

前期は我が国の英語科教育課程の歴史を追いながら英語教育の変遷を理解し、これからの英語教育の在り方を探る。後期は指導の背景の理論を大切にしながら、より実践的な学習指導を考える。そのため、中学校及び高等学校別に実際の教科書教材に基づいて学習指導案を作成し、模擬授業を中心に具体的に考える。前期後期を通じて各種の理論に基づいて具体的な指導を体験的に理解し、英語教育の将来を展望する。

試 験：学習指導案などのレポート提出を主とし、後期定期テストで総合的な試験を行う。

テキスト名：『新旧学習指導要領の対比と考察』佐々木輝雄著
『中学校指導書－外国語編』文部省
『高等学校学習指導要領解説－外国語編・英語編』文部省
テキストの他にプリントを適宜使用する。

中国語科教育法	こ 児 だ ま 玉 けい 啓 こ 子	4 単 位
		3 年
		通 年

本講義では、高等学校の生徒に対する中国語講義のあり方を摸索し、実際に教職を希望する皆さんと次の点について学んでいきます。

(1)日本における中国語教育の歴史、(2)中国語教育法の変遷、(3)中国語教育の目標と課題、(4)中国語について(中国語の発音・語彙・文法)、(5)教材と教材研究、(6)学習指導案作成、(7)模擬演習、(8)評価及び測定。

前期は主に理論面について学び、後期は実際の授業を想定した模擬演習を実施します。授業開始時にシラバスを配布します。

試験：受講者はシラバスに沿って毎回レポートを提出し、口頭発表、課題提出の点数と口頭発表により総合的に評価。

テキスト名：参考資料のリストを講義時に配付。

スペイン語科教育法	ほん 本 だ 田 せい 誠 じ 二	4 単 位
		3 年
		通 年

高校のスペイン語課程の授業を担当する能力を養うことを目的とする科目である。スペイン語を教える際の方法を、比較言語学的側面(日本語、英語との比較)を重視して教授する。授業では各自が研究した箇所を模擬授業の中で検証し、よりよいスペイン語学習の方法を探っていく。なおこの授業は実習と討論の二つが柱となっており、積極的な参加が求められる。

後期は前期授業をさらに発展させ、試験作成と評定の実習を行なう。

試験：前期は各自の発表による評定とし、後期はレポートによる。

テキスト名：プリント

韓国語科教育法	はまの うえ 浜之上 みゆき 幸	4 単 位
		3 年
		通 年

<前期>

本講義では、高等学校の韓国語授業を行なう際に必要な能力を養うことを目的として、主に以下のことがらを行なう。

- 1)日本における韓国語教育の現状
- 2)「朝鮮語の入門」の教師用マニュアルの解説
- 3)韓国語教師が知っておくべき言語学的知識

<後期>

前期に引き続き、以下のことがらを行なう。

- 1)日本における現行の韓国語入門教材の比較検討
- 2)望ましい入門教材のあり方
- 3)学生の到達度評価の方法
- 4)模擬授業による実際の教室運営
- 5)外国語の学習ストラテジー

試験：前期は履修内容について試験を行なう。後期は、レポートと模擬授業の内容により総合評価する。

テキスト名：プリント

道徳教育の研究 A	あら 荒井昭雄	2 単位
		2～3年
		前期

学校における道徳教育の現状は、必ずしも十分ではないと批判されている。子どもの発達を阻害する深刻な教育状況の分析の上に立ち、理論のみでなく、実践の経験を踏まえて、学校における道徳教育をどう進めたらよいかを、国際社会に生きる日本人としての在り方、人間としての生き方の問題として捉え、学生諸君と共に追究していきたい。

テキストの内容を、各人1テーマを分担して研究し、発表、質疑応答、更に講義で不十分な点を補足していく。

※ 中学校教育職員免許状取得希望者は必修

試験：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点、及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：倉田侃司・山崎英則編著『新しい道徳教育－ひとりひとりの生き方を問う－』ミネルヴァ書房

道徳教育の研究 B・C	あずま 東としのり徳	2 単位
		2～3年
		前期・後期

道徳は人間が「人間らしく」生きようになるとともに発生してきた。そして、道徳は人々により思索され、吟味され、次の世代に引き継がれていく。なぜなら道徳教育は私たちがより善い社会を構成し、その中で一人ひとりがより善く生きていくためには不可欠であるからである。ではどのような道徳教育がこのために必要なのか。

この問いに答えるために、授業では道徳教育に関わる具体的問題を取り上げる。そして、その問題についての討議の中で様々な立場の主張を提示し、その吟味を行うことによって、道徳教育の本質や、その実践を考える。

試験：評価は授業中のレポート、テスト、および平常の授業の出欠席の状況などを勘案して行う。

テキスト名：教室で指定する。

特別活動論 A・B	あら 荒井昭雄	2 単位
		2～4年
		後期

非行、いじめ、登校拒否等々、様々の深刻な問題をかかえる現在の学校において、「特別活動」は極めて重要な役割を果たす、教育課程の一領域となっている。特別活動では生徒が受身的立場ではなく、自身で計画を立て、活動を組織し実行するという、自主的・実践的態度の育成にねらいがあるからである。

本講義では、特別活動の各分野の指導の原理や方法を究明し、学校の活性化を図るために、特別活動の課題を明らかにしていきたい。

テキストの各項目について分担研究、発表、討議を主体に、具体的実践のプリント及び講義で補足していく。

試験：中間テスト、期末テスト、課題レポートの結果、及び出席率を勘案して評定を行う。

テキスト名：柴田義松編著『特別活動－学校の活性化をめざす特別活動－』ぎょうせい

特別活動論 C・D	いしおかひさみ 石岡久美	2 単位
		2～4年
		後 期

非行、いじめ、登校拒否等々、様々の深刻な問題をかかえる現在の学校において、「特別活動」は極めて重要な役割を果たす教育課程上の一領域となっている。特別活動では生徒が受身の立場ではなく、自身で計画を立て、活動を組織し、実行するという、自主的・実践的態度の育成にねらいがあるからである。

本講義では、特別活動の各分野（ホームルーム・生徒会・クラブ・学校行事等）の指導の原理や方法を究明し、学校の活性化を図るために、特別活動の課題を明らかにしていきたい。

試 験：中間テスト・期末テスト・課題レポートの結果及び出席率を勘案して評定を行う。

テキスト名：柴田義松著『特別活動－学校の活性化をめざす特別活動』ぎょうせい

生徒指導論 A・B	あらいてるお 荒井昭雄	2 単位
		2～4年
		前 期

学校教育は、インストラクションとガイダンスを車の両輪として運転されてこそ、その成果が期待できる。しかるに現実には受験体制に押され、とかくガイダンスが軽視されたり、あるいは、管理主義的な生徒指導に陥っている傾向もみられる。

生徒指導とは本来、生徒の可能性を引き出し、自己指導力を育成することにある。そのような意味において、生徒指導・進路指導・教育相談に関する基本的問題について、理論と実践の両面から究明し、教員になるための資質を育成する。講義と課題研究、発表、討議を併用する。

試 験：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：仙崎武編『生徒指導－生き方と進路の探究－』ぎょうせい

生徒指導論 C・D	いしおかひさみ 石岡久美	2 単位
		2～4年
		前 期

学校教育は、インストラクションとガイダンスを車の両輪として運転されてこそ、その成果が期待できる。しかるに現実には受験体制に押され、とかくガイダンスが軽視されたり、あるいは、管理主義的な生徒指導に陥っている傾向もみられる。

生徒指導は本来、生徒の可能性を引き出し、自己指導力を育成することにある。そのような意味において、生徒指導・進路指導・教育相談に関する基本的問題について、理論と実践の両面から究明し、教員になるための資質を育成する。

試 験：中間テスト、期末テスト、課題レポートの評点及び出席率を勘案して評定する。

テキスト名：仙崎武編著『生徒指導－生き方と進路の探求』ぎょうせい

教 育 実 習 I	あらい 荒井・ たはら 田原・ いしおか 石岡	1 単 位
		3 年
		後 期

教育実習Ⅰは、学校の現場実習に臨むための準備をし、心構えを育成する事前指導である。指導には、大学の教職課程担当者が当たるほか、県及び千葉市教育委員会、中学校・高等学校の校長、教頭、教諭の先生方をお招きし、大略以下のようなことについて講義と演習を行う。

・教育実習の意義と目的 ・教員のサービスと実習生の心得 ・中学校・高等学校の教育課程の理解 ・教材研究と学習指導 ・学級、ホームルームの運営と指導 ・中、高校生の生徒指導の実際 ・教員の一日と学級・ホームルームの事務処理等。

試 験：3年次の後期の土曜日の午後に、特別の時間を設定して講義・演習を行う。出席率及び実習日誌の整理で評定する。

教 育 実 習 II		2 単 位
		4 年
		—

教育実習Ⅱは、中学校・高等学校で行う実習である。

〔4〕 自由科目

特別英語演習〔R / W〕	2 単位
	3～4年
	通年

<前期>

This is an integrated course of English as a second language, but the focus of the first semester will be placed on the development of reading skills. Therefore, students will be requested to read some short episodes every week and report orally about its content and give his or her comment on it. They are also requested to do the exercises given in the textbook.

<後期>

The focus of the course in the second semester will be placed on the development of writing skills. Therefore, skills in rapid writing within a limited period time, or those in précis writing will be pursued. Students will also be requested to write essays by reading short stories.

試験： The grade for the course will be determined by class attendance and participation in exercises in each class meeting.

特別英語演習〔S / L〕	2 単位
	3～4年
	通年

<前期>

This is a course for integrated English as a second language. The focus of the course in the first semester will be placed on the development of listening comprehension skills. Students will practice listening comprehension using a textbook and a cassette tape.

<後期>

The focus of the second course in the second semester will be placed on the development of speaking abilities. Students will be encouraged to express themselves in English in a group work. A textbook will be assigned in order to develop speaking abilities.

試験： The grade for the course will be determined by class attendance and participation in exercises in each class meeting.

テキスト名： To be selected.

フ ラ ン ス 語 Ⅲ	ふじ 藤 田 知 子	2 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

<前期>

フランス語およびフランスの文化について、いくつかのテーマを選び授業します。詳細は開講時の授業で説明します。

<後期>

前期と同じ方針で引き続き授業を行う。

試 験：未定

テキスト名：未定

ド イ ツ 語 Ⅲ	しがなみ 志賀浪 優 子	2 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

短編小説、新聞、雑誌を読んだり、詩を暗記したり、ビデオやテープを使って会話の練習したりと、限られた時間でなるべく異なるドイツ語を体験して、ドイツ語の楽しさ（特にこれだけ初級文法で苦勞したのだから！）を味わうことにする。

試 験：レポート及び口頭発表。

テキスト名：未定

ス ペ イ ン 語 Ⅲ	き た のぶ たか 喜 多 延 鷹	2 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

スペインの新聞雑誌より編集したテキストを基に、スペインの政治・社会問題・生活習慣などを知り、生きたスペイン語の用法を学ぶ。

試 験：テキストを基に、前・後期期末に筆記試験を行う。レポートも参考とする。

テキスト名：Ojeada a la España Actual

『スペインは今』（白水社）

平成7年度 学生便覧

平成7年4月1日発行

編集・発行 神田外語大学教務課

〒261 千葉市美浜区若葉1-4-1

電話番号 043-273-1233



神田外語大学

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1